

第4章 障害のある方の地域生活に関する調査（18歳以上）

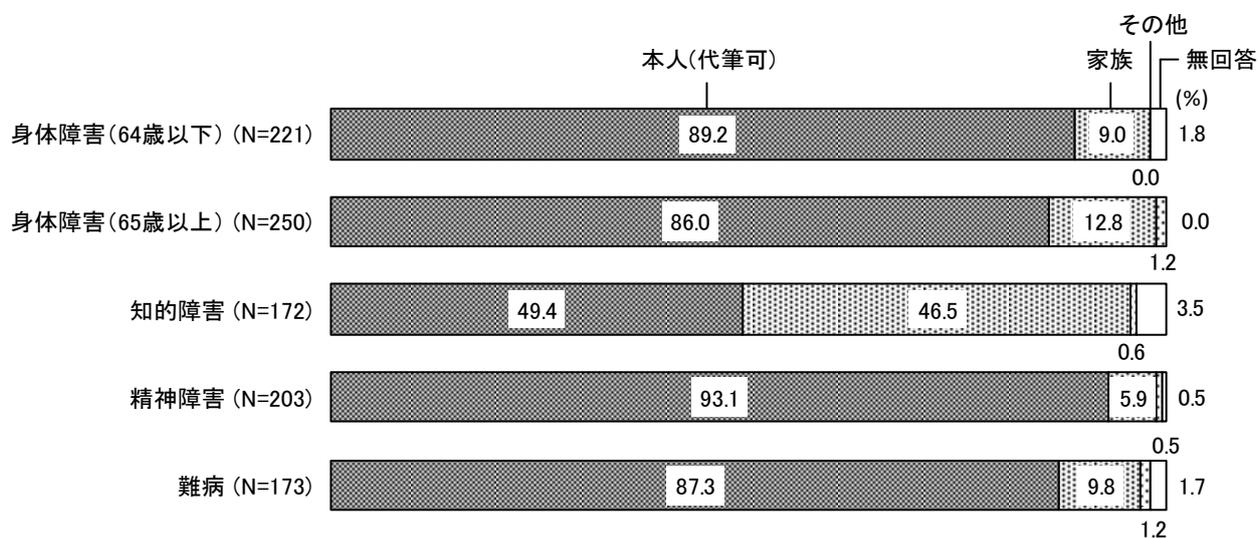
1 基本属性

(1) 回答者（問1）

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。（1つに○）

- 回答していただく方は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「本人（代筆可）」が最も多く、割合はそれぞれ89.2%、86.0%、49.4%、93.1%、87.3%となっている。

図表 4-1 回答者（全体）

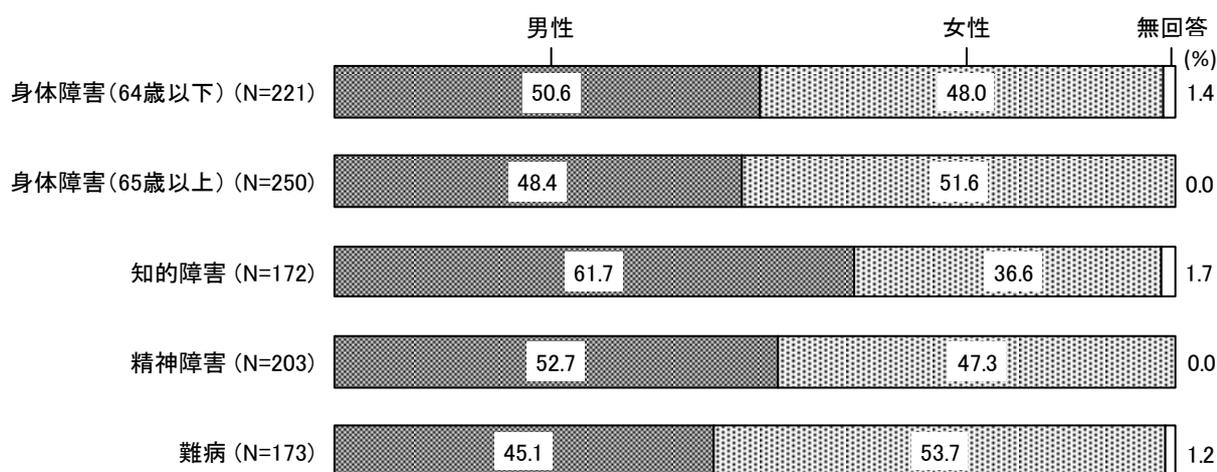


（2）性別・年齢（問2）

問2 あなたの性別をお答えください。（1つに○）
 また、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

○ 性別は、身体障害（64歳以下）は「男性」が50.6%、「女性」が48.0%、身体障害（65歳以上）は「男性」が48.4%、「女性」が51.6%、知的障害は「男性」が61.7%、「女性」が36.6%、精神障害は「男性」が52.7%、「女性」が47.3%、難病は「男性」が45.1%、「女性」が53.7%である。

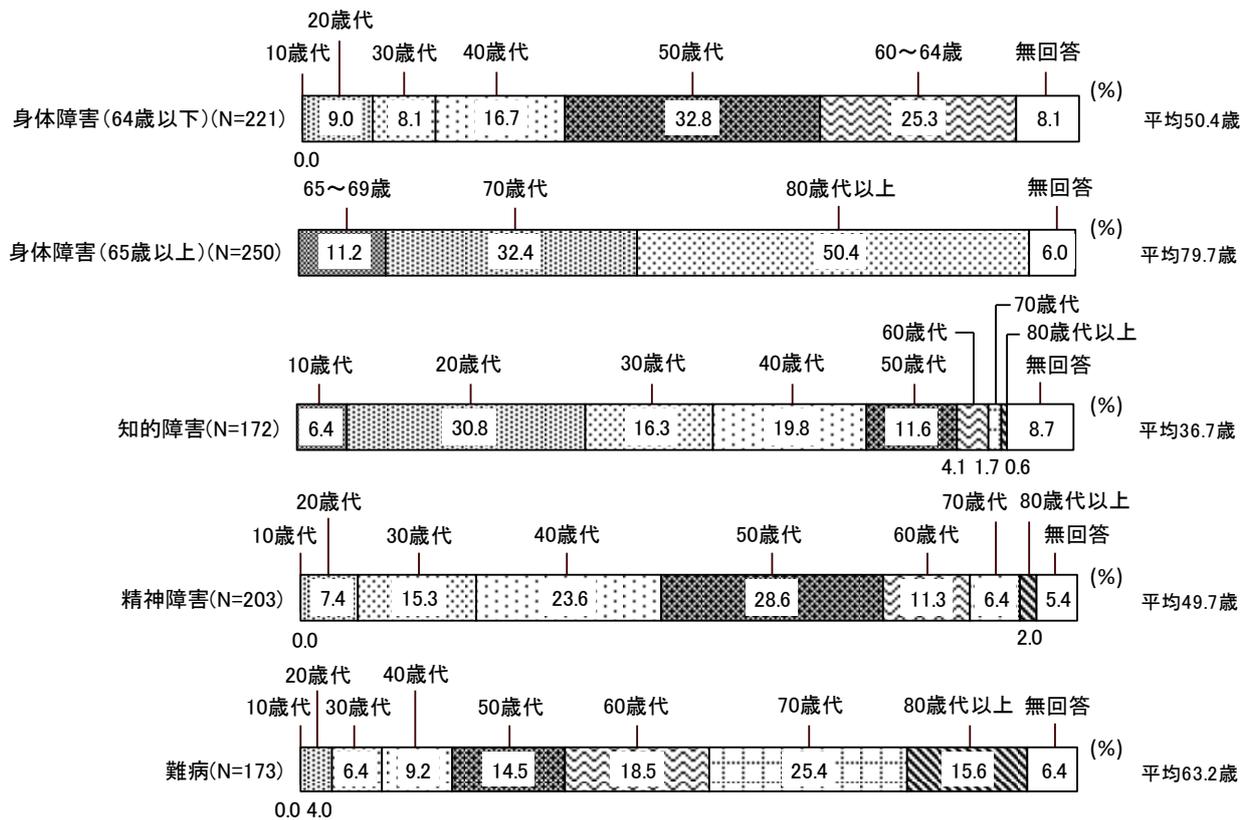
図表 4-2 性別（全体）



Ⅱ アンケート調査の結果

- 年代は、身体障害（64歳以下）は「50歳代（32.8）」，身体障害（65歳以上）は「80歳代以上（50.4）」，知的障害は「20歳代（30.8）」，精神障害は「50歳代（28.6）」，難病は「70歳代（25.4）」が最も多くなっている。
- 平均年齢は，身体障害（64歳以下）が50.4歳，身体障害（65歳以上）が79.7歳，知的障害が36.7歳，精神障害が49.7歳，難病が63.2歳である。

図表 4-3 年齢（全体）

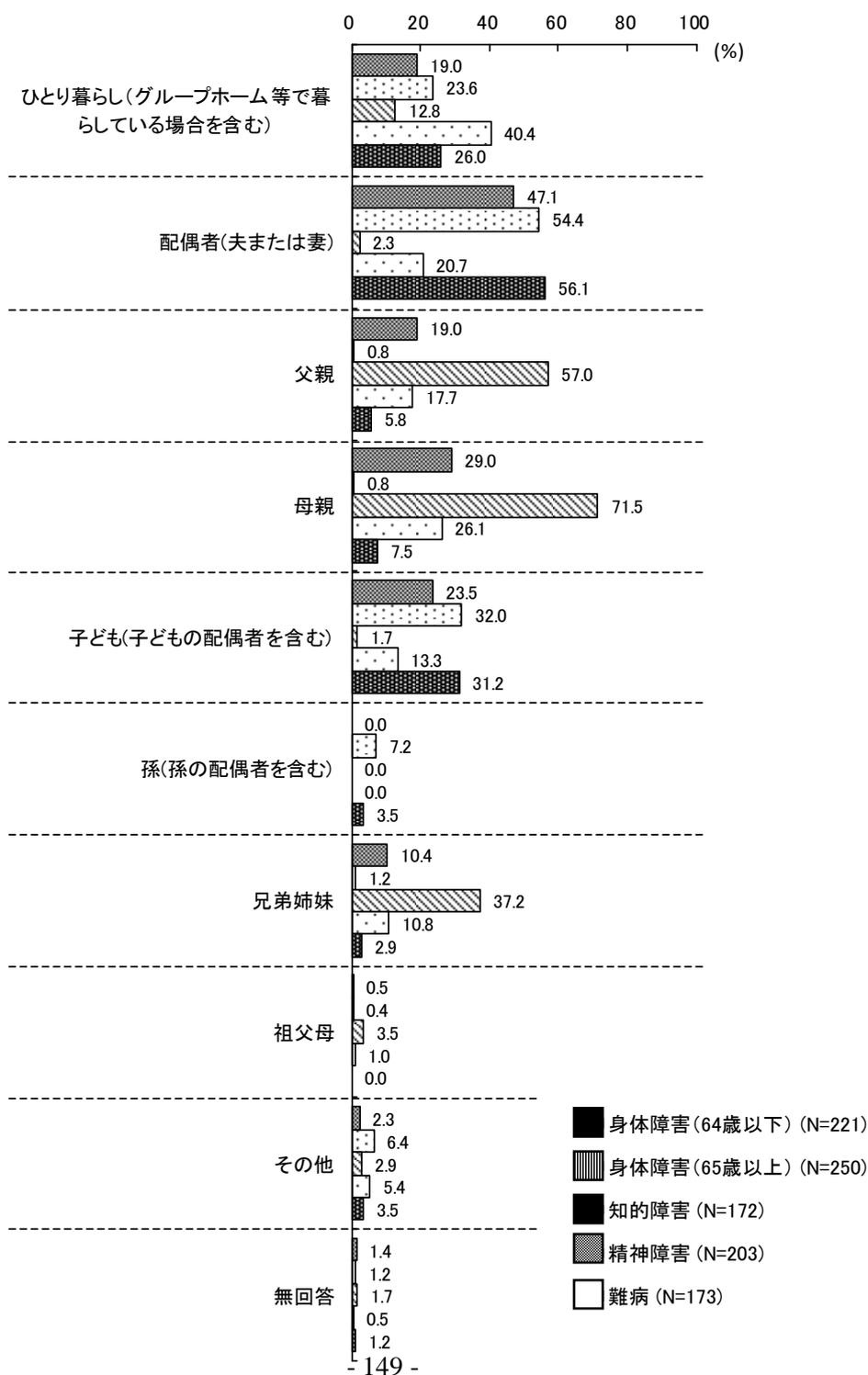


(3) 同居家族 (問3)

問3 現在、あなたが一緒に暮らしているご家族は、どなたですか。(いくつでも○)

- 一緒に暮らしている家族は、**全体**は身体障害(64歳以下), 身体障害(65歳以上), 難病ともに「配偶者(夫または妻)」が最も多く、割合はそれぞれ47.1%, 54.4%, 56.1%となっている。
- 知的障害は「母親(71.5%)」が最も多く、精神障害は「ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)(40.4%)」が最も多くなっている。

図表 4-4 同居家族 (全体: 複数回答)



II アンケート調査の結果

身体障害（64歳以下）

- **福祉圏域別**にみると、「ひとり暮らし（グループホーム等で暮らしている場合を含む）」と答えた人の割合は、北ノ台・深大寺小学校地域(22.2%)，第三・石原・飛田給小学校地域(23.3%)，若葉・調和小学校地域(22.7%)，第一・富士見台・多摩川小学校地域(21.6%)で2割を超えている。

図表 4-5 同居家族【身体障害（64歳以下）】（全体，福祉圏域別：複数回答）

		(%)										
		むら らし て い る 場 合 を 含 む	ひ と り 暮 ら し （ グ ル ー プ ホ ー ム 等 で 暮 ら し て い る 場 合 を 含 む）	妻 配 偶 者 （ 夫 ま た は	父 親	母 親	偶 子 ど も （ 子 ど も の 配 偶 者 を 含 む）	む 孫 （ 孫 の 配 偶 者 を 含 む）	兄 弟 姉 妹	祖 父 母	そ の 他	無 回 答
全	体 (N=221)	19.0	47.1	19.0	29.0	23.5	0.0	10.4	0.5	2.3	1.4	
福 祉 圏 域 別 （ 小 学 校 区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 14)	14.3	50.0	14.3	21.4	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	
	若葉・調和 (n= 22)	22.7	54.5	13.6	22.7	31.8	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	
	上ノ原・柏野 (n= 22)	13.6	50.0	22.7	31.8	27.3	0.0	13.6	0.0	4.5	4.5	
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	22.2	55.6	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	
	第二・八雲台・国領 (n= 41)	17.1	43.9	19.5	29.3	22.0	0.0	14.6	0.0	2.4	0.0	
	染地・杉森・布田 (n= 20)	5.0	40.0	35.0	55.0	20.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 37)	21.6	54.1	10.8	21.6	37.8	0.0	5.4	0.0	2.7	0.0	
第三・石原・飛田給 (n= 43)	23.3	41.9	25.6	32.6	14.0	0.0	16.3	0.0	2.3	0.0		

身体障害（65歳以上）

- **福祉圏域別**に「ひとり暮らし（グループホーム等で暮らしている場合を含む）」と答えた人の割合は、第三・石原・飛田給小学校地域 (30.3%)，第一・富士見台・多摩川小学校地域(32.6%)で3割を超えている。

図表 4-6 同居家族【身体障害（65歳以上）】（全体，福祉圏域別：複数回答）

		(%)										
		むら らし て い る 場 合 を 含 む	ひ と り 暮 ら し （ グ ル ー プ ホ ー ム 等 で 暮 ら し て い る 場 合 を 含 む）	妻 配 偶 者 （ 夫 ま た は	父 親	母 親	偶 子 ど も （ 子 ど も の 配 偶 者 を 含 む）	む 孫 （ 孫 の 配 偶 者 を 含 む）	兄 弟 姉 妹	祖 父 母	そ の 他	無 回 答
全	体 (N=250)	23.6	54.4	0.8	0.8	32.0	7.2	1.2	0.4	6.4	1.2	
福 祉 圏 域 別 （ 小 学 校 区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 23)	13.0	65.2	0.0	0.0	43.5	8.7	0.0	0.0	8.7	0.0	
	若葉・調和 (n= 26)	11.5	46.2	0.0	3.8	53.8	19.2	0.0	0.0	3.8	0.0	
	上ノ原・柏野 (n= 21)	14.3	47.6	0.0	0.0	57.1	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	北ノ台・深大寺 (n= 25)	28.0	56.0	0.0	0.0	32.0	8.0	0.0	0.0	4.0	0.0	
	第二・八雲台・国領 (n= 54)	27.8	48.1	1.9	1.9	22.2	5.6	3.7	0.0	9.3	0.0	
	染地・杉森・布田 (n= 23)	17.4	73.9	0.0	0.0	13.0	4.3	0.0	0.0	4.3	8.7	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 43)	32.6	48.8	0.0	0.0	39.5	4.7	2.3	0.0	11.6	0.0	
第三・石原・飛田給 (n= 33)	30.3	60.6	3.0	0.0	9.1	6.1	0.0	3.0	0.0	3.0		

知的障害

- **福祉圏域別**にみると、若葉・調和小学校地域では、「ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)(23.1%)」が2割を超えている。

図表 4-7 同居家族【知的障害】(全体, 福祉圏域別: 複数回答)

		(%)									
		ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)	配偶者(夫または妻)	父親	母親	子ども(子どもの配偶者を含む)	孫(孫の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全	体 (N=172)	12.8	2.3	57.0	71.5	1.7	0.0	37.2	3.5	2.9	1.7
福祉圏域別(小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=13)	7.7	0.0	76.9	53.8	7.7	0.0	46.2	0.0	0.0	0.0
	若葉・調和 (n=13)	23.1	15.4	38.5	61.5	7.7	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0
	上ノ原・柏野 (n=23)	8.7	0.0	73.9	73.9	0.0	0.0	47.8	8.7	0.0	0.0
	北ノ台・深大寺 (n=14)	7.1	0.0	71.4	78.6	0.0	0.0	35.7	7.1	7.1	0.0
	第二・八雲台・国領 (n=27)	14.8	0.0	37.0	74.1	0.0	0.0	29.6	0.0	3.7	0.0
	染地・杉森・布田 (n=24)	8.3	0.0	70.8	79.2	0.0	0.0	54.2	12.5	12.5	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=27)	18.5	7.4	48.1	70.4	3.7	0.0	37.0	0.0	0.0	0.0
	第三・石原・飛田給 (n=28)	14.3	0.0	57.1	78.6	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0

精神障害

- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域では、「ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)(55.0%)」が5割を超えている。

図表 4-8 同居家族【精神障害】(全体, 福祉圏域別: 複数回答)

		(%)									
		ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)	配偶者(夫または妻)	父親	母親	子ども(子どもの配偶者を含む)	孫(孫の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全	体 (N=203)	40.4	20.7	17.7	26.1	13.3	0.0	10.8	1.0	5.4	0.5
福祉圏域別(小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=20)	55.0	20.0	5.0	15.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	0.0
	若葉・調和 (n=38)	47.4	13.2	15.8	26.3	7.9	0.0	15.8	2.6	5.3	0.0
	上ノ原・柏野 (n=19)	42.1	15.8	21.1	26.3	21.1	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0
	北ノ台・深大寺 (n=15)	33.3	13.3	26.7	46.7	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	第二・八雲台・国領 (n=37)	37.8	18.9	21.6	27.0	10.8	0.0	8.1	0.0	8.1	2.7
	染地・杉森・布田 (n=20)	35.0	40.0	5.0	15.0	30.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=30)	40.0	23.3	20.0	26.7	13.3	0.0	10.0	0.0	3.3	0.0
	第三・石原・飛田給 (n=20)	25.0	25.0	30.0	35.0	20.0	0.0	15.0	5.0	5.0	0.0

II アンケート調査の結果

難病

- **福祉圏域別**にみると、「ひとり暮らし（グループホーム等で暮らしている場合を含む）」と答えた人の割合は、第二・八雲台・国領小学校地域(44.4%)，第一・富士見台・多摩川小学校地域(50.0%)で4割を超えている。

図表 4-9 同居家族【難病】（全体，福祉圏域別：複数回答）

	むらして いる 場合 を 含 む	ひとり 暮らし （グ ル ー プ ホ ー ム 等 で 暮 ら し て い る 場 合 を 含 む）	妻 配 偶 者 （ 夫 ま た は	父 親	母 親	子 ど も （ 子 ど も の 配 偶 者 を 含 む）	孫 （ 孫 の 配 偶 者 を 含 む）	兄 弟 姉 妹	祖 父 母	そ の 他	無 回 答
全 体 (N=173)	26.0	56.1	5.8	7.5	31.2	3.5	2.9	0.0	3.5	1.2	
福 祉 圏 域 別 (小学校区)											
緑ヶ丘・滝坂 (n= 18)	16.7	61.1	5.6	5.6	27.8	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	
若葉・調和 (n= 23)	13.0	69.6	13.0	8.7	21.7	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
上ノ原・柏野 (n= 11)	18.2	72.7	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
北ノ台・深大寺 (n= 18)	22.2	50.0	11.1	11.1	50.0	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	
第二・八雲台・国領 (n= 27)	44.4	51.9	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	
染地・杉森・布田 (n= 22)	13.6	50.0	18.2	27.3	27.3	4.5	13.6	0.0	0.0	0.0	
第一・富士見台・多摩川 (n= 16)	50.0	50.0	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	
第三・石原・飛田給 (n= 31)	25.8	58.1	0.0	3.2	38.7	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	

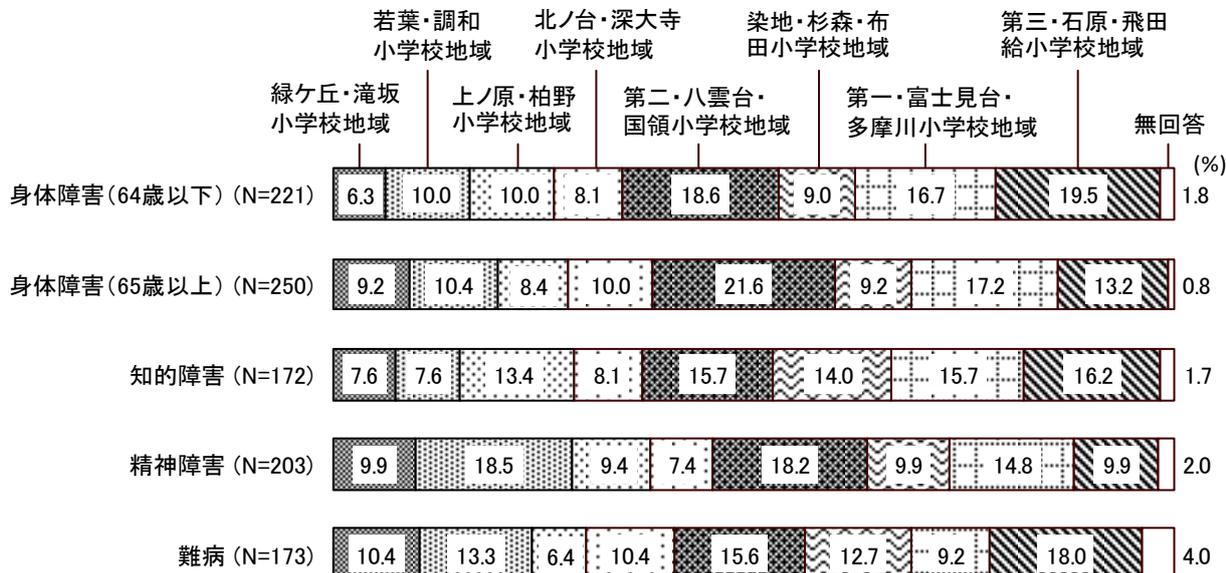
(4) 居住地域（問4）

問4 (1) お住まいの地域はどこですか。

記入例を参考に【町名】，【丁目】をご記入ください。

- 住まいの地域は、身体障害（64歳以下）、知的障害、難病は「第三・石原・飛田給小学校地域（それぞれ19.5%、16.2%、18.0%）」，身体障害（65歳以上）は「第二・八雲台・国領小学校地域（21.6%）」，精神障害は「若葉・調和小学校地域（18.5%）」が最も多くなっている。

図表 4-10 居住地域（全体）



問4 (2) お住まいの近くにある公立小学校はどれですか。(1つに○)

○ 住まいの近くにある公立小学校は、身体障害 (64歳以下)、身体障害 (65歳以上) は「国領小学校 (身体64歳以下: 9.5%, 身体65歳以上: 13.2%)」、知的障害は「上ノ原小学校 (9.3%)」、精神障害は「調和小学校 (8.9%)」、難病は「八雲台小学校 (7.6%)」が最も多くなっている。

図表 4-11 居住地域 (全体)

	第一小学校	第二小学校	第三小学校	八雲台小学校	富士見台小学校	滝坂小学校	深大寺小学校	上ノ原小学校	石原小学校	若葉小学校	緑ヶ丘小学校
身体障害 (64歳以下) (N=221)	9.0	4.5	7.7	3.6	2.7	4.1	3.6	6.3	6.3	2.3	1.8
身体障害 (65歳以上) (N=250)	4.0	3.2	4.8	3.6	5.6	2.8	2.8	6.0	6.4	6.4	5.6
知的障害 (N=172)	8.7	3.5	5.8	5.2	2.9	2.9	4.1	9.3	5.2	4.1	4.1
精神障害 (N=203)	3.4	3.9	3.0	4.4	5.9	4.4	1.5	6.4	4.4	6.9	2.5
難病 (N=173)	4.0	2.9	6.9	7.6	1.7	6.9	5.2	4.6	7.5	6.4	2.3

	染地小学校	北ノ台小学校	多摩川小学校	杉森小学校	飛田給小学校	柏野小学校	国領小学校	布田小学校	調和小学校	分からない	無回答
身体障害 (64歳以下) (N=221)	1.4	3.6	4.1	3.2	4.1	2.3	9.5	4.1	6.3	5.9	3.6
身体障害 (65歳以上) (N=250)	2.0	6.4	6.4	5.2	1.6	2.4	13.2	2.0	4.0	2.4	3.2
知的障害 (N=172)	2.9	4.1	4.1	8.7	3.5	3.5	6.4	1.7	2.9	3.5	2.9
精神障害 (N=203)	3.4	5.4	3.9	3.0	1.5	2.0	6.9	1.5	8.9	10.9	5.9
難病 (N=173)	3.5	5.2	2.9	5.2	2.3	1.2	3.5	3.5	5.8	6.9	4.0

2 住まいや居留意向

(1) 住居形態 (問5)

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

- 住まいは、**全体**は身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害, 難病ともに、「持ち家の一戸建て」が最も多く、割合はそれぞれ 34.7%, 49.6%, 40.6%, 37.0%である。
- 精神障害は、「民間賃貸の集合住宅 (アパート・マンションなど)」が最も多く、37.4%となっている。

図表 4-12 住居形態 (全体)

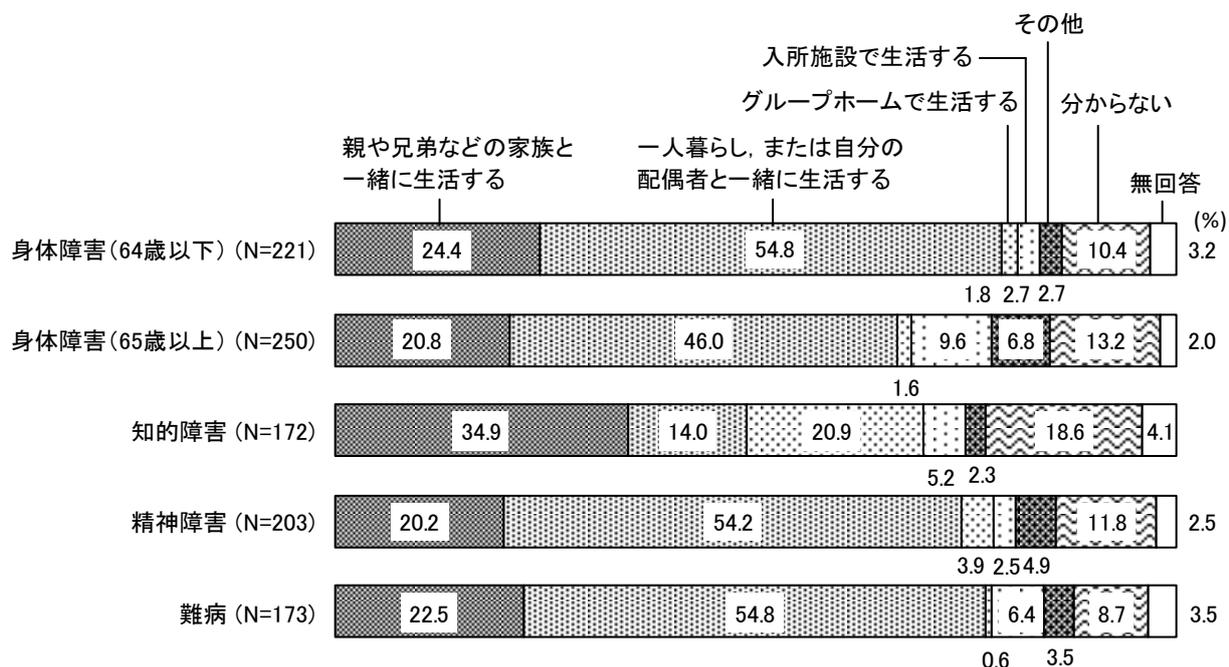
	持ち家一戸建て	シヨ(持 ンア ンパ ント ・マ ン 住 宅)	民間賃貸の一戸建て	シヨ(民 ンア ンパ ント ・マ ン 住 宅)	民間賃貸の集合住宅	営公 住宅 住宅 など (市 営・ 都 道)	社 宅 ・ 公 務 員 住 宅 な ど	グ ル ー プ ホ ー ム	そ の 他	無 回 答
身体障害 (64歳以下) (N=221)	34.7	24.4	0.5	25.8	10.0	0.9	0.0	1.4	2.3	
身体障害 (65歳以上) (N=250)	49.6	16.4	0.8	6.4	16.8	0.4	1.2	7.6	0.8	
知的障害 (N=172)	40.6	19.2	0.6	13.4	15.7	0.0	4.7	2.9	2.9	
精神障害 (N=203)	20.2	18.7	1.0	37.4	11.8	1.5	2.0	3.0	4.4	
難病 (N=173)	37.0	22.5	4.0	19.7	6.9	0.6	0.0	6.4	2.9	

(2) 居留意向 (問6)

問6 あなたは今後、どのように生活したいと思いますか。(1つに○)

- 今後の居住形態の意向は、**全体**では身体障害(64歳以下), 身体障害(65歳以上), 精神障害, 難病ともに, 「一人暮らし, または自分の配偶者と一緒に生活する」が最も多く, 割合はそれぞれ 54.8%, 46.0%, 54.2%, 54.8%である。
- 知的障害は, 「親や兄弟などの家族と一緒に生活する」が最も多く, 34.9%となっている。

図表 4-13 今後の居住形態の意向 (全体)



II アンケート調査の結果

身体障害（64歳以下）

- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「一人暮らしまたは・配偶者と一戸建て・アパート・マンション（66.6%）」が全体より11.8ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、染地・杉森・布田小学校地域では「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する（65.0%）」が全体より10.2ポイント高くなっている。
- **障害程度別**にみると、5級以上では、「親や兄弟などの家族と一緒に生活する」の割合が3割を超えている。

図表 4-14 今後の居住形態の意向【身体障害（64歳以下）】

（全体、年代別、家族構成別、福祉圏域別、障害程度別）

		活家親 す族や ると兄 一弟 緒な にど 生の	す者た一 るとは人 一自暮 緒分に にのし 生配、 活偶ま	でグ 生ル 活一 すプ るホ ーム	す入 る所 施設 で生 活	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全 体 (N=221)		24.4	54.8	1.8	2.7	2.7	10.4	3.2
年 代 別	18歳～39歳 (n= 38)	26.3	50.0	5.3	2.6	0.0	10.5	5.3
	40歳～64歳 (n=163)	23.3	57.0	0.0	2.5	3.7	11.0	2.5
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 42)	2.4	66.6	2.4	7.1	4.8	16.7	0.0
	その他 (n=176)	30.1	51.7	1.1	1.7	2.3	9.1	4.0
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 14)	21.4	57.3	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1
	若葉・調和 (n= 22)	31.8	50.1	0.0	0.0	4.5	9.1	4.5
	上ノ原・柏野 (n= 22)	18.2	59.2	0.0	4.5	4.5	4.5	9.1
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	33.3	50.0	0.0	5.6	0.0	11.1	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 41)	29.3	53.7	2.4	2.4	4.9	7.3	0.0
	染地・杉森・布田 (n= 20)	15.0	65.0	0.0	5.0	0.0	10.0	5.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 37)	27.0	54.1	0.0	2.7	0.0	16.2	0.0
障 害 程 度 別	第三・石原・飛田給 (n= 43)	20.9	53.5	4.7	2.3	2.3	11.6	4.7
	1級 (n= 82)	24.4	56.2	2.4	3.7	2.4	8.5	2.4
	2級 (n= 44)	20.5	50.0	0.0	4.5	4.5	18.2	2.3
	3級 (n= 32)	28.1	56.3	3.1	0.0	0.0	9.4	3.1
	4級 (n= 30)	20.0	60.0	0.0	0.0	6.7	10.0	3.3
	5級 (n= 16)	31.3	56.2	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
6級 (n= 8)	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	

身体障害 (65歳以上)

- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「入所施設で生活する (22.0%)」が全体より 12.4 ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、北ノ台・深大寺小学校地域では「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する (60.0%)」が全体より 14.0 ポイント高くなっている。
- **障害程度別**にみると、1級から4級及び6級では「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する (それぞれ 47.9%, 42.0%, 51.5%, 49.8%, 50.0%)」が最も多くなっている。

図表 4-15 今後の居住形態の意向【身体障害 (65歳以上)】

(全体, 年代別, 家族構成別, 福祉圏域別, 障害程度別)

		活家親 す族や ると兄 一弟 緒な にど 生の	す者た一 るとは人 一自暮 緒分の にのし、 生配、 活偶ま	でグ 生ル 活ー すブ するホ ーム	す入 る所 施設 で生 活	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全 体 (N=250)		20.8	46.0	1.6	9.6	6.8	13.2	2.0
年 代 別	65歳～74歳 (n= 64)	18.8	53.0	0.0	6.3	4.7	14.1	3.1
	75歳～84歳 (n=105)	21.0	43.8	1.0	9.5	7.6	17.1	0.0
	85歳以上 (n= 66)	25.8	34.8	4.5	15.2	7.6	7.6	4.5
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 59)	10.2	30.5	1.7	22.0	11.9	22.0	1.7
	その他 (n=192)	23.4	50.5	1.6	7.3	5.2	9.9	2.1
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 23)	8.7	56.6	0.0	4.3	17.4	4.3	8.7
	若葉・調和 (n= 26)	26.9	38.6	7.7	7.7	3.8	11.5	3.8
	上ノ原・柏野 (n= 21)	38.1	38.1	0.0	9.5	9.5	4.8	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 25)	20.0	60.0	8.0	4.0	0.0	8.0	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 54)	18.5	42.6	0.0	11.1	7.4	18.5	1.9
	染地・杉森・布田 (n= 23)	21.7	56.6	0.0	4.3	8.7	8.7	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 43)	18.6	44.1	0.0	14.0	0.0	23.3	0.0
第三・石原・飛田給 (n= 33)	21.2	39.4	0.0	15.2	12.1	12.1	0.0	
障 害 程 度 別	1級 (n= 71)	25.4	47.9	0.0	7.0	7.0	12.7	0.0
	2級 (n= 31)	9.7	42.0	3.2	12.9	12.9	16.1	3.2
	3級 (n= 33)	12.1	51.5	3.0	15.2	6.1	12.1	0.0
	4級 (n= 74)	23.0	49.8	1.4	6.8	5.4	12.2	1.4
	5級 (n= 7)	42.8	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	6級 (n= 10)	30.0	50.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

II アンケート調査の結果

知的障害

- **年代別**にみると、18～39歳と40～64歳では「親や兄弟などの家族と一緒に生活する(それぞれ34.8%, 34.9%)」が最も多くなっている。65歳以上では「分からない(37.5%：8人中3人)」が最も多く、「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する(25.0%：8人中2人)」、「グループホームで生活する(25.0%：8人中2人)」が続いている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「グループホームで生活する(40.9%)」が全体より20.0ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、若葉・調和小学校地域、第二・八雲台・国領小学校地域、第三・石原・飛田給小学校地域では「親や兄弟などの家族と一緒に生活する」が4割を超えている。
- **障害程度別**にみると、2度では、「グループホームで生活する(36.5%)」が全体より15.6ポイント高くなっている。

図表 4-16 今後の居住形態の意向【知的障害】
(全体、年代別、家族構成別、福祉圏域別、障害程度別)

		活家親 す族や ると兄 一弟 緒な にど 生の	す者た一 るとは人 一自暮 緒分ら にのし、 生配、 活偶ま	でグル 生ル 活ー すブ すホ ム	す入 る所 施設 で生 活	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=172)	34.9	14.0	20.9	5.2	2.3	18.6	4.1
年 代 別	18歳～39歳 (n= 92)	34.8	15.2	18.5	6.5	3.3	16.3	5.4
	40歳～64歳 (n= 57)	34.9	12.3	24.6	5.3	1.8	21.1	0.0
	65歳以上 (n= 8)	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	37.5	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 22)	9.1	22.7	40.9	9.1	0.0	18.2	0.0
	その他 (n=150)	37.9	12.0	20.0	4.7	2.7	18.7	4.0
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 13)	23.0	15.4	15.4	7.7	23.1	15.4	0.0
	若葉・調和 (n= 13)	46.1	7.7	7.7	7.7	0.0	30.8	0.0
	上ノ原・柏野 (n= 23)	26.2	26.1	26.1	4.3	0.0	13.0	4.3
	北ノ台・深大寺 (n= 14)	35.7	7.1	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	48.2	14.8	14.8	3.7	0.0	18.5	0.0
	染地・杉森・布田 (n= 24)	29.2	12.5	16.7	0.0	4.2	33.2	4.2
	第一・富士見台・多摩川 (n= 27)	25.9	14.8	33.4	0.0	0.0	14.8	11.1
第三・石原・飛田給 (n= 28)	42.9	7.1	21.4	10.7	0.0	14.3	3.6	
障 害 程 度 別	1度 (n= 6)	66.6	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	2度 (n= 41)	29.3	0.0	36.5	9.8	2.4	17.1	4.9
	3度 (n= 32)	40.5	12.5	28.1	6.3	0.0	6.3	6.3
	4度 (n= 74)	33.6	20.3	12.2	1.4	2.7	28.4	1.4

精神障害

- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する (64.7%)」が全体より 10.5 ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域と染地・杉森・布田小学校地域では「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する」が7割を超えている。
- **障害程度別**にみると、2級と3級では「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する (それぞれ 51.6%, 62.0)」が最も多くなっている。

図表 4-17 今後の居住形態の意向【精神障害】
(全体, 年代別, 家族構成別, 福祉圏域別, 障害程度別)

		(%)						
		活家親 す族や ると兄 一弟 緒な にど 生の	す者た一 るとは人 一自暮 緒分ら にのし、 生配偶 活偶ま	でグ 生ル 活一 すプ るホ ム	す入 る所 施設 で生 活	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=203)	20.2	54.2	3.9	2.5	4.9	11.8	2.5
年 代 別	18歳～39歳 (n= 46)	21.7	69.7	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0
	40歳～64歳 (n=118)	22.0	51.8	1.7	2.5	5.9	12.7	3.4
	65歳以上 (n= 28)	7.1	39.4	10.7	7.1	10.7	21.4	3.6
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 82)	1.2	64.7	6.1	2.4	7.3	14.6	3.7
	その他 (n=123)	33.3	45.5	2.4	3.3	4.1	9.8	1.6
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 20)	10.0	75.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0
	若葉・調和 (n= 38)	13.2	44.7	7.9	2.6	7.9	18.4	5.3
	上ノ原・柏野 (n= 19)	31.6	36.7	5.3	5.3	0.0	15.8	5.3
	北ノ台・深大寺 (n= 15)	13.3	60.0	6.7	0.0	0.0	20.0	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 37)	21.6	54.1	2.7	2.7	13.5	2.7	2.7
	染地・杉森・布田 (n= 20)	20.0	70.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 30)	20.0	63.3	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0
第三・石原・飛田給 (n= 20)	40.0	45.0	0.0	5.0	0.0	10.0	0.0	
障 害 程 度 別	1級 (n= 7)	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	2級 (n= 91)	22.0	51.6	5.5	3.3	4.4	13.2	0.0
	3級 (n= 79)	15.2	62.0	3.8	1.3	6.3	10.1	1.3

II アンケート調査の結果

難病

- **年代別**にみると、年代があがるにつれ、「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する」の割合が低くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する（62.2%）」が全体より7.4ポイント高くなっている。

図表 4-18 今後の居住形態の意向【難病】
(全体、年代別、家族構成別、福祉圏域別)

		(%)						
		活家親 す族や ると兄 一弟 緒な にど 生の	す者た一 るとは人 一自暮 緒分の にのし 生配、 活偶ま	でグル 生ル 活一 すプ すホ ム	す入 る所 施設 で生 活	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=173)	22.5	54.8	0.6	6.4	3.5	8.7	3.5
年 代 別	18歳～39歳 (n= 18)	11.1	83.3	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
	40歳～64歳 (n= 57)	24.6	64.8	1.8	3.5	0.0	5.3	0.0
	65歳以上 (n= 87)	26.4	42.6	0.0	9.2	5.7	11.5	4.6
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 45)	2.2	62.2	0.0	8.9	6.7	13.3	6.7
	その他 (n=129)	29.5	51.1	0.8	6.2	3.1	7.0	2.3
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 18)	33.3	49.9	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6
	若葉・調和 (n= 23)	21.7	52.3	0.0	8.7	4.3	8.7	4.3
	上ノ原・柏野 (n= 11)	27.3	63.6	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	22.2	61.1	0.0	0.0	5.6	11.1	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	7.4	63.0	0.0	11.1	3.7	11.1	3.7
	染地・杉森・布田 (n= 22)	27.3	54.6	0.0	0.0	0.0	13.6	4.5
	第一・富士見台・多摩川 (n= 16)	25.0	49.9	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0
第三・石原・飛田給 (n= 31)	29.0	48.3	0.0	6.5	3.2	6.5	6.5	

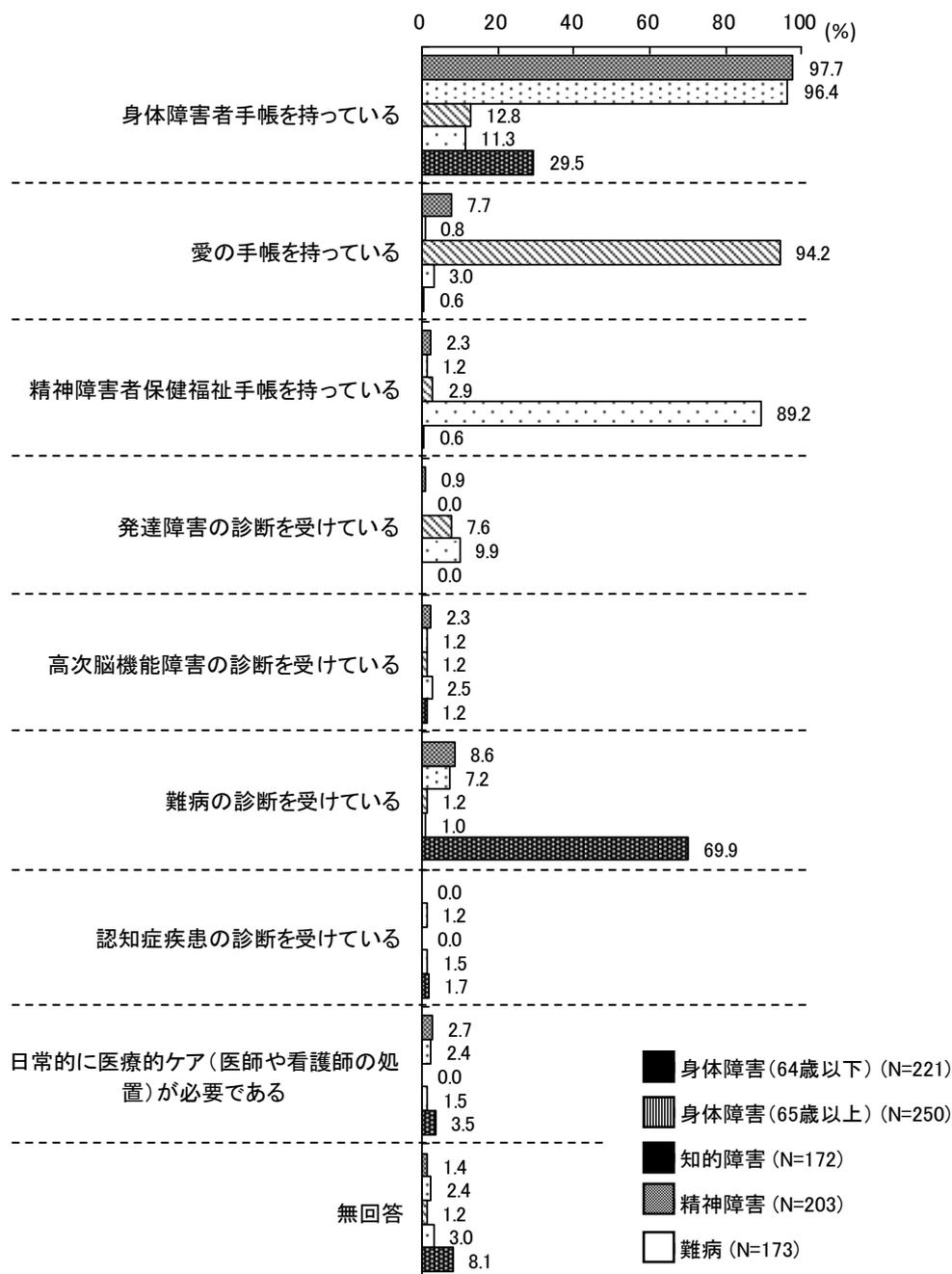
3 障害の状況と日常生活

(1) 持っている手帳の種類または診断 (問7)

問7 あなた(あて名のご本人)がお持ちの手帳または受けている診断名について、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級と診断名をご記入ください。

○ 持っている手帳の種類は、身体障害(64歳以下)は、「身体障害者手帳を持っている(97.7%)」、身体障害(65歳以上)は、「身体障害者手帳を持っている(96.4%)」、知的障害は、「愛の手帳を持っている(94.2%)」、精神障害は「精神障害者保健福祉手帳を持っている(89.2%)」、難病は、「難病の診断を受けている(69.9%)」がそれぞれ最も多い。

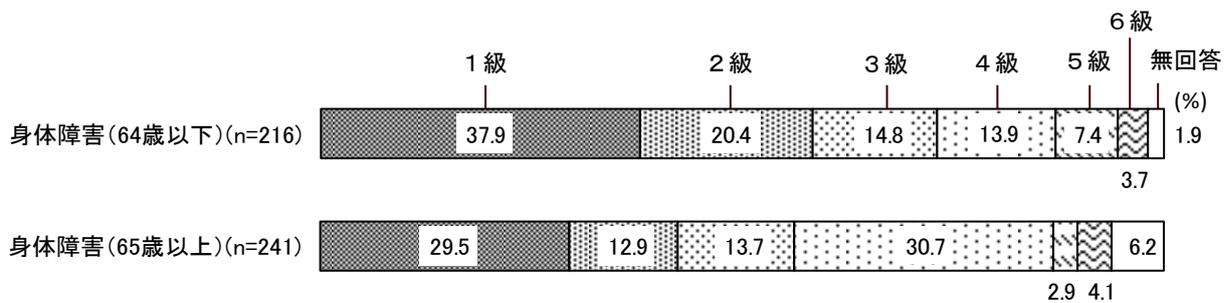
図表 4-19 持っている手帳の種類または診断 (全体：複数回答)



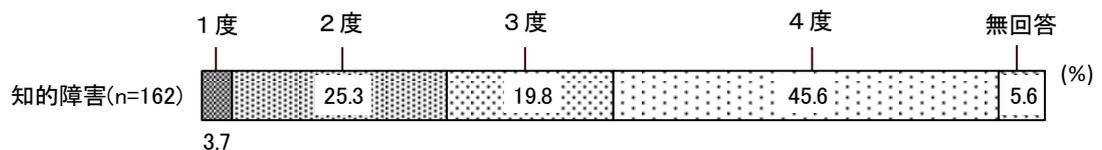
Ⅱ アンケート調査の結果

手帳の等級は、身体障害（64歳以下）では、身体障害者手帳の「1級（37.9%）」が最も多く、身体障害（65歳以上）では、身体障害者手帳の「4級（30.7%）」が最も多くなっている。知的障害では、愛の手帳の「4度（45.6%）」が最も多く、精神障害では、精神障害者保健福祉手帳の「2級（50.3%）」が最も多くなっている。

図表 4-20 身体障害者手帳の等級【身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上）】
（全体）＜身体障害者手帳を持っている人＞



図表 4-21 愛の手帳の等級【知的障害】（全体）
＜愛の手帳を持っている人＞



図表 4-22 精神障害者保健福祉手帳の等級【精神障害】（全体）
＜精神障害者保健福祉手帳を持っている人＞



(2) 障害の部位（問7-1）

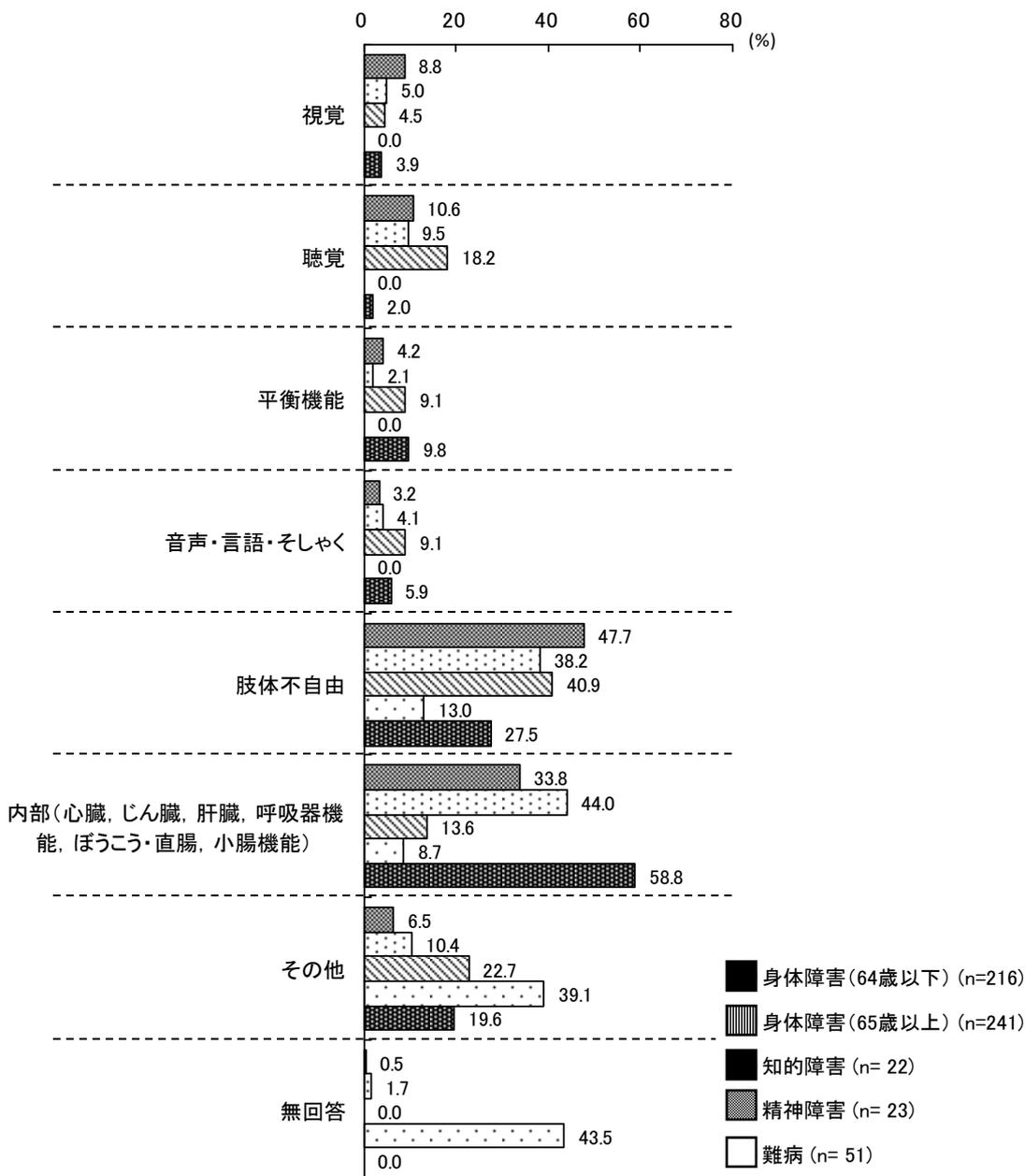
問7-1 問7で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。障害の部位はどれですか。（いくつでも○）

また、○をしたもののうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

- 身体障害者手帳を持っていると答えた方に障害の部位をたずねたところ、身体障害（64歳以下）は「肢体不自由（47.7%）」，身体障害（65歳以上）は「内部（心臓，じん臓，肝臓，呼吸器機能，ぼうこう・直腸，小腸機能）（44.0%）」が最も多くなっている。
- 主な障害の部位は，身体障害（64歳以下），知的障害で「肢体不自由」が最も多くなっている。

図表 4-23 障害の部位（全体：複数回答）

<身体障害者手帳を持っている人>



図表 4-24 障害の部位（主な障害）（全体）

<身体障害者手帳を持っている人>

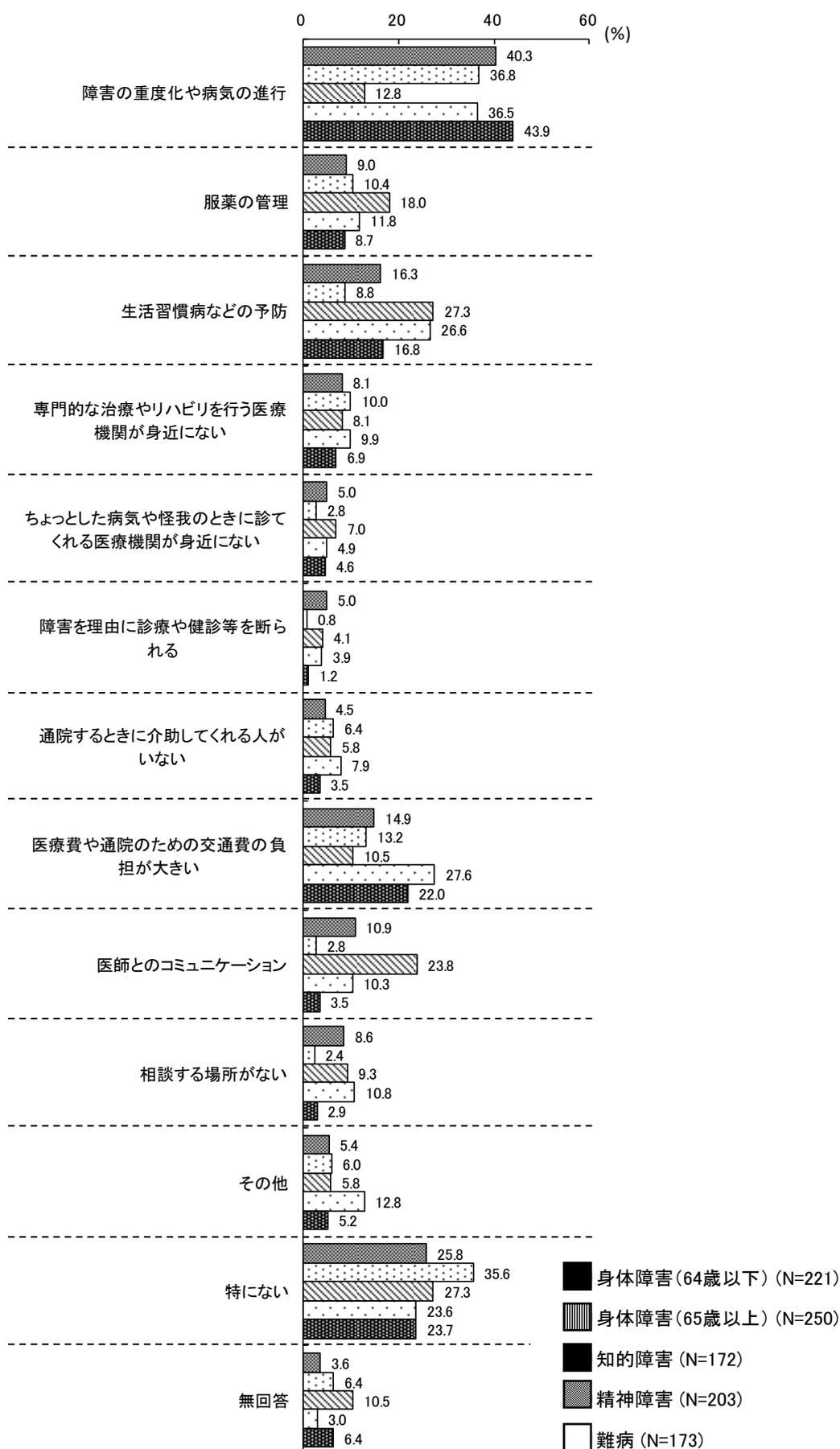
	視覚	聴覚	平衡機能	音声・言語・そしゃく	肢体不自由	う・臓、内部（心臓、じん臓、ぼうこ） 直腸、呼吸器機能、小腸機能	その他	無回答
身体障害（64歳以下）（n=216）	5.6	10.2	2.3	0.9	40.3	28.7	5.1	6.9
身体障害（65歳以上）（n=241）	3.3	7.5	0.8	1.7	32.4	41.0	6.2	7.1
知的障害（n= 22）	4.5	13.6	4.5	0.0	36.5	13.6	18.2	9.1
精神障害（n= 23）	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	4.3	34.8	47.9
難病（n= 51）	0.0	0.0	3.9	2.0	23.5	53.0	7.8	9.8

（3）健康や医療について困っていること（問8）

問 8 あなたは、ご自分の健康や医療などについて困っていることや不安なことはありますか。（いくつでも○）

- 健康や医療について困っていることは、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、精神障害、難病ともに「障害の重度化や病気の進行」が最も多く、割合はそれぞれ 40.3%、36.8%、36.5%、43.9%となっている。知的障害は「生活習慣病などの予防（27.3%）」が最も多くなっている。
- そして、身体障害（64歳以下）では「生活習慣病などの予防（16.3%）」、身体障害（65歳以上）、精神障害、難病では「医療費や通院のための交通費の負担が大きい（それぞれ 13.2%、27.6%、22.0%）」、知的障害では「医師とのコミュニケーション（23.8%）」が続いている。

図表 4-25 健康や医療について困っていること (全体：複数回答)

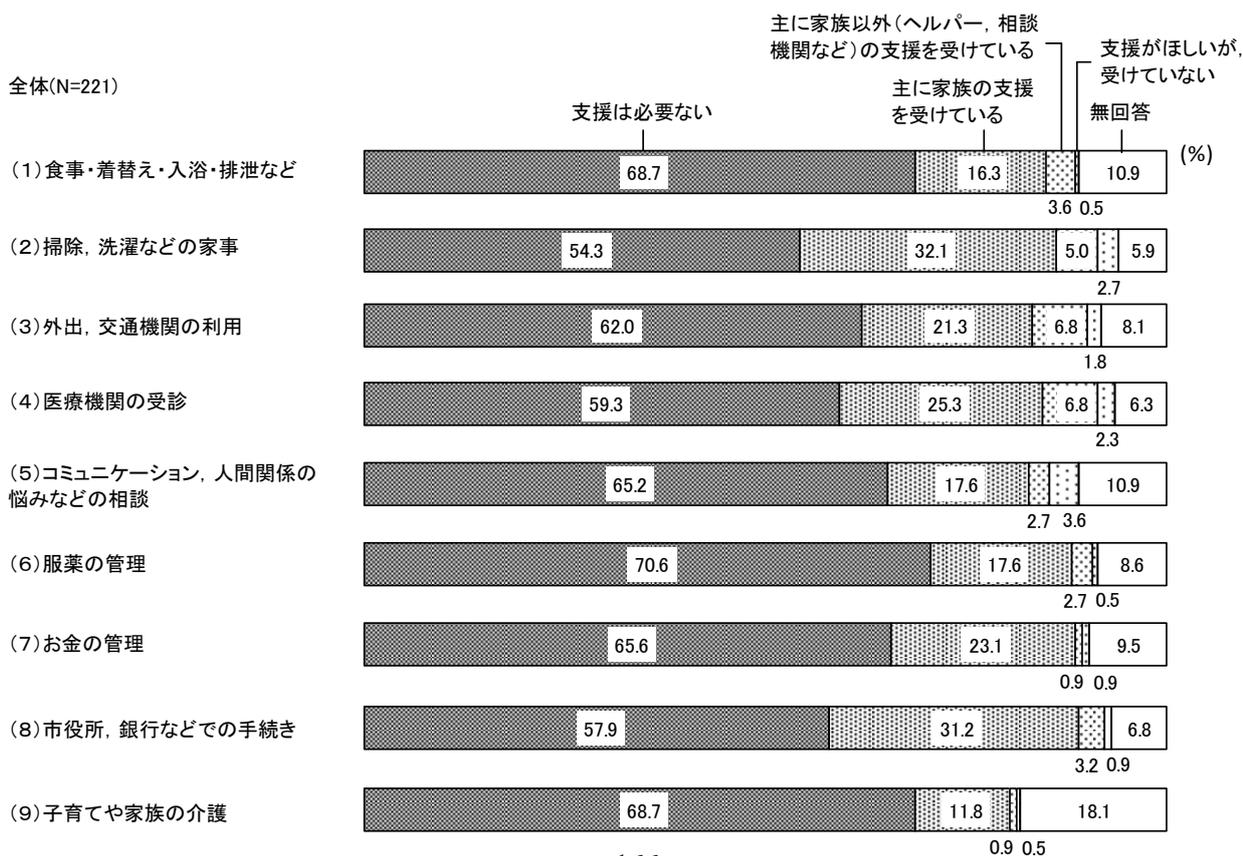


(4) 日常生活への支援の有無 (問9)

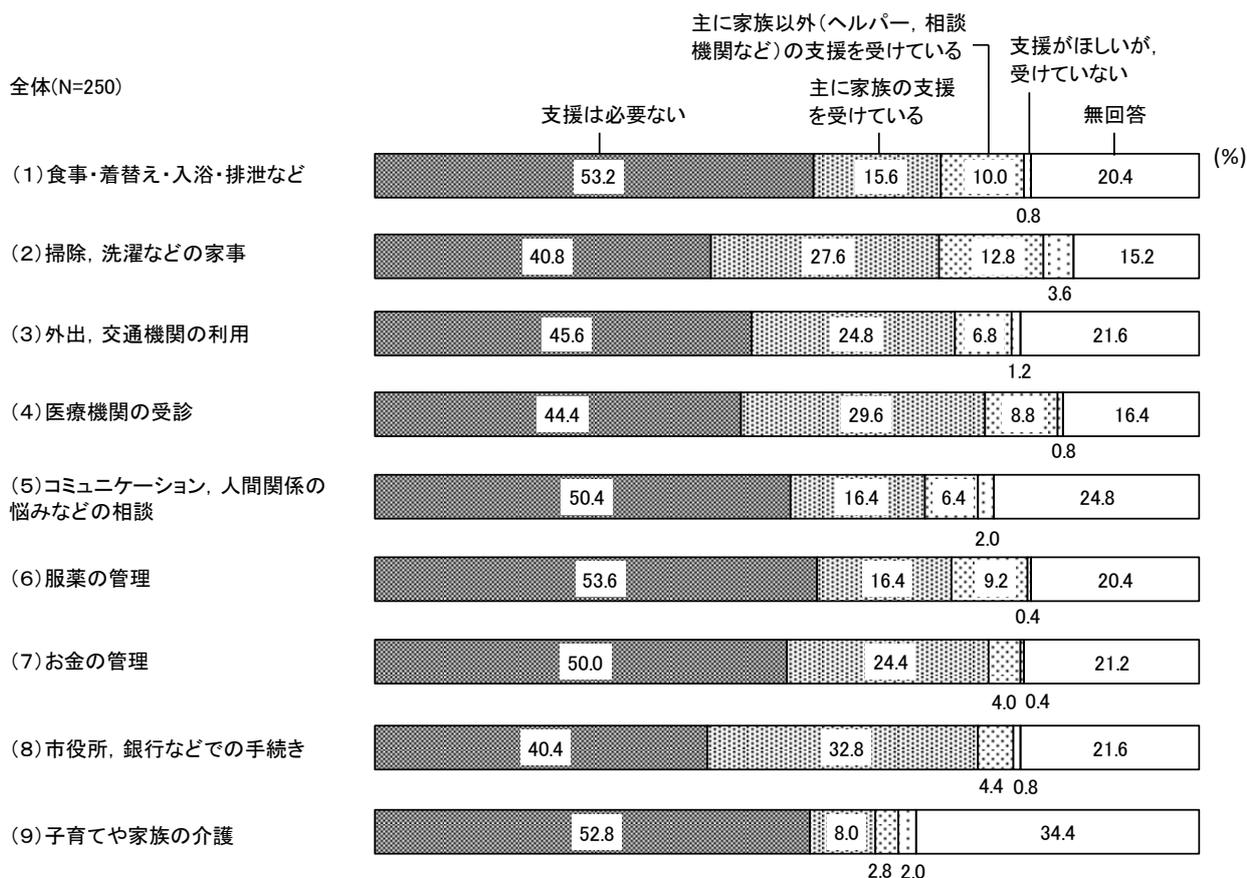
問9 あなたは現在、家族、ヘルパーなどによる支援を受けていますか。
 (1)～(9)について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 日常生活の9項目について家族、ヘルパーなどによる支援の有無をたずねた。
- **身体障害 (64歳以下)** は、「主に家族の支援を受けている」、「主に家族以外(ヘルパー、相談機関など)の支援を受けている」を合わせた《支援を受けている》の割合は、『掃除、洗濯などの家事 (37.1%)』が最も高く、『市役所、銀行などでの手続き (34.4%)』、『医療機関の受診 (32.1%)』が続いている。
- **身体障害 (65歳以上)** は、《支援を受けている》の割合は、『掃除、洗濯などの家事 (40.4%)』が最も高く、『医療機関の受診 (38.4%)』、『市役所、銀行などでの手続き (37.2%)』が続いている。
- **知的障害** は、《支援を受けている》の割合は、『市役所、銀行などでの手続き (72.7%)』が最も高く、『掃除、洗濯などの家事 (68.1%)』、『お金の管理 (66.8%)』が続いている。
- **精神障害** は、《支援を受けている》の割合は、『コミュニケーション、人間関係の悩みなどの相談 (35.0%)』が最も高く、『掃除、洗濯などの家事 (28.6%)』、『お金の管理 (25.6%)』が続いている。
- **難病** は、《支援を受けている》の割合は、『掃除、洗濯などの家事 (28.3%)』が最も高く、『市役所、銀行などでの手続き (23.7%)』、『医療機関の受診 (23.1%)』が続いている。

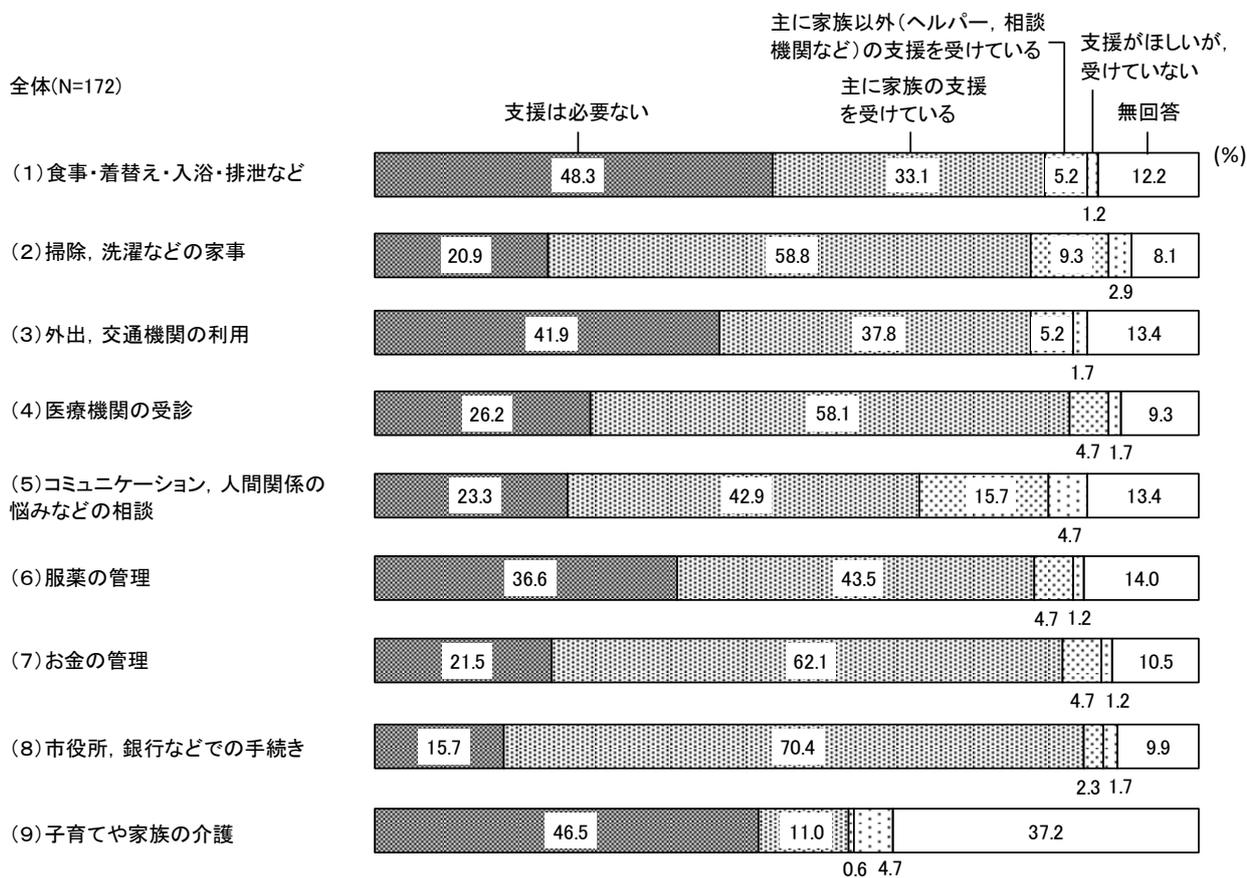
図表 4-26 日常生活への支援の有無【身体障害 (64歳以下)】(全体)



図表 4-27 日常生活への支援の有無【身体障害（65歳以上）】（全体）

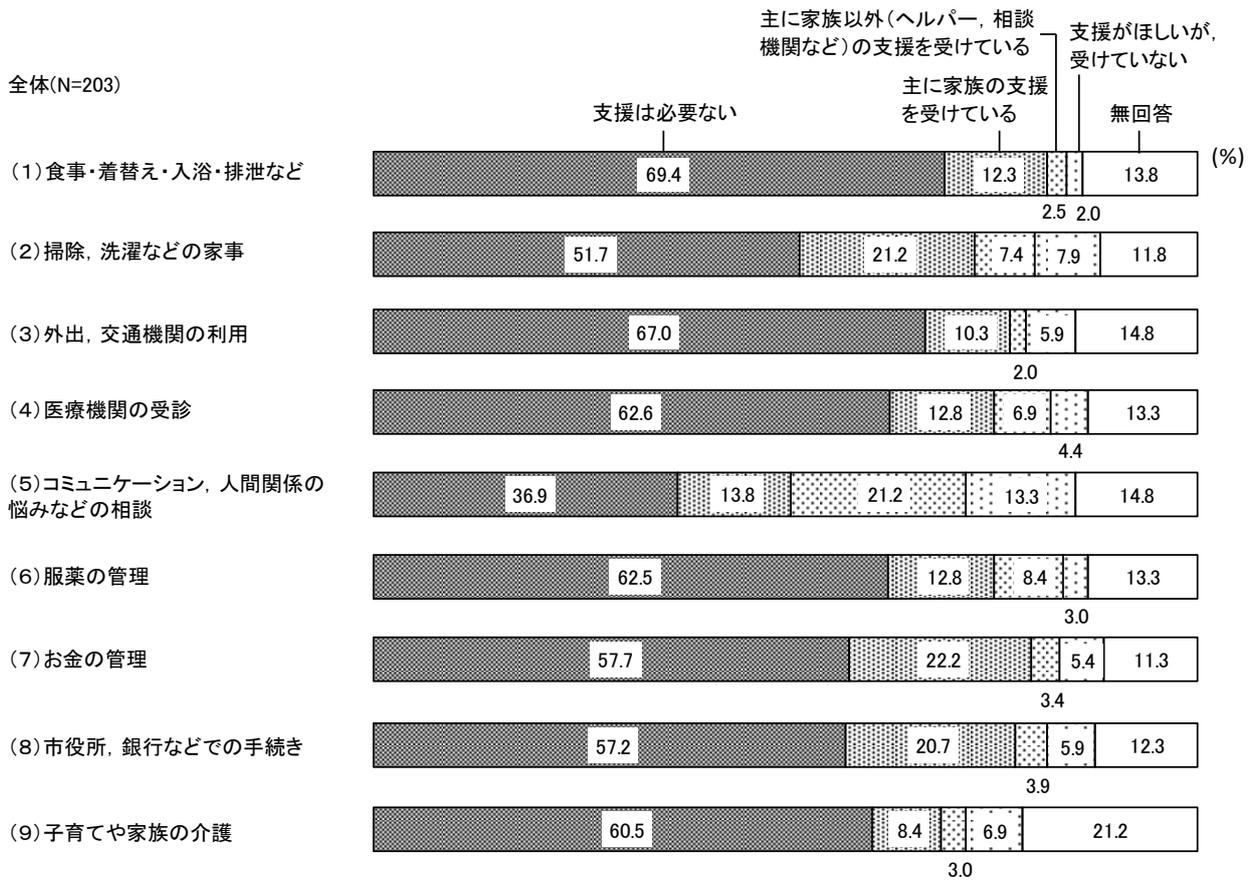


図表 4-28 日常生活への支援の有無【知的障害】（全体）

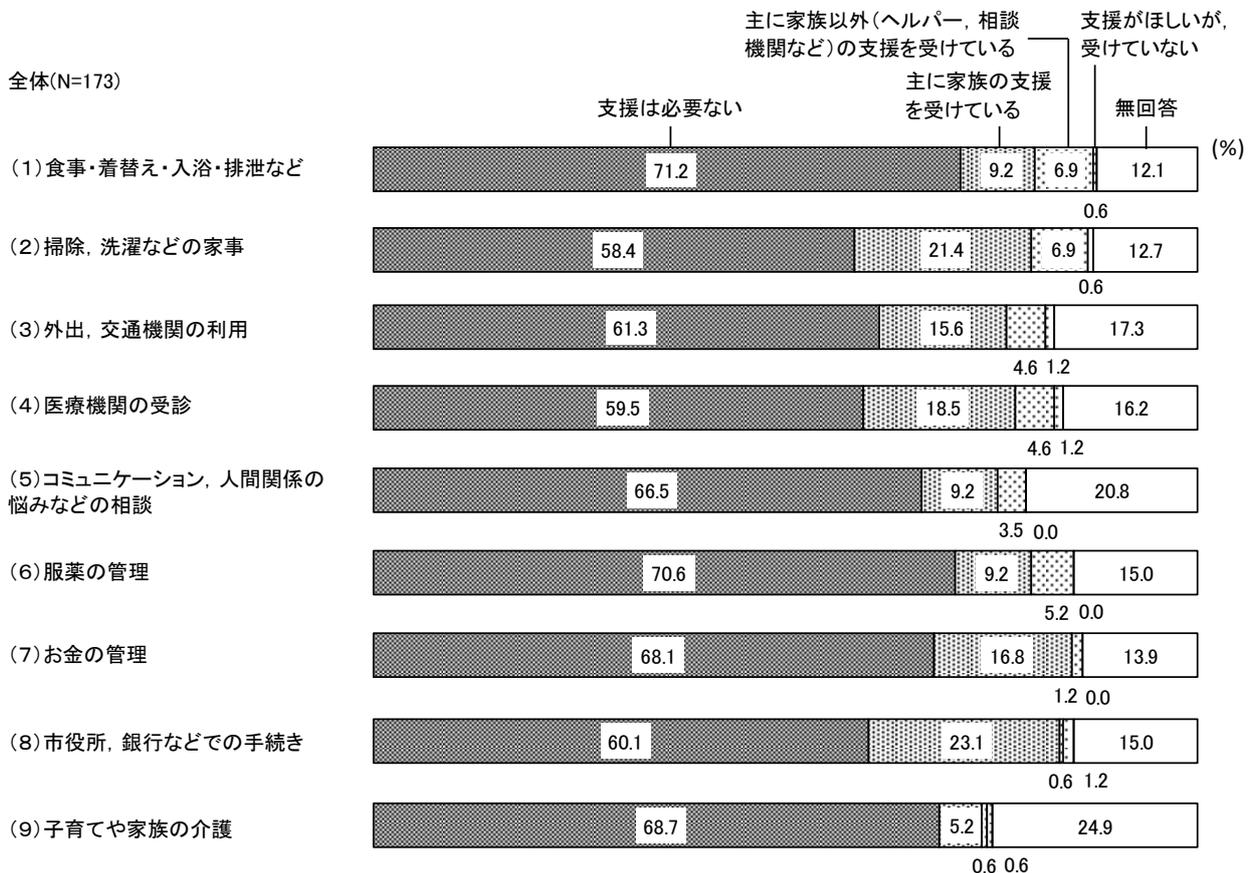


II アンケート調査の結果

図表 4-29 日常生活への支援の有無【精神障害】(全体)



図表 4-30 日常生活への支援の有無【難病】(全体)

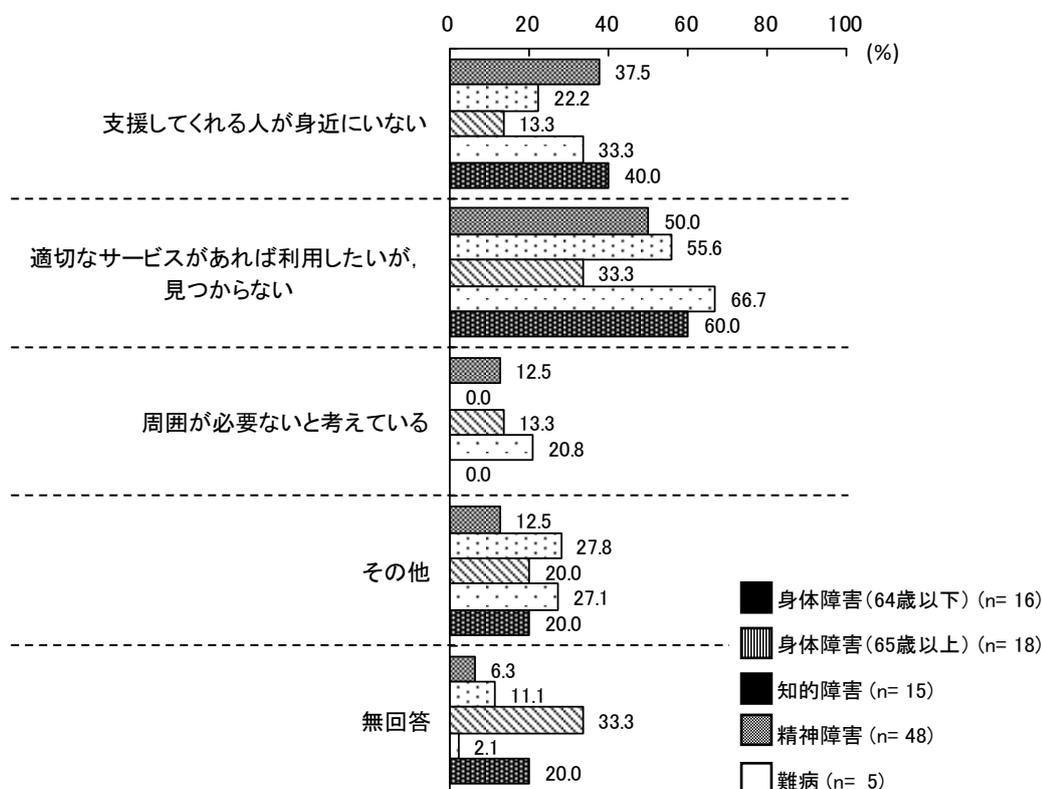


(5) 支援を受けていない理由 (問9-1)

問9-1 問9で(1)～(9)のいずれかに「支援がほしいが、受けていない」と答えた方におたずねします。支援を受けていない理由はどのようなことですか。(いくつでも○)

- 問9で「支援がほしいが受けていない」と答えた人にその理由をたずねた。
- 身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害, 精神障害, 難病ともに「適切なサービスがあれば利用したいが, 見つからない」が最も多く, 割合はそれぞれ 50.0%, 55.6%, 33.3%, 66.7%, 60.0%となっている。

図表 4-31 支援を受けていない理由 (全体: 複数回答)
 <「支援がほしいが、受けていない」と回答した人>

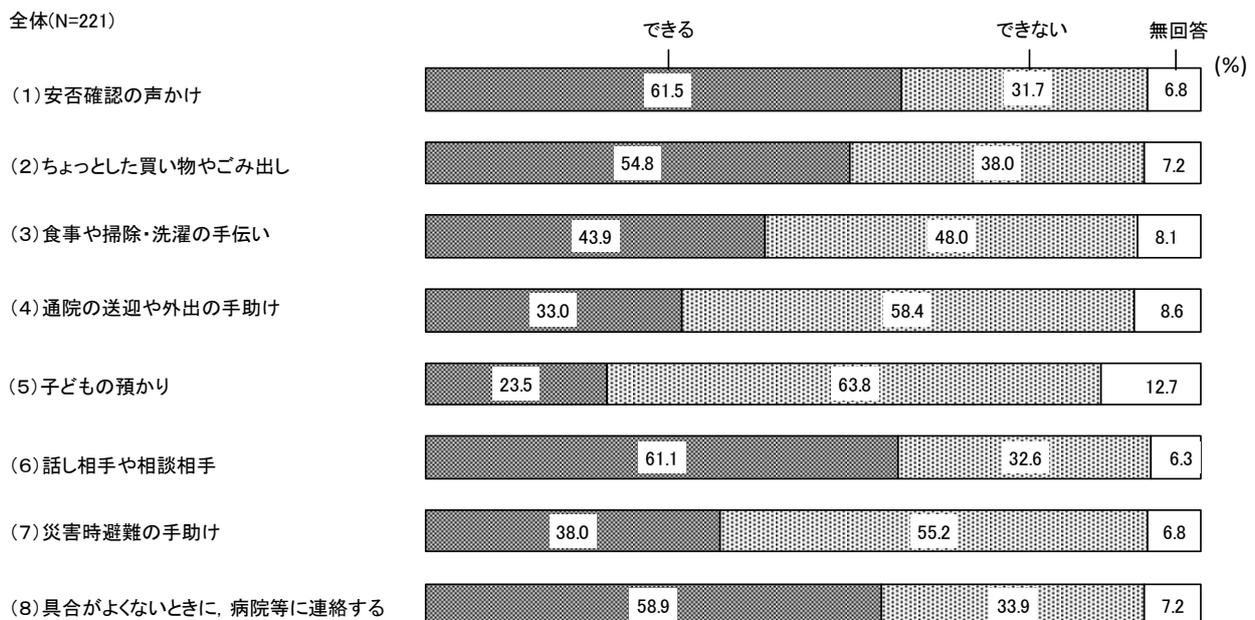


(6) 手助けできること (問 10)

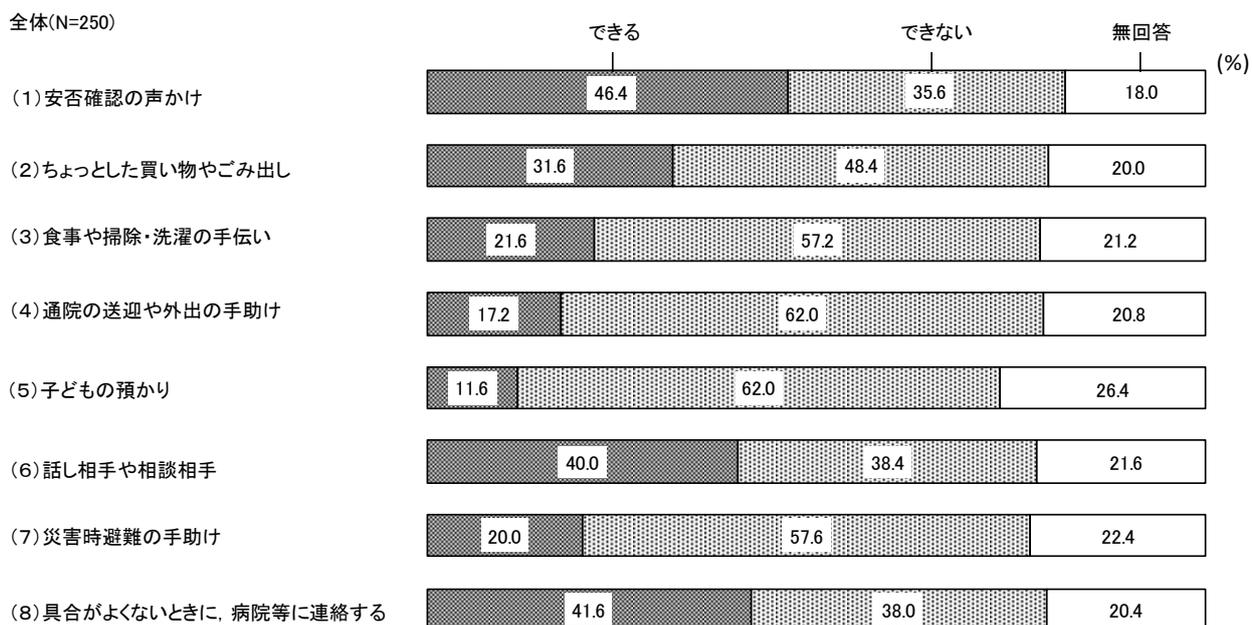
問 10 あなたは、次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。

- 日常生活の8項目について家族以外のまわりの人に手助けできるかをたずねた。
- **身体障害 (64 歳以下)** は、「できる」の割合は、『安否確認の声かけ (61.5%)』が最も高く、『話し相手や相談相手 (61.1%)』、『具合がよくないときに、病院等に連絡する (58.9%)』が続いている。
- **身体障害 (65 歳以上)** は、「できる」の割合は、『安否確認の声かけ (46.4%)』が最も高く、『具合がよくないときに、病院等に連絡する (41.6%)』、『話し相手や相談相手 (40.0%)』が続いている。
- **知的障害** は、「できる」の割合は、『ちょっとした買い物やごみ出し (41.9%)』が最も高く、『食事や掃除・洗濯の手伝い (36.6%)』、『話し相手や相談相手 (26.2%)』が続いている。
- **精神障害** は、「できる」の割合は、『安否確認の声かけ (60.1%)』が最も高く、『ちょっとした買い物やごみ出し (58.1%)』、『具合がよくないときに、病院等に連絡する (56.7%)』が続いている。
- **難病** は、「できる」の割合は、『安否確認の声かけ (60.7%)』が最も高く、『具合がよくないときに、病院等に連絡する (52.6%)』、『話し相手や相談相手 (50.9%)』が続いている。

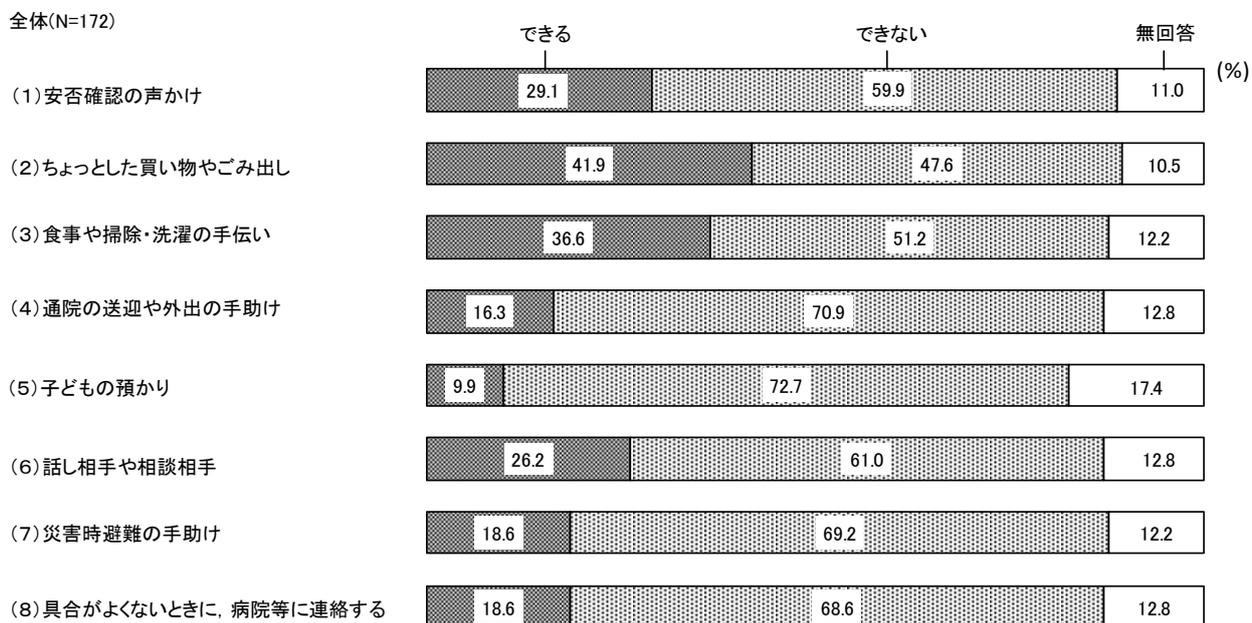
図表 4-32 手助けできること【身体障害 (64 歳以下)】(全体)



図表 4-33 手助けできること【身体障害(65歳以上)】(全体)

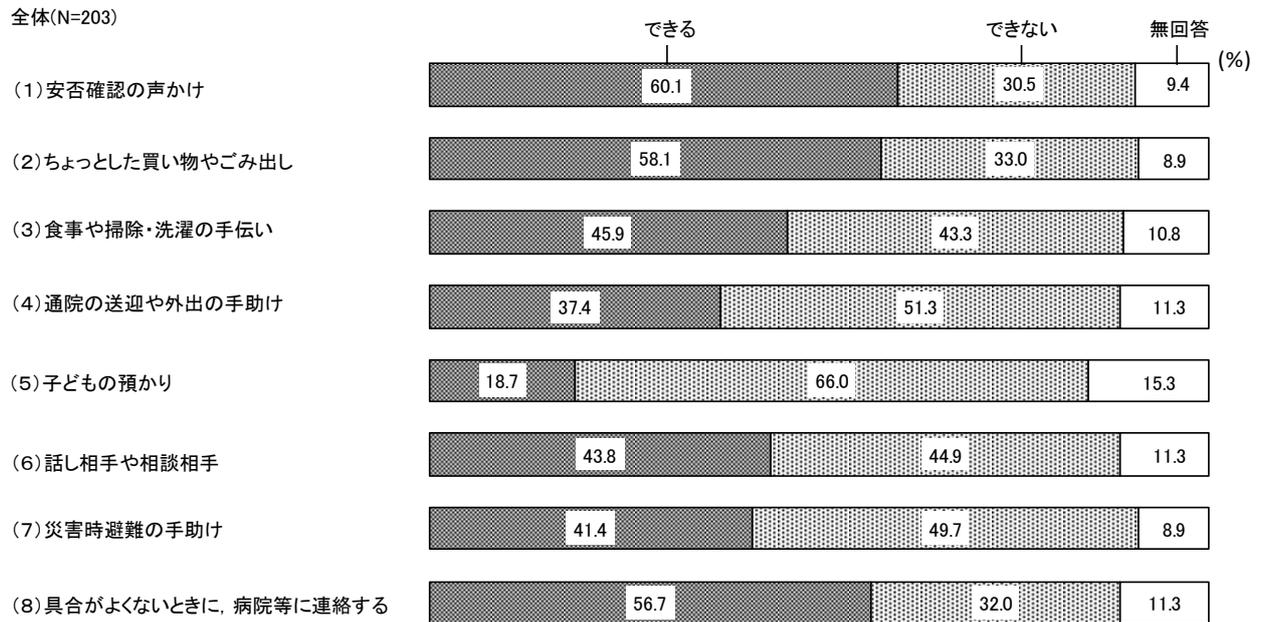


図表 4-34 手助けできること【知的障害】(全体)

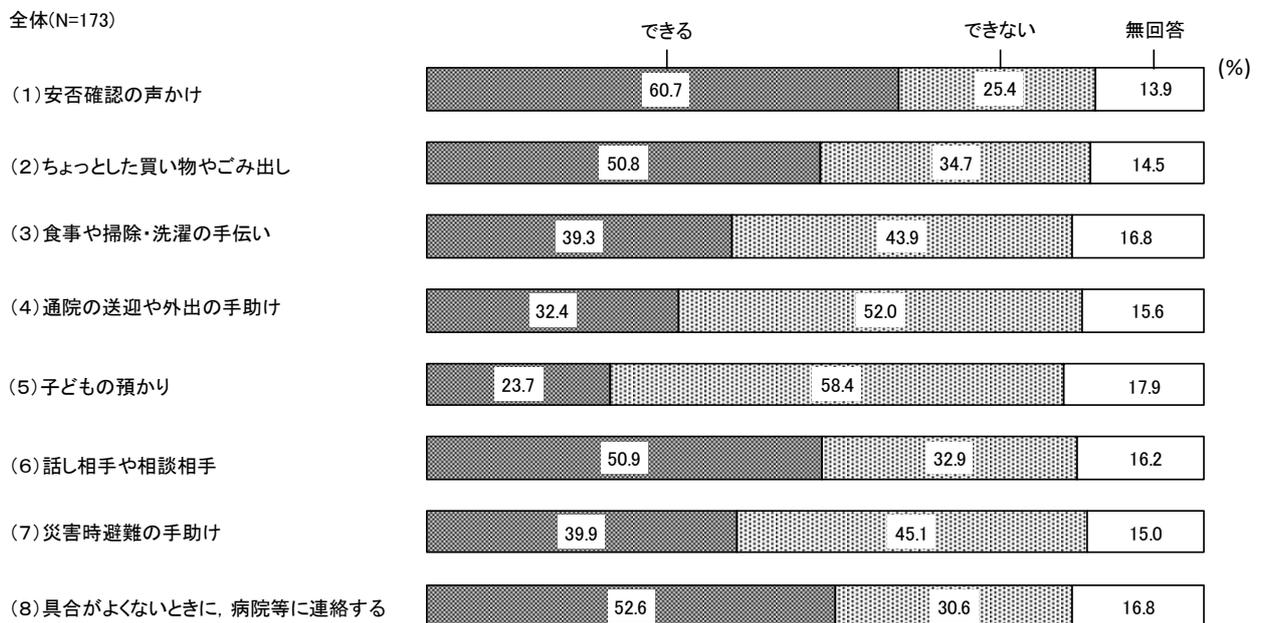


Ⅱ アンケート調査の結果

図表 4-35 手助けできること【精神障害】(全体)



図表 4-36 手助けできること【難病】(全体)

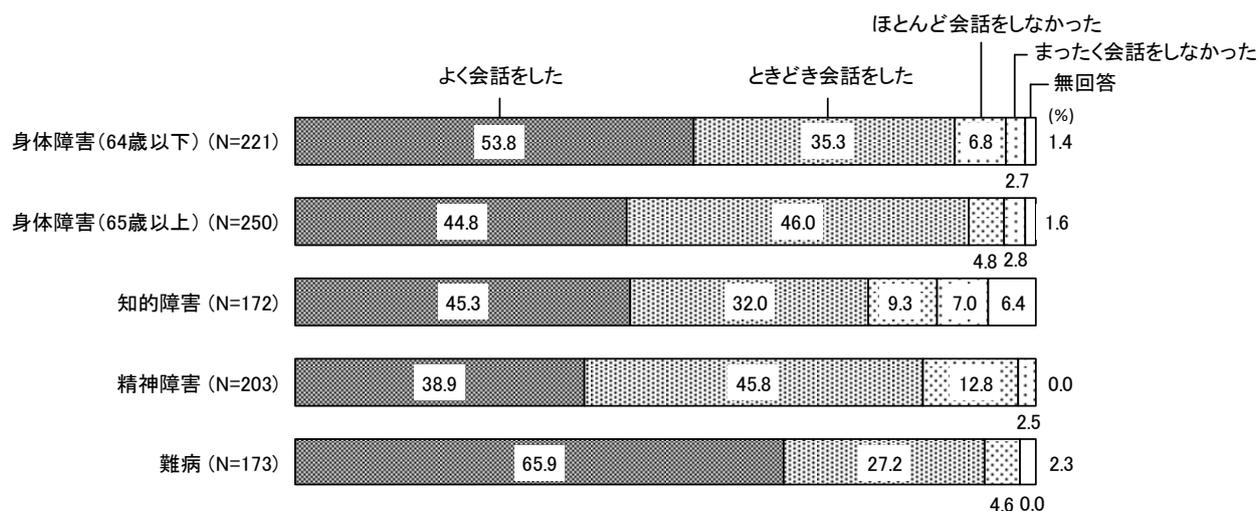


（7）家族以外との会話の状況（問11）

問11 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしましたか。（1つに○）

- 家族以外との会話の状況は、身体障害（64歳以下）、知的障害、難病では「よく会話をした」が最も多く、割合はそれぞれ53.8%、45.3%、65.9%である。
- 身体障害（65歳以上）、精神障害では、「ときどき会話をした」が最も多く、割合はそれぞれ46.0%、45.8%となっている。

図表 4-37 家族以外との会話の状況（全体）

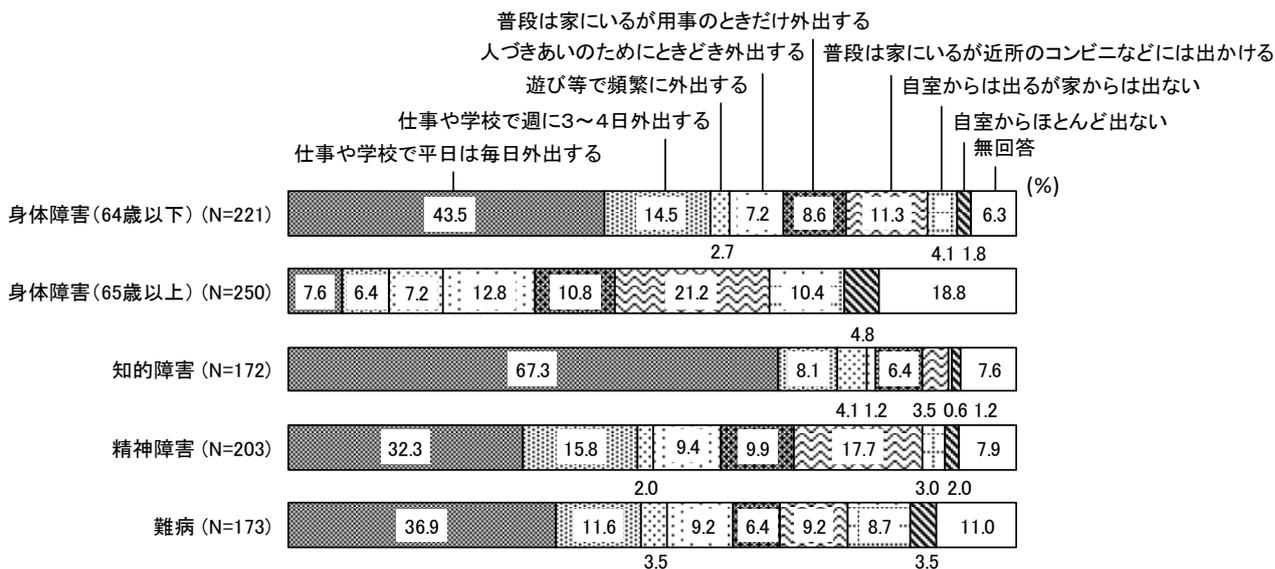


（8）普段の外出状況（問12）

問12 あなたは普段どのくらい外出しますか。（1つに○）

- 普段の外出状況は、身体障害（64歳以下）、知的障害、精神障害、難病ともに、「仕事や学校で毎日外出する」が最も多く、割合はそれぞれ43.5%、67.3%、32.3%、36.9%である。
- 身体障害（65歳以上）は、「普段は家にいるが近所のコンビニなどには出かける」が最も多く、21.2%となっている。

図表 4-38 普段の外出状況（全体）



(9) 現在の状態となった期間（問 12-1）

問 12-1 現在の状態となってどのくらい経ちますか。（1つに○）

- 現在の状態となってどのくらい経つたか、身体障害（64歳以下）では「7年～10年未満（15.8%）」、身体障害（65歳以上）では「3～5年未満（15.3%）」、知的障害では「30年以上（15.0%）」、精神障害では、「7年～10年未満（12.1%）」、「15年～20年未満（12.1%）」、難病では「10年～15年未満（18.7%）」が最も多くなっている。

図表 4-39 現在の状態となった期間（全体）

	（％）						
	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年以上
身体障害（64歳以下）（N=221）	1.8	12.3	12.3	10.5	15.6	8.8	15.8
身体障害（65歳以上）（N=250）	5.1	5.9	8.5	11.0	15.3	10.2	9.3
知的障害（N=172）	10.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
精神障害（N=203）	6.1	4.5	3.0	9.1	10.6	7.6	12.1
難病（N=173）	8.3	4.2	12.5	8.3	12.5	6.3	10.4

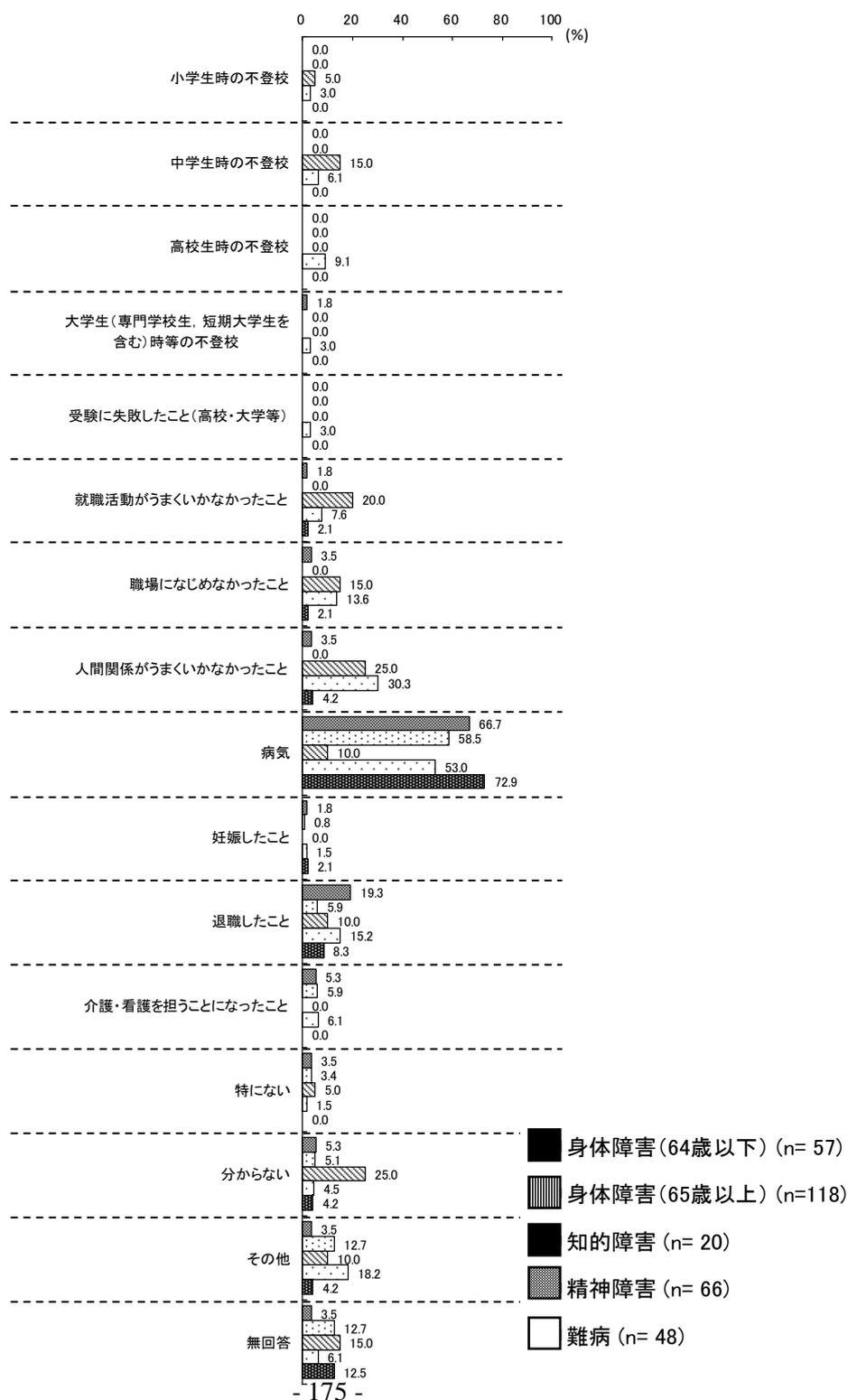
	（％）				
	未1年～1年5年	未1年5年～2年	未2年～2年5年	2年5年～3年	3年以上
身体障害（64歳以下）（N=221）	7.0	0.0	5.3	7.0	1.8
身体障害（65歳以上）（N=250）	13.6	4.2	2.5	0.8	6.8
知的障害（N=172）	10.0	5.0	10.0	5.0	15.0
精神障害（N=203）	7.6	12.1	6.1	4.5	9.1
難病（N=173）	18.7	2.1	0.0	0.0	6.3

(10) 現在の状態になったきっかけ (問 12-2)

問 12-2 現在の状態になったきっかけは何ですか。(いくつでも○)

- 現在の状態となったきっかけをたずねたところ、身体障害 (64歳以下)、身体障害 (65歳以上)、精神障害、難病ともに「病気 (それぞれ 66.7%, 58.5%, 53.0%, 72.9%)」が最も多くなっている。知的障害では「人間関係がうまくいかなかったこと (25.0%)」が最も多くなっている。

図表 4-40 現在の状態になったきっかけ (全体)

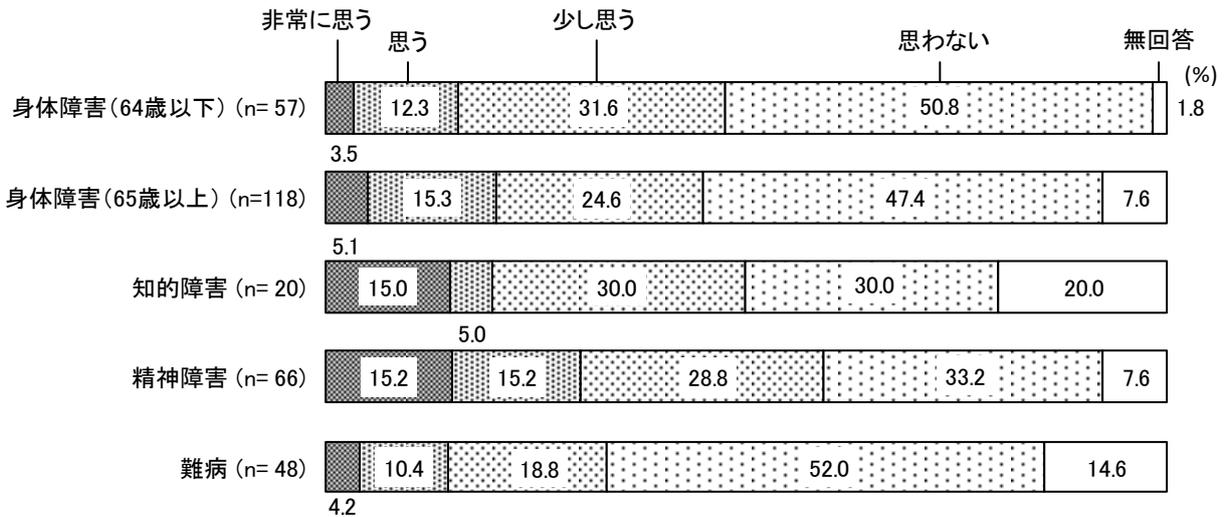


(11) 相談の意向 (問 12-3)

問 12-3 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(1つに○)

- 相談の意向は、身体障害 (64 歳以下)、身体障害 (65 歳以上)、精神障害、難病ともに「思わない」が最も多く、割合はそれぞれ 50.8%、47.4%、33.2%、52.0%となっている。
- 知的障害では「思わない」と「少し思う」が最も多く、30.0%となっている。

図表 4-41 相談の意向 (全体)

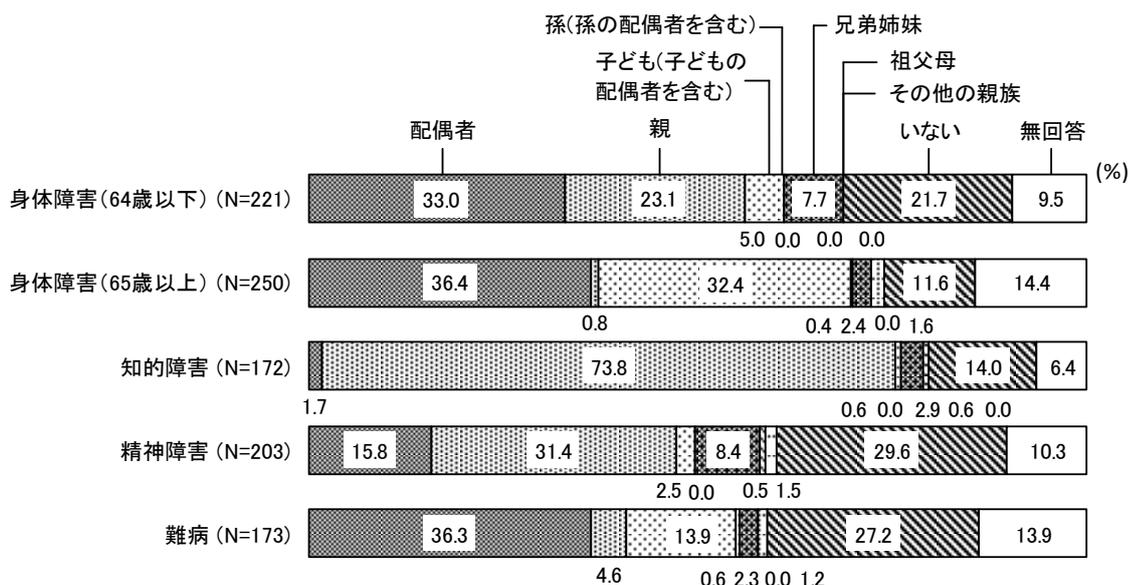


(12) 主な介護者の続柄・性別・年齢（問13）

問13 あなたを主に介護や支援をしているご家族はどなたですか。あて名のご本人からみた続柄で回答してください。（1つに○）
また、○をつけた方の性別にも○をつけて、年齢をご記入ください。

- **身体障害（64歳以下）**の主な介護者は「配偶者（33.0%）」が最も多く、配偶者の平均年齢は55.9歳である。
- **身体障害（65歳以上）**の主な介護者は「配偶者（36.4%）」が最も多く、配偶者の平均年齢は76.5歳である。
- **知的障害**の主な介護者は「親（73.8%）」が最も多く、親の平均年齢は64.7歳である。
- **精神障害**の主な介護者は「親（31.4%）」が最も多く、親の平均年齢は70.9歳である。
- **難病**の主な介護者は「配偶者（36.3%）」が最も多く、配偶者の平均年齢は64.2歳である。

図表 4-42 主な介護者の続柄（全体）



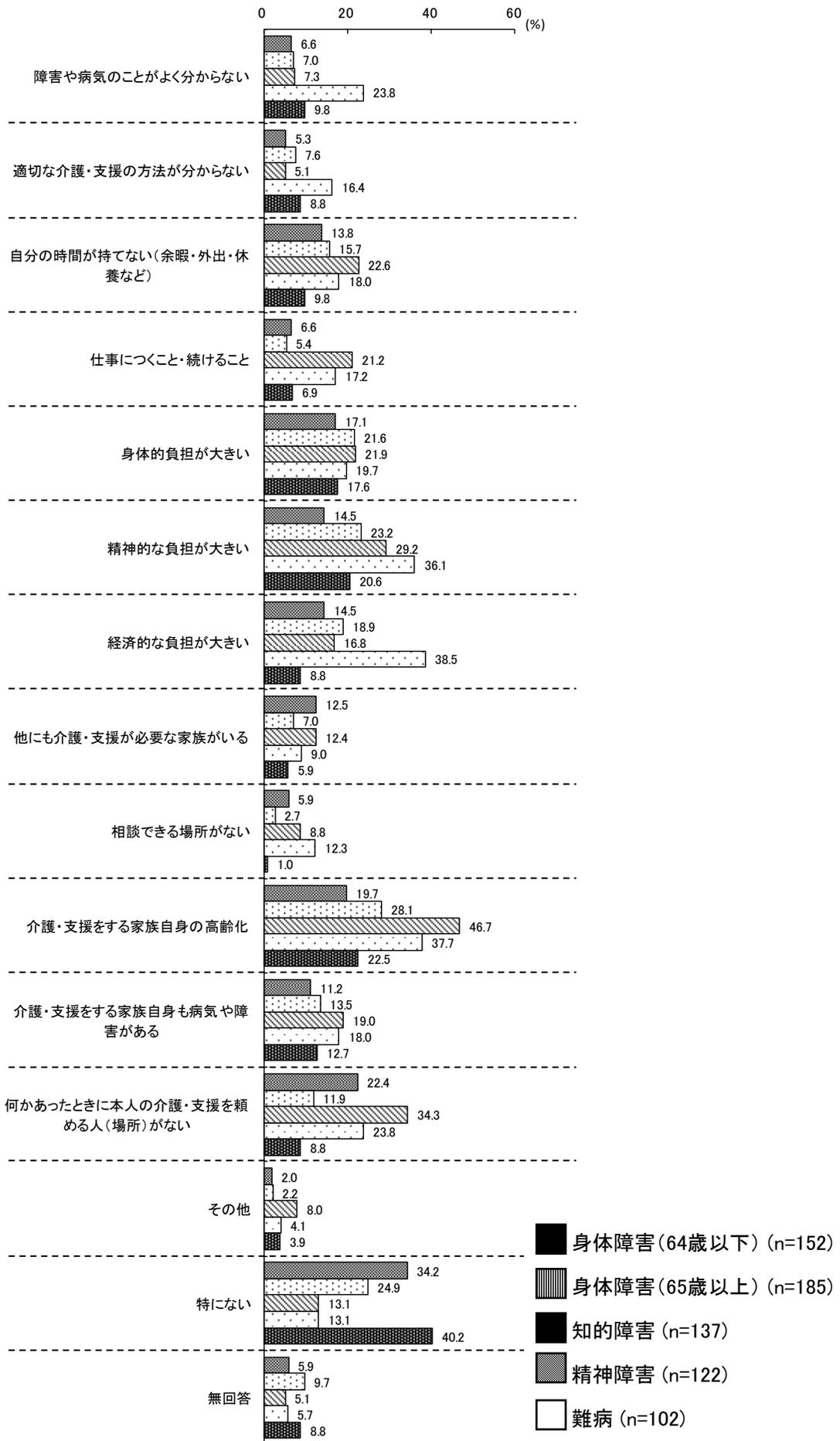
(13) 主な介護者の不安や困りごと（問13-1）

問13-1 問13で1～7と答えた方におたずねします。あなたを主に介護や支援をしているご家族は、介護にあたってどのような不安や困りごとがありますか。（いくつでも○）

- 主な介護者の不安や困りごとは、「特にない」を除き、身体障害（65歳以上）、知的障害、難病ともに「介護・支援をする家族自身の高齢化」が最も多く、割合はそれぞれ、28.1%、46.7%、22.5%となっている。身体障害（64歳以下）では「何かあったときに本人の介護・支援を頼める人（場所）がない」が最も多く、22.4%となっている。精神障害では「経済的な負担が大きい」が最も多く、38.5%となっている。また、「特にない」の割合は、身体障害（64歳以下）と難病で3割を超えている。

II アンケート調査の結果

図表 4-43 主な介護者の不安や困りごと（全体：複数回答）

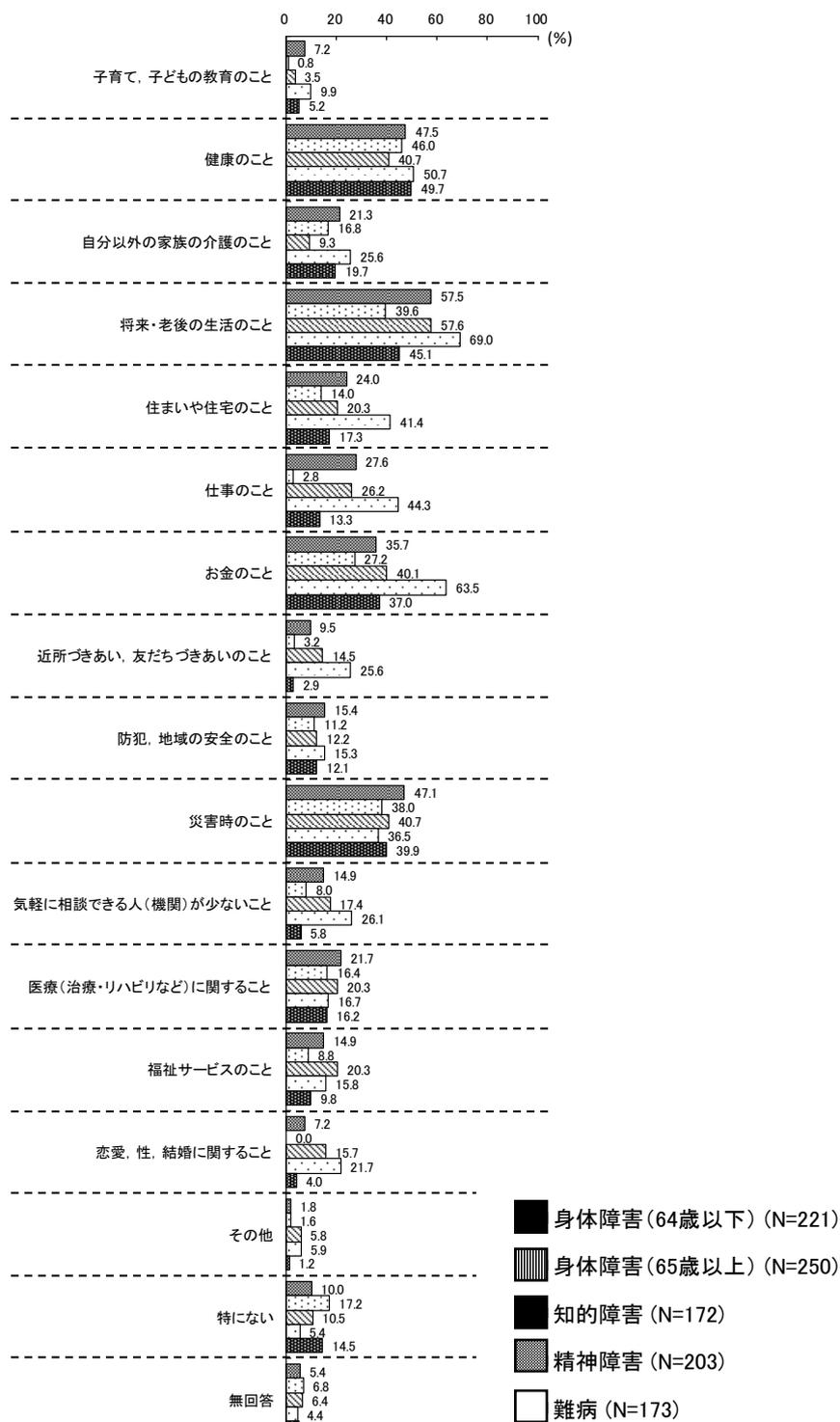


(14) 地域の暮らしの中での不安や課題 (問 14)

問 14 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題、心配に感じることがありますか。身近に感じる不安や課題をお答えください。(いくつでも○)

○ 地域の暮らしの中での不安や課題は、身体障害 (64歳以下)、知的障害、精神障害ともに「将来・老後の生活のこと」が最も多く、その割合はそれぞれ 57.5%、57.6%、69.0%となっている。身体障害 (65歳以上)、難病では「健康のこと」が最も多く、割合はそれぞれ 46.0%、49.7%となっている。

図表 4-44 地域の暮らしの中での不安や課題 (全体：複数回答)

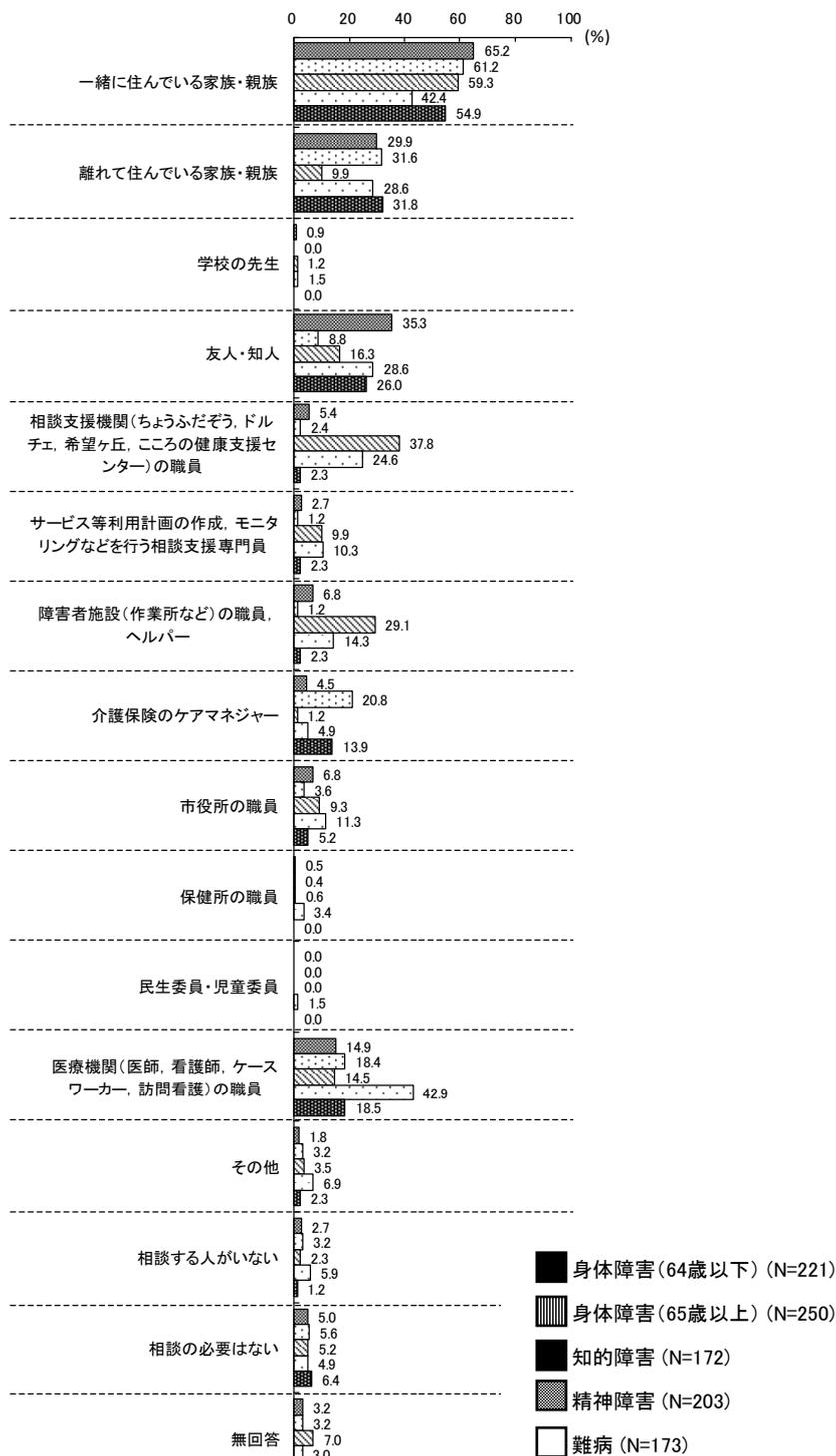


(15) 困ったときの身近な相談相手（問 15）

問 15 あなたは、悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。（いくつでも○）

○ 困ったときの身近な相談相手は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、難病ともに「一緒に住んでいる家族・親族」が最も多く、その割合はそれぞれ65.2%、61.2%、59.3%、54.9%となっている。精神障害では「医療機関（医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護）の職員（42.9%）」が最も多くなっている。

図表 4-45 困ったときの身近な相談相手（全体：複数回答）



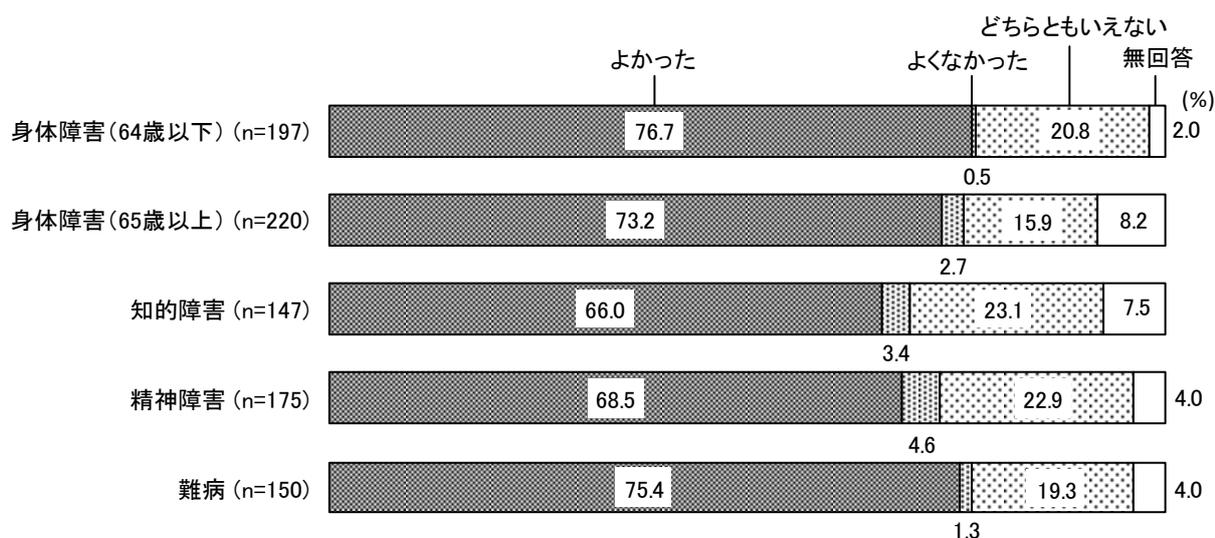
(16) 相談してよかったか（問15-1）

問15-1 問15で1～13と答えた方におたずねします。

相談してよかったですか。（1つに○）

- 相談してよかったかたずねたところ、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「よかった」が最も多く、割合はそれぞれ76.7%、73.2%、66.0%、68.5%、75.4%となっている。

図表4-46 相談してよかったか（全体）



(17) よくなかった理由 (問 15-2)

問 15-2 問 15-1 で「2. よくなかった」と答えた方におたずねします。

その理由は何ですか。(いくつでも○)

- よくなかった理由をたずねたところ、「親身に考えてもらえなかったから」、「期待していたような助言が得られなかったから」が多くなっている。

図表 4-47 よくなかった理由 (全体)

	な親 か身 つに た考 かえ らて らえ	話 し づ ら か つ た か ら	れ な か つ た 回 答 が 得 ら	た 助 言 が 得 ら れ な か つ	期 待 し て い た よ う な	な ら な か つ た か ら	何 ヶ 所 も 足 を 運 び、	そ の 他	(人) 無 回 答
身体障害 (64歳以下) (n= 1)	1	0	0	1	1	0	0	0	
身体障害 (65歳以上) (n= 6)	2	2	2	2	1	0	1		
知的障害 (n= 5)	2	2	1	2	2	2	0		
精神障害 (n= 8)	3	3	2	4	1	3	0		
難病 (n= 2)	0	0	1	0	0	1	0		

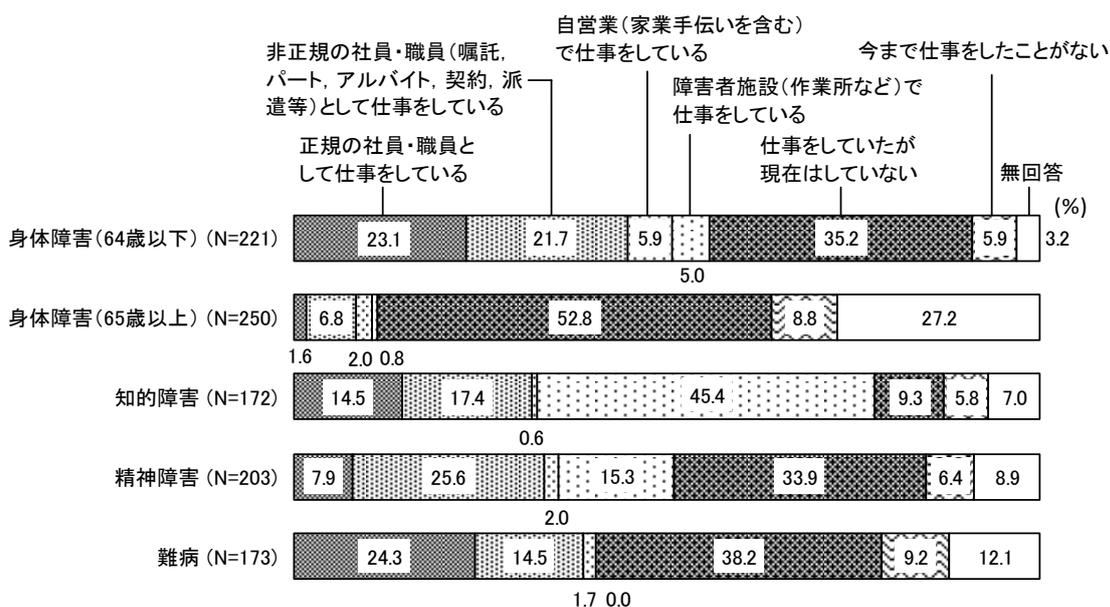
4 就労等の状況

(1) 就労形態 (問16)

問16 あなたは、現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

- **身体障害 (64歳以下)** は《仕事をしている》*の割合は 55.7%であり、そのうち「正規の社員・職員として仕事をしている (23.1%)」が最も多くなっている。また、「仕事をしてきたが現在はしていない」は 35.2%、「今まで仕事をしたことがない」は 5.9%となっている。
- **身体障害 (65歳以上)** は「仕事をしてきたが現在はしていない (52.8%)」が最も多くなっている。《仕事をしている》の割合は 11.2%、「今まで仕事をしたことがない」は 8.8%となっている。
- **知的障害** は《仕事をしている》の割合は 77.9%であり、そのうち「障害者施設 (作業所など) で仕事をしている (45.4%)」が最も多くなっている。また、「仕事をしてきたが現在はしていない」は 9.3%、「今まで仕事をしたことがない」は 5.8%となっている。
- **精神障害** は《仕事をしている》の割合は 50.8%であり、そのうち「非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣等) として仕事をしている (25.6%)」が最も多くなっている。また、「仕事をしてきたが現在はしていない」は 33.9%、「今まで仕事をしたことがない」は 6.4%となっている。
- **難病** は《仕事をしている》の割合は 40.5%であり、そのうち「正規の社員・職員として仕事をしている (24.3%)」が最も多くなっている。また、「仕事をしてきたが現在はしていない」は 38.2%、「今まで仕事をしたことがない」は 9.2%となっている。

図表 4-48 就労形態 (全体)



※ 《仕事をしている》: 「正規の社員・職員として仕事をしている」, 「非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) として仕事をしている」, 「自営業 (家業手伝いを含む) で仕事をしている」, 「障害者施設 (作業所など) で仕事をしている」の合計。

II アンケート調査の結果

身体障害（64歳以下）

- **年代別**にみると、18歳～39歳は「非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣等）として仕事をしている（28.8%）」が3割弱で最も多くなっている。40歳～64歳は「仕事をしていたが現在はしていない（38.6%）」が4割弱で最も多くなっている。

図表 4-49 就労形態【身体障害（64歳以下）】

（全体、年代別、障害程度別）

		(%)							
		正 規 の 社 員 ・ 職 員 と し て	嘱 託 、 パ ー ト 、 ア ル バ イ ト 、 契 約 、 派 遣 等 ） と し て	非 正 規 の 社 員 ・ 職 員 （ 嘱 託 、 パ ー ト 、 ア ル バ イ ト ）	自 営 業 （ 家 業 手 伝 い を 含 む ） で 仕 事 を し て い る	障 害 者 施 設 （ 作 業 所 な ど ） で 仕 事 を し て い る	仕 事 を し て い な い が 現 在 は	今 ま で 仕 事 を し た こ と が な い	無 回 答
全	体 (N=221)	23.1	21.7	5.9	5.0	35.2	5.9	3.2	
年 代 別	18歳～39歳 (n= 38)	26.3	28.8	5.3	13.2	13.2	13.2	0.0	
	40歳～64歳 (n=163)	23.9	22.1	5.5	2.5	38.6	4.3	3.1	
障 害 程 度 別	1級 (n= 82)	17.1	17.1	6.1	3.7	38.9	13.4	3.7	
	2級 (n= 44)	25.0	18.2	6.8	11.4	31.8	2.3	4.5	
	3級 (n= 32)	25.0	25.0	9.4	0.0	34.4	3.1	3.1	
	4級 (n= 30)	30.0	30.0	6.7	0.0	33.3	0.0	0.0	
	5級 (n= 16)	25.0	25.0	0.0	12.5	31.2	0.0	6.3	
	6級 (n= 8)	37.5	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	

身体障害（65歳以上）

- **年代別、障害程度別**にみると、すべての年代、すべての等級で「仕事をしていたが現在はしていない」が最も多くなっている。

図表 4-50 就労形態【身体障害（65歳以上）】

（全体、年代別、障害程度別）

		(%)							
		正 規 の 社 員 ・ 職 員 と し て	嘱 託 、 パ ー ト 、 ア ル バ イ ト 、 契 約 、 派 遣 等 ） と し て	非 正 規 の 社 員 ・ 職 員 （ 嘱 託 、 パ ー ト 、 ア ル バ イ ト ）	自 営 業 （ 家 業 手 伝 い を 含 む ） で 仕 事 を し て い る	障 害 者 施 設 （ 作 業 所 な ど ） で 仕 事 を し て い る	仕 事 を し て い な い が 現 在 は	今 ま で 仕 事 を し た こ と が な い	無 回 答
全	体 (N=250)	1.6	6.8	2.0	0.8	52.8	8.8	27.2	
年 代 別	65歳～74歳 (n= 64)	3.1	12.5	1.6	3.1	57.8	7.8	14.1	
	75歳～84歳 (n=105)	1.0	7.6	3.8	0.0	48.6	7.6	31.4	
	85歳以上 (n= 66)	0.0	0.0	0.0	0.0	54.6	13.6	31.8	
障 害 程 度 別	1級 (n= 71)	1.4	7.0	2.8	1.4	57.9	5.6	23.9	
	2級 (n= 31)	0.0	6.5	0.0	0.0	38.7	16.1	38.7	
	3級 (n= 33)	0.0	3.0	0.0	0.0	60.7	12.1	24.2	
	4級 (n= 74)	2.7	8.1	1.4	0.0	58.0	9.5	20.3	
	5級 (n= 7)	14.3	0.0	14.3	0.0	42.8	0.0	28.6	
	6級 (n= 10)	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	10.0	50.0	

知的障害

- **年代別**にみると、年代があがるにつれ、「障害者施設（作業所など）で仕事をしている」の割合が高くなっている。
- **障害程度別**では、「障害者施設（作業所など）で仕事をしている」の割合が2度では8割、3度では6割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-51 就労形態【知的障害】
(全体, 年代別, 障害程度別)

			正規の社員・職員として仕事をしている	嘱託、パート、アルバイト、派遣等として仕事をしている	非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト）として仕事をしている	自営業（家庭手伝いを含む）で仕事をしている	障害者施設（作業所など）で仕事をしている	仕事をしていないが現在は	今まで仕事をしたことがない	無回答
全	体	(N=172)	14.5	17.4	0.6	45.4	9.3	5.8	7.0	
年代別	18歳～39歳	(n= 92)	18.5	25.0	0.0	40.2	5.4	7.6	3.3	
	40歳～64歳	(n= 57)	12.3	8.8	1.8	52.6	10.5	3.5	10.5	
	65歳以上	(n= 8)	0.0	0.0	0.0	62.5	12.5	12.5	12.5	
障害程度別	1度	(n= 6)	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	49.9	0.0	
	2度	(n= 41)	0.0	4.9	0.0	82.9	0.0	4.9	7.3	
	3度	(n= 32)	12.5	12.5	0.0	62.4	6.3	0.0	6.3	
	4度	(n= 74)	28.3	24.3	1.4	28.4	12.2	0.0	5.4	

精神障害

- **年代別**にみると、18～39歳では「非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣等）として仕事をしている（43.6%）」が4割を超えている。

図表 4-52 就労形態【精神障害】
(全体, 年代別, 障害程度別)

			正規の社員・職員として仕事をしている	嘱託、パート、アルバイト、派遣等として仕事をしている	非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト）として仕事をしている	自営業（家庭手伝いを含む）で仕事をしている	障害者施設（作業所など）で仕事をしている	仕事をしていないが現在は	今まで仕事をしたことがない	無回答
全	体	(N=203)	7.9	25.6	2.0	15.3	33.9	6.4	8.9	
年代別	18歳～39歳	(n= 46)	8.7	43.6	0.0	13.0	21.7	13.0	0.0	
	40歳～64歳	(n=118)	8.5	23.7	3.4	16.1	37.3	4.2	6.8	
	65歳以上	(n= 28)	0.0	3.6	0.0	10.7	46.5	7.1	32.1	
障害程度別	1級	(n= 7)	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3	28.6	
	2級	(n= 91)	3.3	17.6	3.3	22.0	32.9	11.0	9.9	
	3級	(n= 79)	13.9	40.6	1.3	6.3	35.4	0.0	2.5	

II アンケート調査の結果

難病

- **年代別**にみると、18歳～39歳と40～64歳では「正規の社員・職員として仕事をしている(それぞれ55.5%, 43.8%)」が最も多くなっている。一方、65歳以上では、「仕事をしてきたが現在はしていない(55.3%)」が5割を超えている。

図表 4-53 就労形態【難病】
(全体, 年代別)

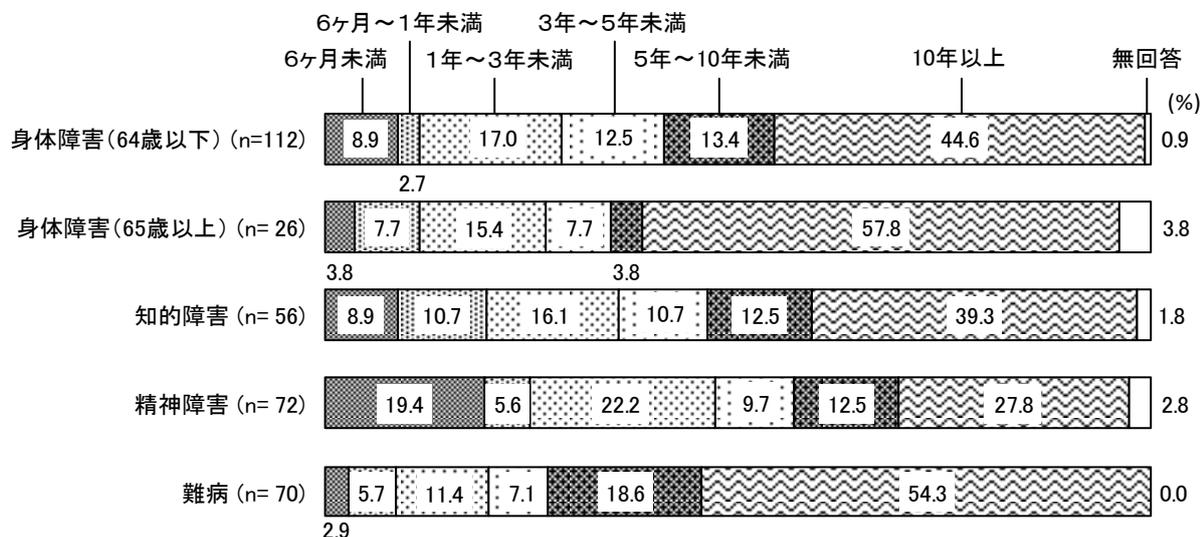
		(%)						
		正 規 の 社 員 ・ 職 員 と し て し て い る	非 正 規 の 社 員 ・ 職 員 （ ト、 託、 契 約、 派 遣 等 ） と し て い る	自 営 業 （ 家 業 手 伝 い を 含 む ） で し て い る	障 害 者 施 設 （ 作 業 所 な ど ） で し て い る	し て い な い が 現 在 は	今 ま で し て い な い こ と が	無 回 答
全	体 (N=173)	24.3	14.5	1.7	0.0	38.2	9.2	12.1
年 代 別	18歳～39歳 (n= 18)	55.5	27.8	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0
	40歳～64歳 (n= 57)	43.8	26.3	1.8	0.0	22.8	3.5	1.8
	65歳以上 (n= 87)	3.4	3.4	2.3	0.0	55.3	13.8	21.8

(2) 勤務年数 (問 16-1)

問 16-1 あなたは、現在の勤務先で働き始めてどのくらいたちますか。(1つに○)

- 収入を伴う仕事をしている人に、勤務年数をたずねた。
- 身体障害 (64歳以下)、身体障害 (65歳以上)、知的障害、精神障害、難病ともに「10年以上」が最も多く、割合はそれぞれ44.6%, 57.8%, 39.3%, 27.8%, 54.3%となっている。

図表 4-54 勤務年数 (全体) <収入を伴う仕事をしている人>

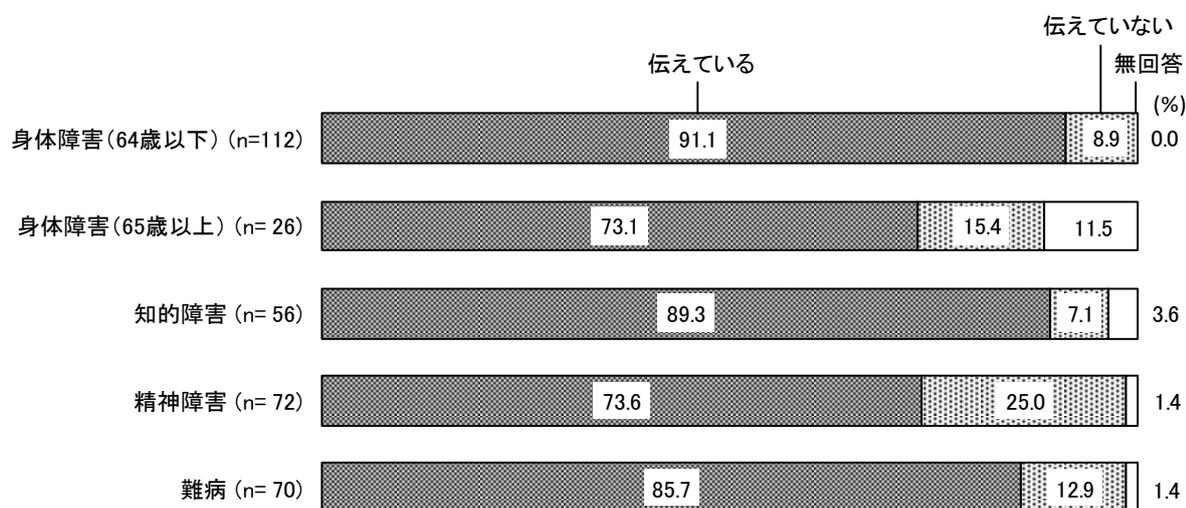


（3）勤務先への障害・病気のあることの伝達（問16-2）

問16-2 あなたは、勤務先に自分の障害、病気などについて伝えてありますか。（1つに○）

- 収入を伴う仕事をしていると回答した人に勤務先への障害・病気のあることを伝えているかたずねた。
- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「伝えている」が最も多く、それぞれ91.1%、73.1%、89.3%、73.6%、85.7%となっている。

図表 4-55 勤務先への障害・病気のあることの伝達（全体）
 <収入を伴う仕事をしている人>

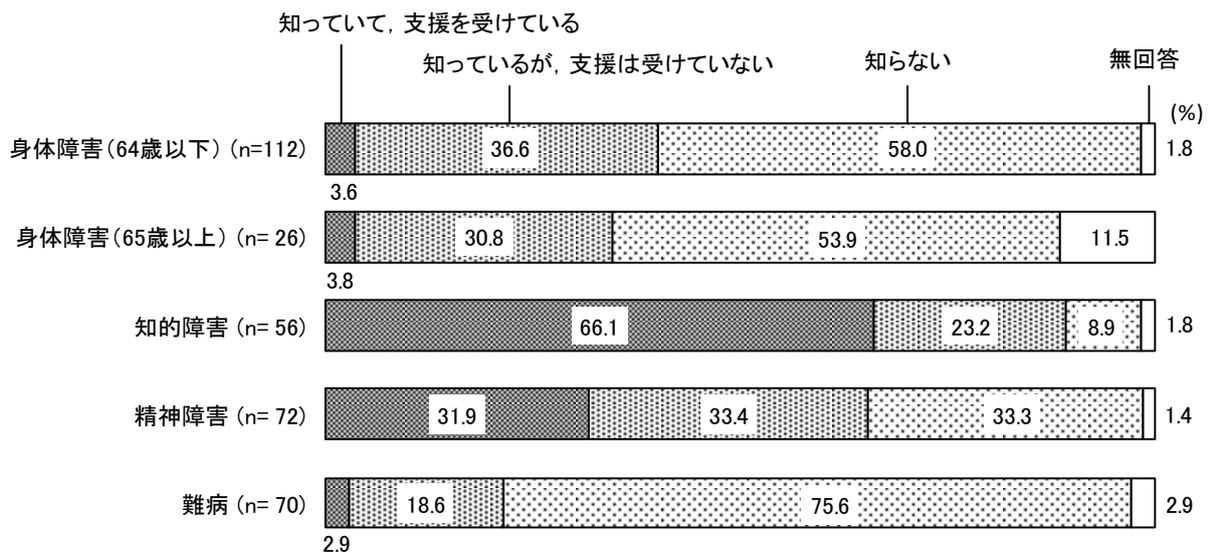


(4) 「障害者就労支援センター」の認知状況 (問 16-3)

問 16-3 あなたは、障害者の就労を支援する「障害者就労支援センター」(ちょうふだぞう、こころの健康支援センター就労支援室ライズ)を知っていますか、また、支援を受けていますか。(1つに○)

- 収入を伴う仕事をしていると回答した人の「障害者就労支援センター」の認知度をたずねた。
- 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 難病ともに「知らない」が最も多く, 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上) では 5 割, 難病は 7 割を超えている。
- 知的障害では「知っていて, 支援を受けている (66.1%)」が最も多く, 精神障害では「知っているが, 支援は受けていない (33.4%)」が最も多くなっている。

図表 4-56 「障害者就労支援センター」の認知状況 (全体)
 <収入を伴う仕事をしている人>

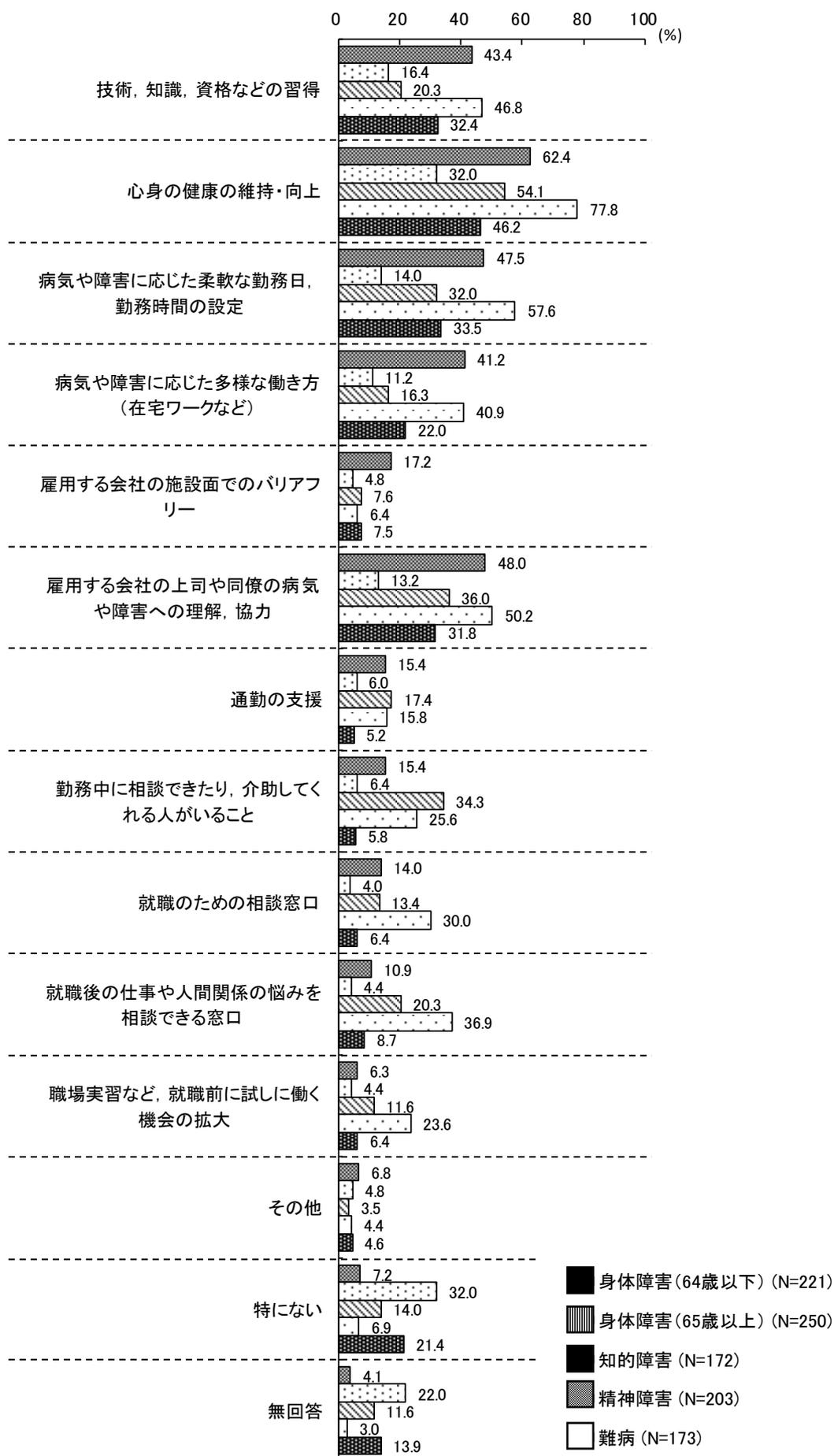


(5) 仕事をするために必要だと思うこと (問 17)

問 17 仕事をするために, あなたが必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

- 仕事をするために必要だと思うことは, 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 知的障害, 精神障害, 難病ともに「心身の健康状態の維持・向上」が最も多く, 割合はそれぞれ 62.4%, 32.0%, 54.1%, 77.8%, 46.2%となっている。

図表 4-57 仕事をするために必要だと思うこと (全体：複数回答)

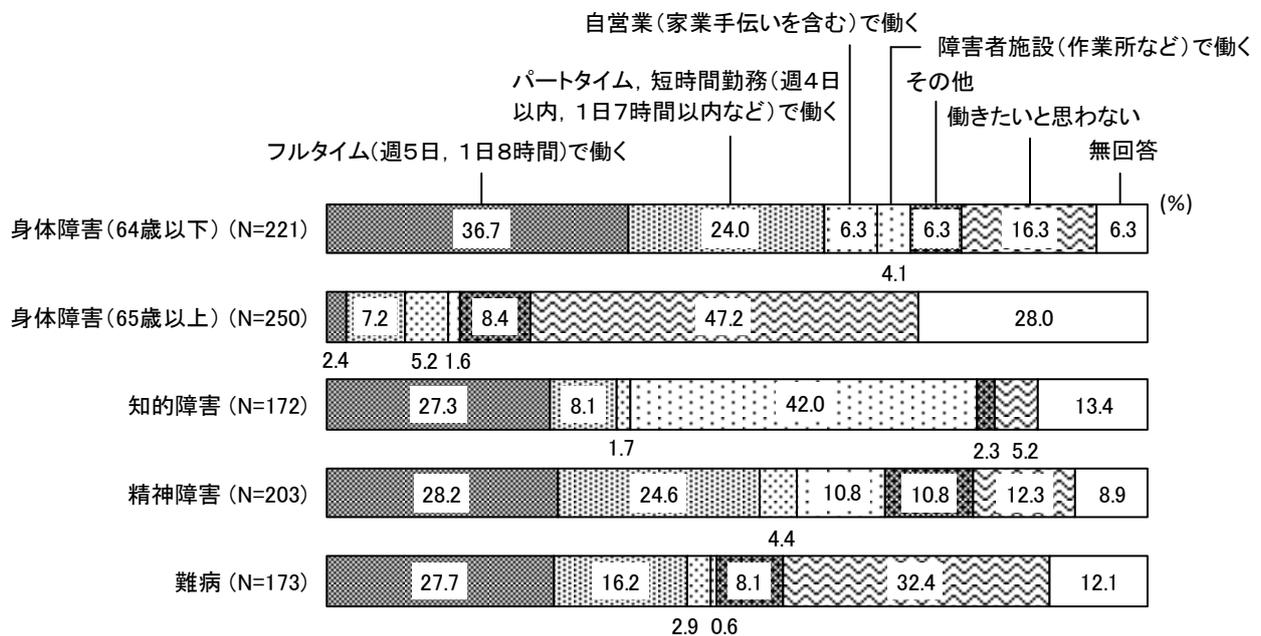


(6) 今後したい仕事 (問 18)

問 18 あなたは、今後どのような仕事がしたいですか。現在働いている場合は、これからも同じ仕事を続けたい場合も含まれます。(1つに○)

○ 今後したい仕事は、身体障害 (64 歳以下)、精神障害ともに「フルタイム(週 5 日、1 日 8 時間)で働く」が最も多く、割合はそれぞれ 36.7%、28.2%となっている。身体障害 (65 歳以上)、難病ともに「働きたいと思わない」が最も多く、割合はそれぞれ 47.2%、32.4%となっている。知的障害は「障害者施設 (作業所など) で働く (42.0%)」が最も多くなっている。

図表 4-58 今後したい仕事 (全体)



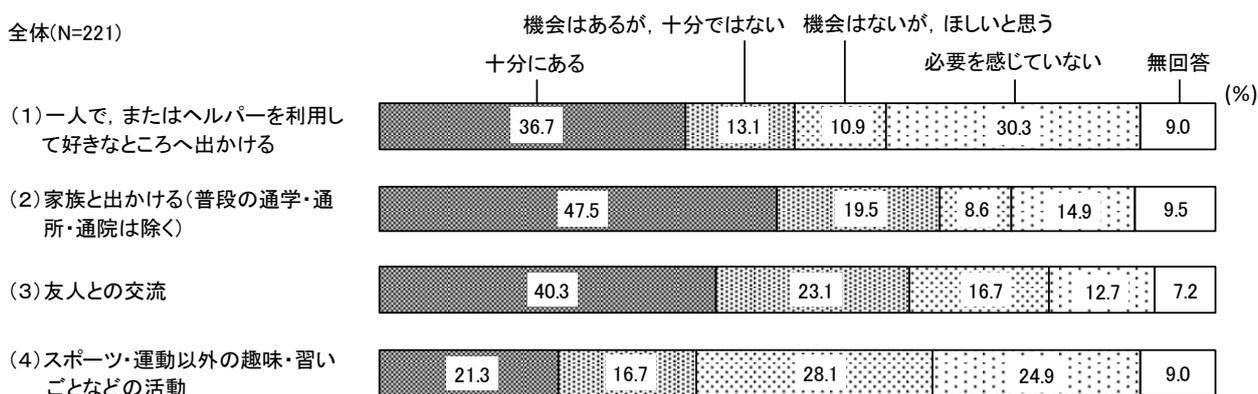
（7）仕事や通所施設以外での活動の機会の有無（問19）

問19 仕事や普段通っている施設での活動以外に、あなたは普段の生活の中で以下のような活動を行う、または活動に参加する機会がありますか。

（1）～（4）について、それぞれ1つに○をつけてください。

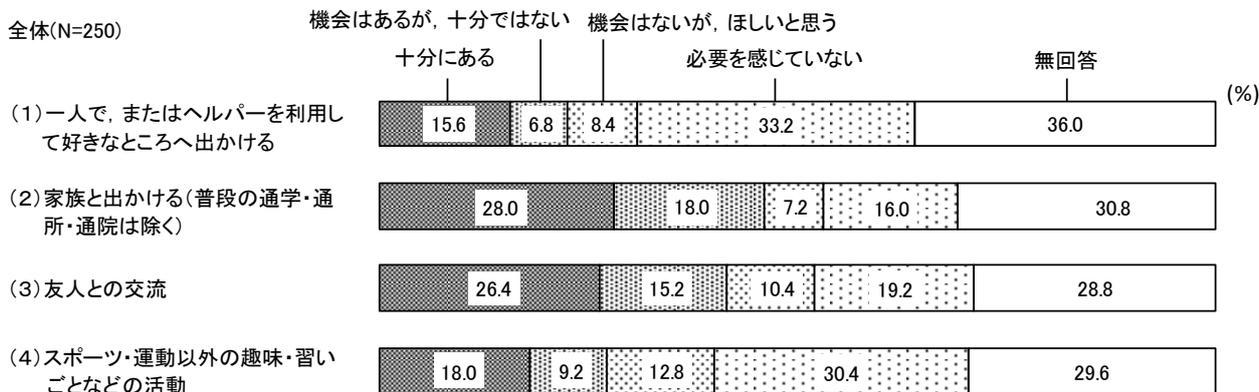
- 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無についてたずねた。
- **身体障害（64歳以下）**は「十分にある」と「機会はあるが、十分ではない」を合わせた《機会はある》の割合は『家族と出かける（普段の通勤・通所・通院は除く）』、『友人との交流』がそれぞれ67.0%、63.4%と高くなっている。
- **身体障害（65歳以上）**は《機会はある》の割合は『家族と出かける（普段の通勤・通所・通院は除く）』、『友人との交流』がそれぞれ46.0%、41.6%と高くなっている。
- **知的障害**は《機会はある》の割合は『家族と出かける（普段の通勤・通所・通院は除く）』、『一人で、またはヘルパーを利用して好きなところへ出かける』がそれぞれ68.0%、46.6%と高くなっている。
- **精神障害**は《機会はある》の割合は『一人で、またはヘルパーを利用して好きなところへ出かける』、『友人との交流』がそれぞれ55.1%、50.3%と高くなっている。
- **難病**は《機会はある》の割合は『家族と出かける（普段の通勤・通所・通院は除く）』、『友人との交流』がそれぞれ58.4%、55.5%と高くなっている。

図表 4-59 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【身体障害（64歳以下）】（全体）

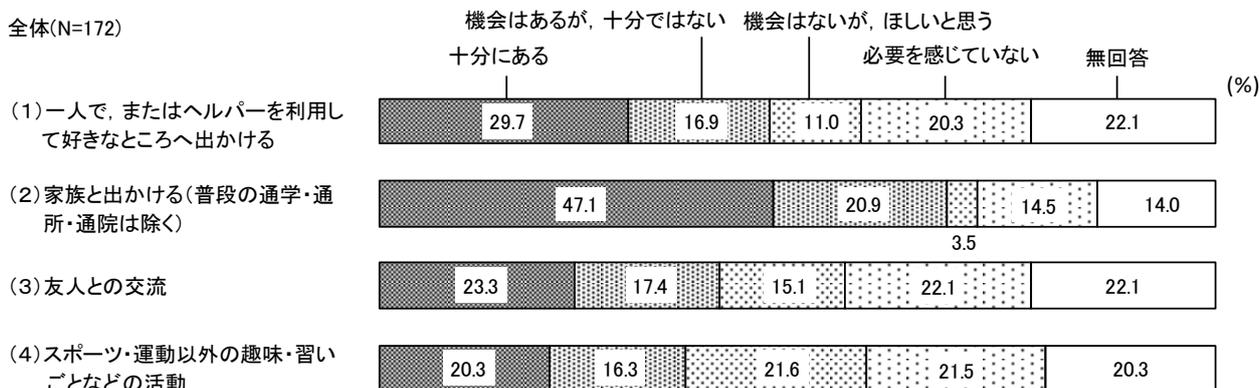


II アンケート調査の結果

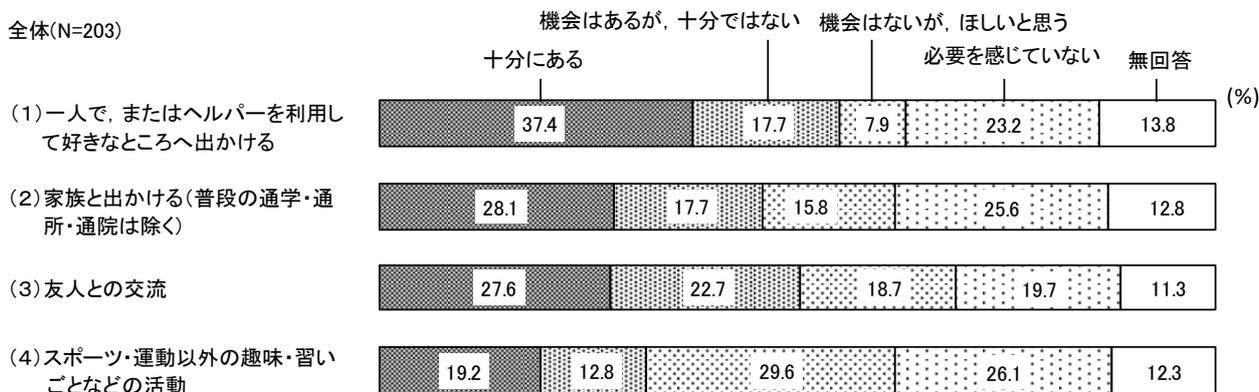
図表 4-60 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【身体障害（65歳以上）】（全体）



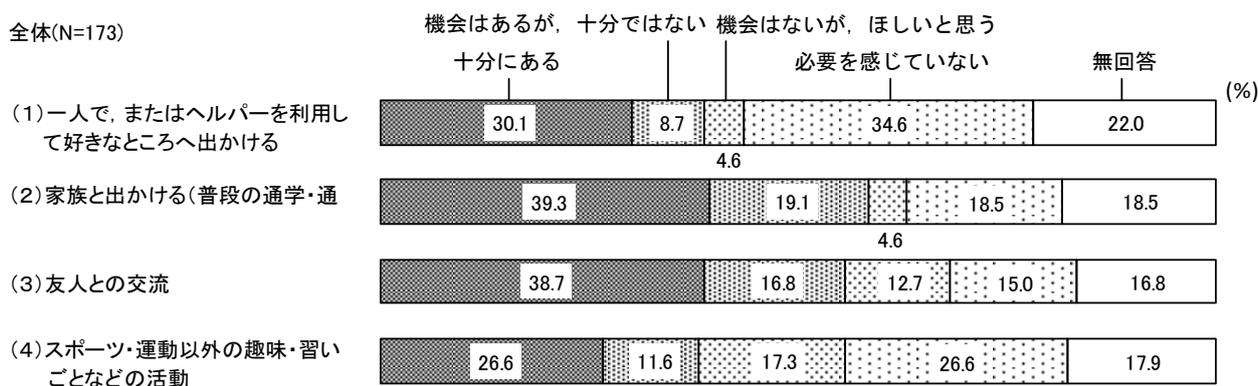
図表 4-61 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【知的障害】（全体）



図表 4-62 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【精神障害】（全体）



図表 4-63 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【難病】（全体）

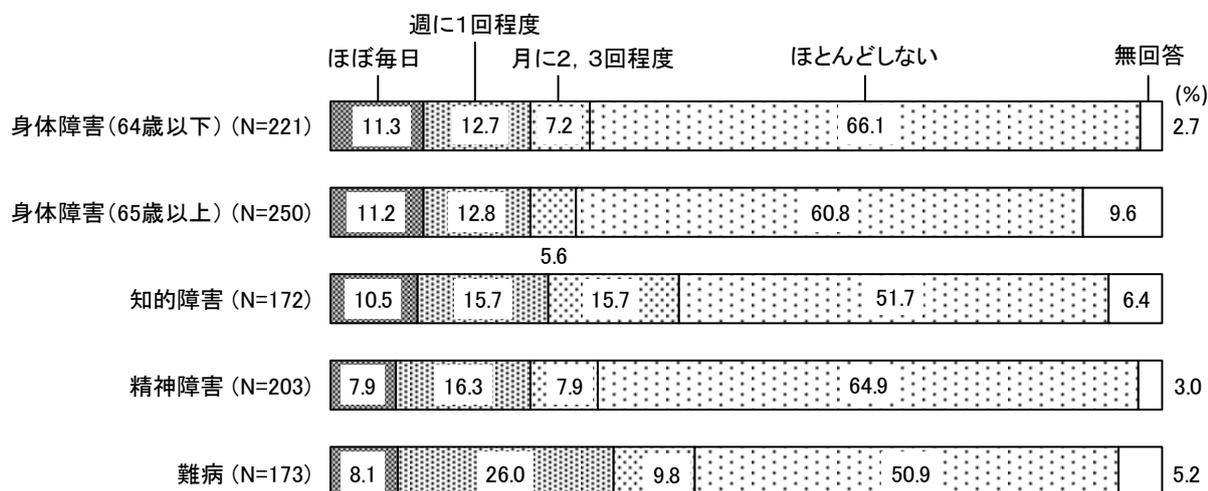


(8) スポーツ活動・運動をする頻度（問 20）

問 20 あなたは、どのくらいスポーツ活動・運動を行っていますか。（1つに○）

- スポーツ活動・運動をする頻度は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「ほとんどしない」が最も多く、割合はそれぞれ 66.1%、60.8%、51.7%、64.9%、50.9%となっている。

図表 4-64 スポーツ活動・運動をする頻度（全体）

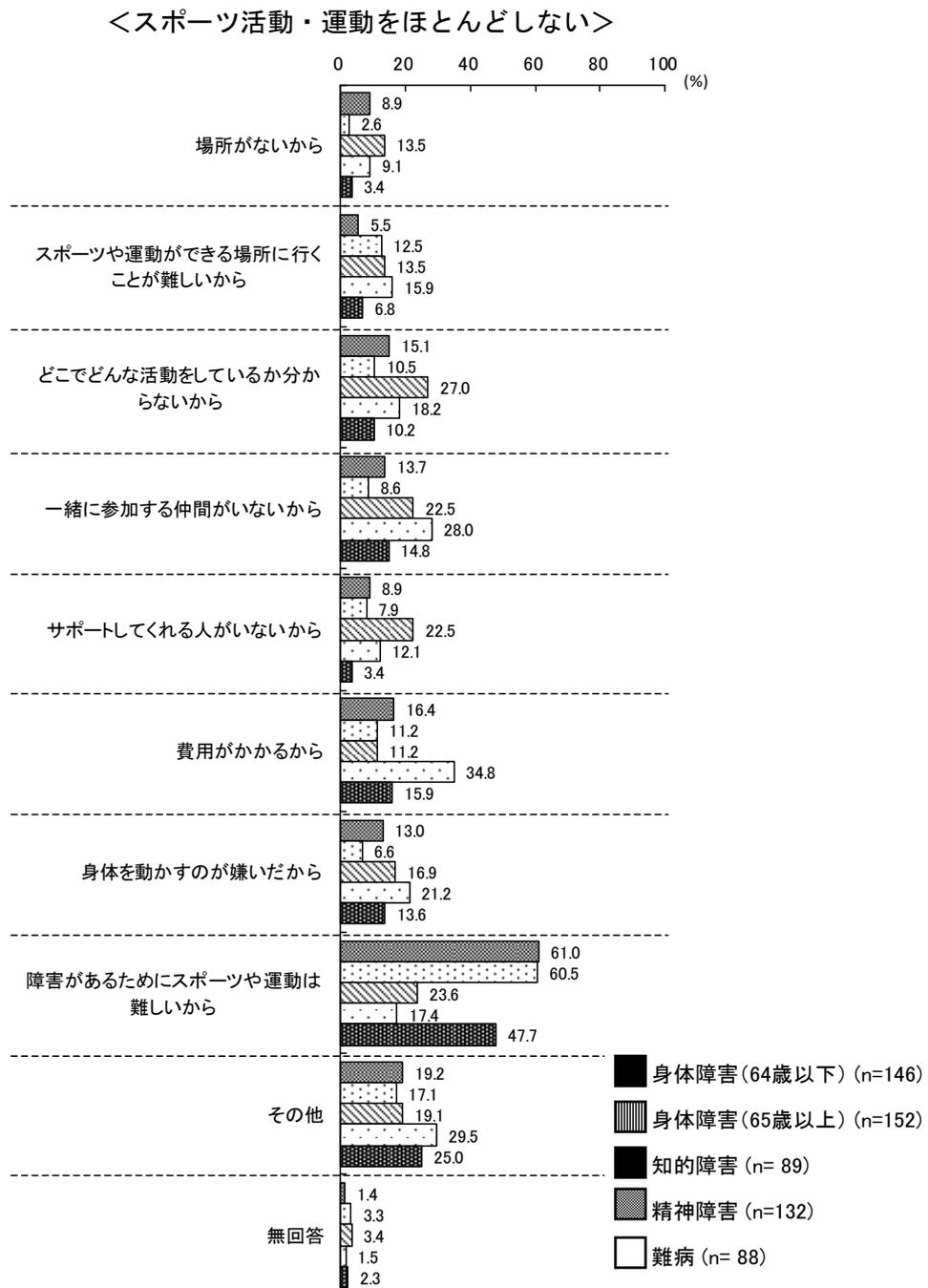


(9) スポーツ活動・運動をほとんどしない理由 (問 20-1)

問 20-1 問 20 で「4. ほとんどしない」と答えた方におたずねします。
 スポーツ活動・運動をほとんどしない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

- 「スポーツ活動・運動をほとんどしない」人に、スポーツ活動・運動をほとんどしない理由をたずねた。
- 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 難病ともに「障害があるためにスポーツや運動は難しいから」が最も多く, それぞれ割合は 61.0%, 60.5%, 47.7% となっている。知的障害では「どこでどんな活動をしているか分からないから (27.0%)」, 精神障害では「費用がかかるから (34.8%)」が最も多くなっている。

図表 4-65 スポーツ活動・運動をほとんどしない理由 (全体: 複数回答)



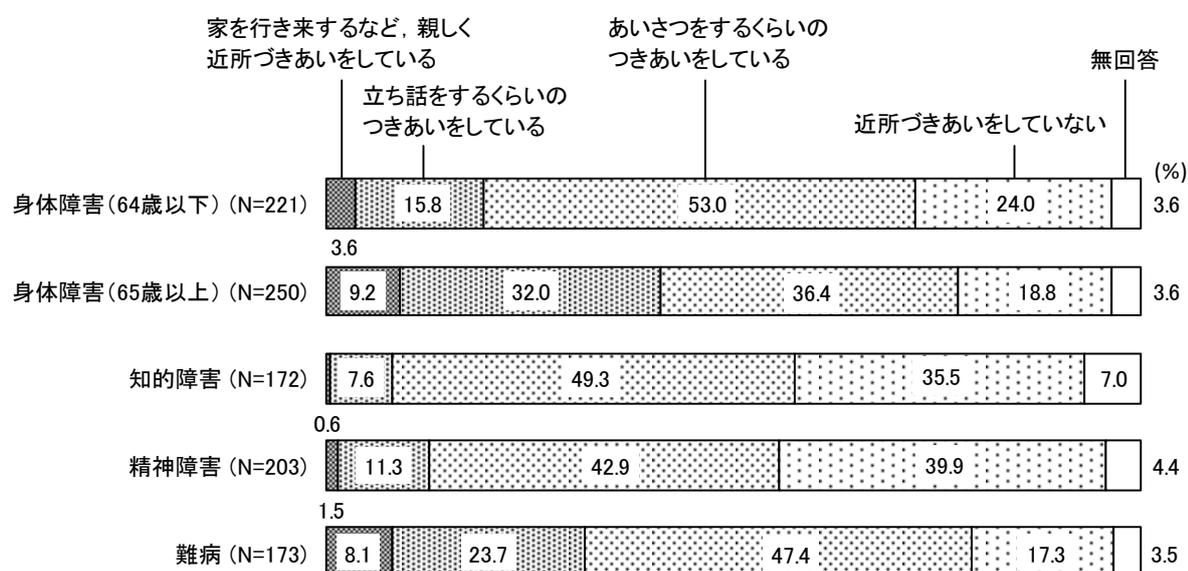
5 地域のつながり

(1) 近所づきあいの状況 (問21)

問21 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

- 近所づきあいの状況は、**全体**は身体障害 (64歳以下)、身体障害 (65歳以上)、知的障害、精神障害、難病ともに「あいさつをするくらいのつきあいをしている」が最も多く、割合はそれぞれ 53.0%、36.4%、49.3%、42.9%、47.4%となっている。

図表 4-66 近所づきあいの状況 (全体)



II アンケート調査の結果

身体障害（64歳以下）

- **年代別**にみると、18歳～39歳では「あいさつをするくらいのつきあいをしている（68.5%）」が全体よりも15.5ポイント高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「近所づきあいをしていない（33.3%）」が全体よりも9.3ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、「近所づきあいをしていない」の割合は、第三・石原・飛田給小学校地域で30.2%と最も高く、北ノ台・深大寺小学校地域は16.7%と最も低くなっている。

図表 4-67 近所づきあいの状況【身体障害（64歳以下）】

（全体、年代別、家族構成別、福祉圏域別）

		て所な家	をら立	いくあ	し近	無
		いづどを	しいち	をらい	て所	回
		るき、行	ての話を	しいさ	いづ	答
		あ親き	いつを	てのつ	なき	
		いし来	るきす	いつを	いあい	
		をくす	ある	るきす	いを	
		し近	いく	ある		
全	体 (N=221)	3.6	15.8	53.0	24.0	3.6
年 代 別	18歳～39歳 (n= 38)	0.0	2.6	68.5	28.9	0.0
	40歳～64歳 (n=163)	4.3	19.6	50.3	22.1	3.7
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 42)	0.0	16.7	45.2	33.3	4.8
	その他 (n=176)	4.0	15.9	54.5	22.2	3.4
福 祉 圏 域 別 （ 小 学 校 区 ）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 14)	0.0	14.3	50.0	28.6	7.1
	若葉・調和 (n= 22)	4.5	18.2	54.6	22.7	0.0
	上ノ原・柏野 (n= 22)	4.5	18.2	50.1	22.7	4.5
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	11.1	22.2	50.0	16.7	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 41)	2.4	14.6	48.8	22.0	12.2
	染地・杉森・布田 (n= 20)	0.0	15.0	65.0	20.0	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 37)	2.7	16.2	54.1	24.3	2.7
	第三・石原・飛田給 (n= 43)	2.3	14.0	53.5	30.2	0.0

身体障害(65歳以上)

- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「近所づきあいをしていない(30.5%)」が全体よりも11.7ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、染地・杉森・布田小学校地域では「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている(26.1%)」が2割を超えている。

図表4-68 近所づきあいの状況【身体障害(65歳以上)】
(全体, 年代別, 家族構成別, 福祉圏域別)

		(%)				
		て所な家	をら立	いくあ	し近	無
		いづどを	らしいち	をらい	て所	回
		るき、行	ての話を	さいさ	いづ	答
		きあ親	いつを	てのつ	なき	
		いし来	るきす	いつを	いあ	
		をくす	ある	るきす	い	
		し近	いく	ある	を	
全	体 (N=250)	9.2	32.0	36.4	18.8	3.6
年 代 別	65歳～74歳 (n= 64)	7.8	35.9	34.4	20.3	1.6
	75歳～84歳 (n=105)	8.6	35.2	38.1	14.3	3.8
	85歳以上 (n= 66)	13.6	27.3	28.8	25.8	4.5
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 59)	8.5	33.9	25.4	30.5	1.7
	その他 (n=192)	9.4	30.7	39.6	16.1	4.2
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 23)	13.0	39.2	34.8	8.7	4.3
	若葉・調和 (n= 26)	7.7	30.7	30.8	23.1	7.7
	上ノ原・柏野 (n= 21)	14.3	33.4	23.8	19.0	9.5
	北ノ台・深大寺 (n= 25)	4.0	28.0	52.0	12.0	4.0
	第二・八雲台・国領 (n= 54)	9.3	29.6	37.0	22.2	1.9
	染地・杉森・布田 (n= 23)	26.1	17.4	43.5	13.0	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 43)	2.3	34.9	30.2	27.9	4.7
第三・石原・飛田給 (n= 33)	6.1	36.4	42.3	15.2	0.0	

知的障害

- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「近所づきあいをしていない (50.1%)」が全体よりも 14.6 ポイント高くなっており、近所づきあいをしていない人が多い傾向が伺える。
- **福祉圏域別**にみると、上ノ原・柏野小学校地域では「近所づきあいをしていない (52.2%)」が 5 割を超えている。

図表 4-69 近所づきあいの状況【知的障害】
(全体, 年代別, 家族構成別, 福祉圏域別)

		(%)				
		て所な家	をら立	いくあ	し近	無
		いづど、	らしい	をらい	て所	回
		るき、	ての	しい	いづ	答
		あ親	話を	さ	なき	
		いし	きす	つ	い	
		をく	ある	を	あ	
		し近	いく	ある	い	
					を	
全	体 (N=172)	0.6	7.6	49.3	35.5	7.0
年 代 別	18歳～39歳 (n= 92)	1.1	7.6	51.1	38.0	2.2
	40歳～64歳 (n= 57)	0.0	3.5	50.9	38.6	7.0
	65歳以上 (n= 8)	0.0	12.5	50.0	25.0	12.5
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 22)	0.0	4.5	40.9	50.1	4.5
	その他 (n=150)	0.7	8.0	51.3	33.3	6.7
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 13)	0.0	7.7	53.8	30.8	7.7
	若葉・調和 (n= 13)	0.0	7.7	61.5	15.4	15.4
	上ノ原・柏野 (n= 23)	0.0	0.0	47.8	52.2	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 14)	0.0	28.6	35.7	21.4	14.3
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	0.0	0.0	63.0	33.3	3.7
	染地・杉森・布田 (n= 24)	0.0	12.5	41.7	45.8	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 27)	0.0	11.1	40.8	33.3	14.8
	第三・石原・飛田給 (n= 28)	3.6	0.0	53.5	39.3	3.6

精神障害

- **年代別**にみると、18歳～39歳では「近所づきあいをしていない（50.0%）」が5割となっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「近所づきあいをしていない（48.8%）」が全体よりも8.9ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、若葉・調和小学校地域では「近所づきあいをしていない（50.1%）」が5割を超えている。

図表 4-70 近所づきあいの状況【精神障害】
（全体、年代別、家族構成別、福祉圏域別）

			て所な家	をら立	いくあ	し近	無
			いづどを	しいち	をらい	て所	回
			るき、行	ての話	しいさ	いづ	答
			あ親き	いつを	てのつ	なき	
			いし来	るきす	いつを	いあ	
			をくす	ある	るきす	い	
			し近	いく	ある	を	
全	体	(N=203)	1.5	11.3	42.9	39.9	4.4
年 代 別	18歳～39歳	(n= 46)	2.2	0.0	47.8	50.0	0.0
	40歳～64歳	(n=118)	1.7	11.0	44.1	38.1	5.1
	65歳以上	(n= 28)	0.0	35.7	28.6	28.6	7.1
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n= 82)	1.2	13.4	29.3	48.8	7.3
	その他	(n=123)	1.6	9.8	51.2	34.1	3.3
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂	(n= 20)	0.0	20.0	35.0	45.0	0.0
	若葉・調和	(n= 38)	2.6	7.9	28.9	50.1	10.5
	上ノ原・柏野	(n= 19)	0.0	21.1	42.0	31.6	5.3
	北ノ台・深大寺	(n= 15)	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0
	第二・八雲台・国領	(n= 37)	0.0	5.4	51.4	37.8	5.4
	染地・杉森・布田	(n= 20)	0.0	20.0	40.0	30.0	10.0
	第一・富士見台・多摩川	(n= 30)	3.3	3.3	50.1	43.3	0.0
第三・石原・飛田給	(n= 20)	0.0	5.0	65.0	30.0	0.0	

難病

- **年代別**にみると年代が上がるにつれ、「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている」の割合が高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「近所づきあいをしていない (28.9%)」が全体よりも 11.6 ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域、若葉・調和小学校地域、上ノ原・柏野小学校地域では「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている (それぞれ 11.1%, 17.4%, 18.2%)」が全体を上回っている。

図表 4-71 近所づきあいの状況【難病】
(全体, 年代別, 家族構成別, 福祉圏域別)

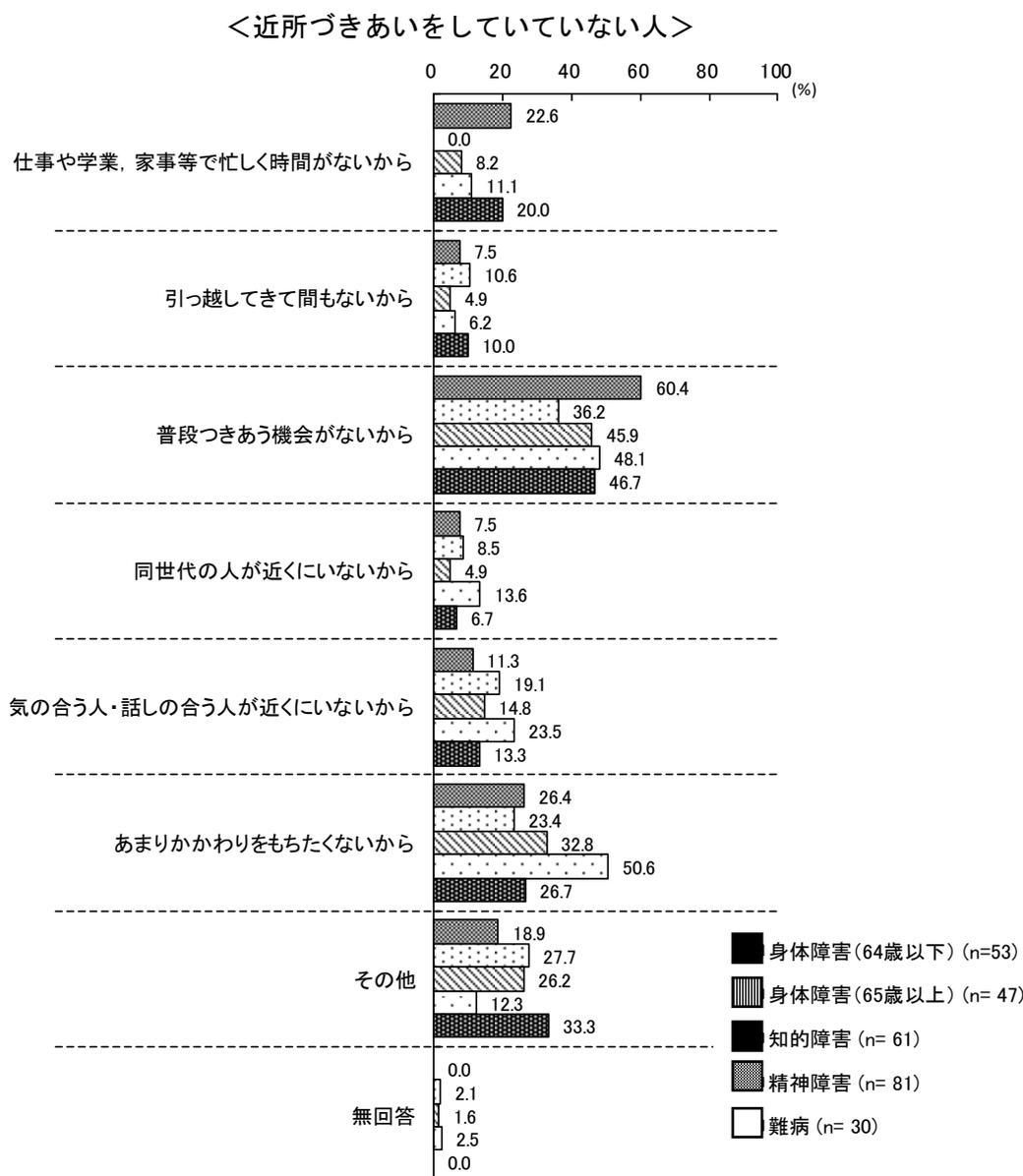
		て所な家	をら立	いくあ	し近	無
		いづどを	らしいち	をらい	て所	回
		るき、	ての話を	らい	いづ	答
		あ親	いつを	のつ	なき	
		いし	るき	いつ	いあ	
		をく	ある	をす	い	
		し近	いく	ある	を	
全	体 (N=173)	8.1	23.7	47.4	17.3	3.5
年 代 別	18歳～39歳 (n= 18)	0.0	11.1	55.5	27.8	5.6
	40歳～64歳 (n= 57)	7.0	19.3	56.1	15.8	1.8
	65歳以上 (n= 87)	10.3	29.9	39.2	17.2	3.4
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 45)	6.7	20.0	40.0	28.9	4.4
	その他 (n=129)	7.8	25.6	49.5	13.2	3.9
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 18)	11.1	5.6	49.9	27.8	5.6
	若葉・調和 (n= 23)	17.4	21.7	52.2	8.7	0.0
	上ノ原・柏野 (n= 11)	18.2	27.3	54.5	0.0	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	5.6	22.2	55.5	16.7	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	7.4	22.2	48.2	14.8	7.4
	染地・杉森・布田 (n= 22)	0.0	13.6	59.1	27.3	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 16)	6.3	31.3	43.6	18.8	0.0
	第三・石原・飛田給 (n= 31)	3.2	38.7	35.5	16.1	6.5

(2) 近所づきあいをしていない理由 (問 21-1)

問 21-1 問 21 で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。
近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 「近所づきあいをしていない」人に、近所づきあいをしていない主な理由をたずねた。
- 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 知的障害, 難病ともに「普段つきあう機会がないから」が最も多く, 割合はそれぞれ 60.4%, 36.2%, 45.9%, 46.7%となっている。精神障害は「あまりかかわりをもたたくないから (50.8%)」が最も多くなっている。

図表 4-72 近所づきあいをしていない理由 (全体: 複数回答)



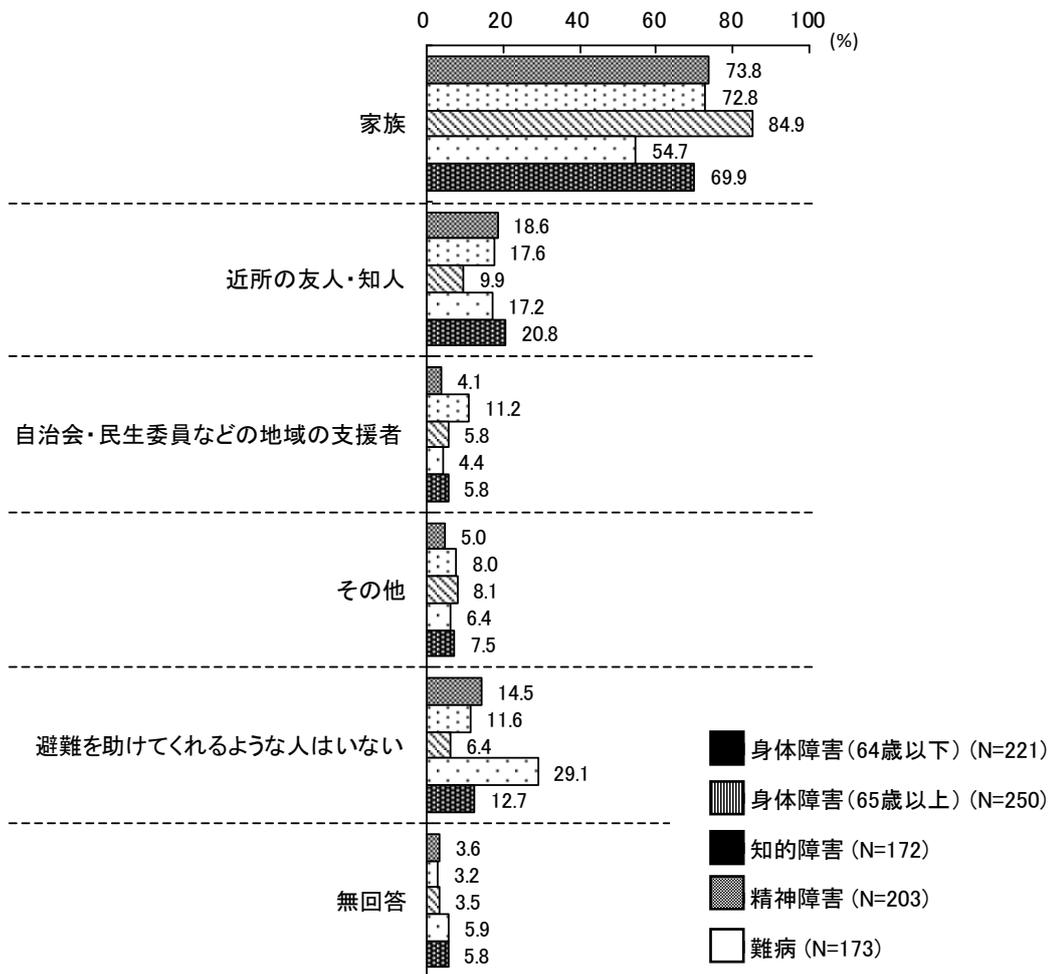
6 災害時の対応

(1) 災害時の避難の際、手助けを頼める人の有無（問 22）

問 22 地震や災害などが起きた場合に、避難を助けてくれるような人がいますか。(いくつでも○)

○ 災害時の避難の際、手助けを頼める人の有無は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「家族」が最も多く、割合はそれぞれ73.8%、72.8%、84.9%、54.7%、69.9%となっている。

図表 4-73 災害時の避難の際、手助けを頼める人の有無（全体：複数回答）

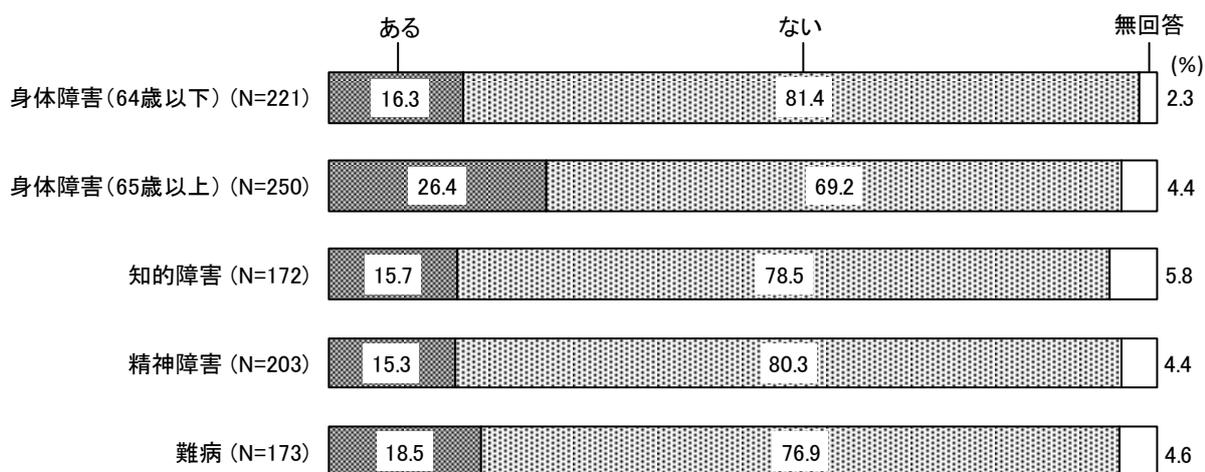


（2）防災訓練等の参加経験（問23）

問23 調布市の防災訓練や地域で行っている避難訓練（防災教育の日を含む）に参加したことがありますか。（1つに○）

- 防災訓練等の参加経験は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「ない」が6割を超えており、割合はそれぞれ81.4%、69.2%、78.5%、80.3%、76.9%となっている。

図表4-74 防災訓練等の参加経験（全体）



（3）参加しない理由（問23-1）

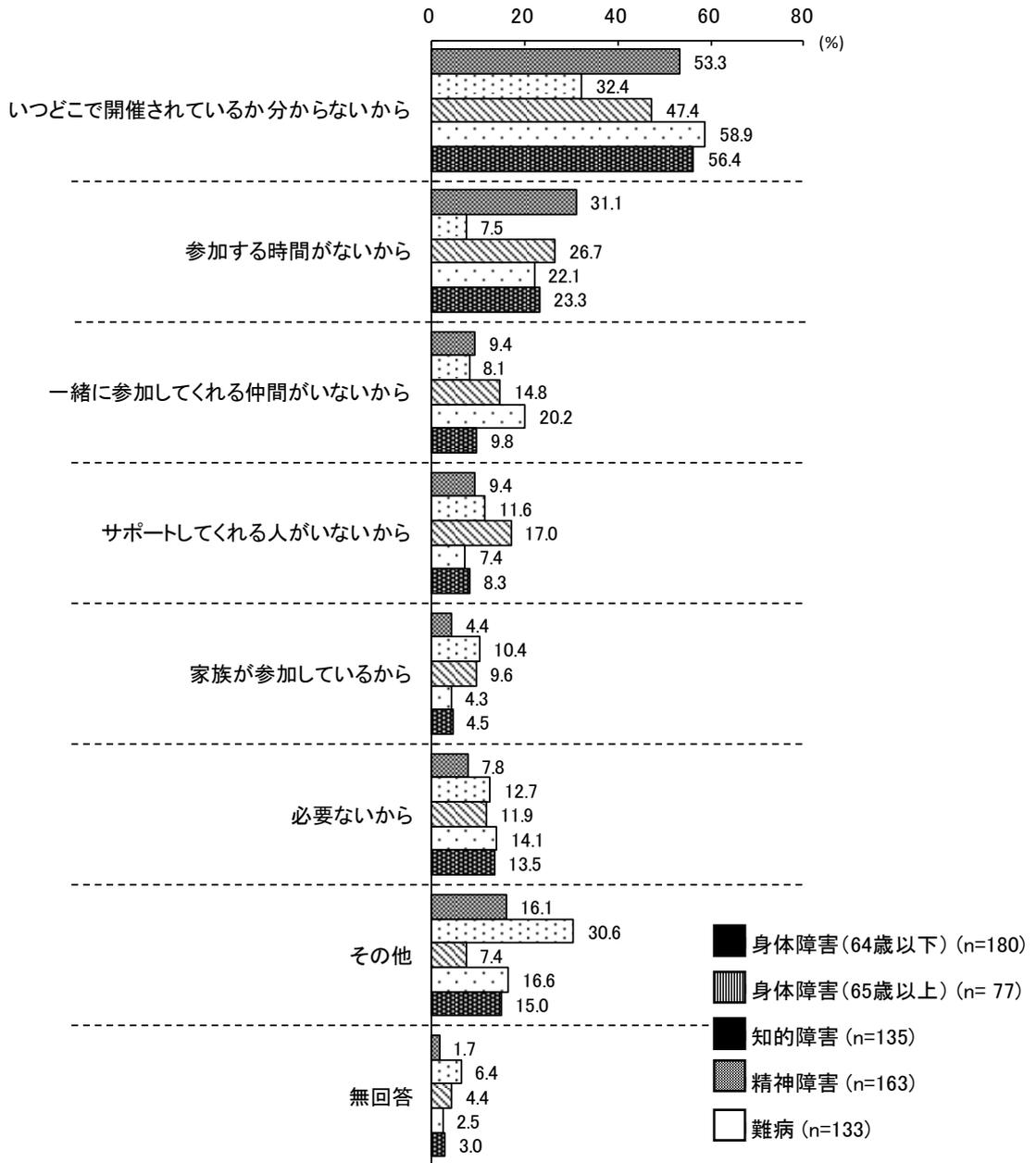
問23-1 問23で「2. ない」と答えた方におたずねします。
避難訓練（防災教育の日を含む）等に参加しない理由は何ですか。（いくつでも○）

- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「いつどこで開催されているか分からないから」が最も多く、割合はそれぞれ53.3%、32.4%、47.4%、58.9%、56.4%となっている。

Ⅱ アンケート調査の結果

図表 4-75 避難訓練（防災教育の日を含む）等に参加しない理由（全体：複数回答）

<避難訓練（防災教育の日を含む）等に参加していない人>



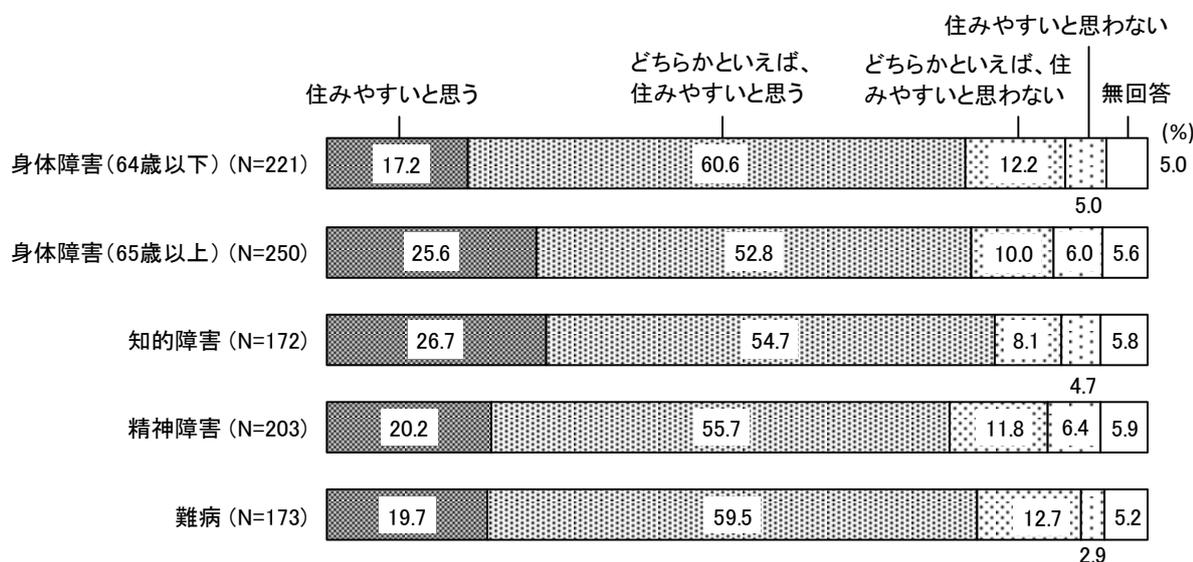
7 福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方

（1）調布のまちは、障害のある人にとって住みやすいまちと感じるか（問24）

問24 調布のまちは、障害（身体障害、知的障害、精神障害、難病など）のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。また、分野別の満足度もお答えください。

- 調布のまちは、障害のある人にとって住みやすいまちと感じるかについて、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「住みやすいと思う」と「どちらかといえば住みやすいと思う」を合わせた《住みやすい》の割合が7割を超えており、割合はそれぞれ77.8%、78.4%、81.4%、75.9%、79.2%となっている。

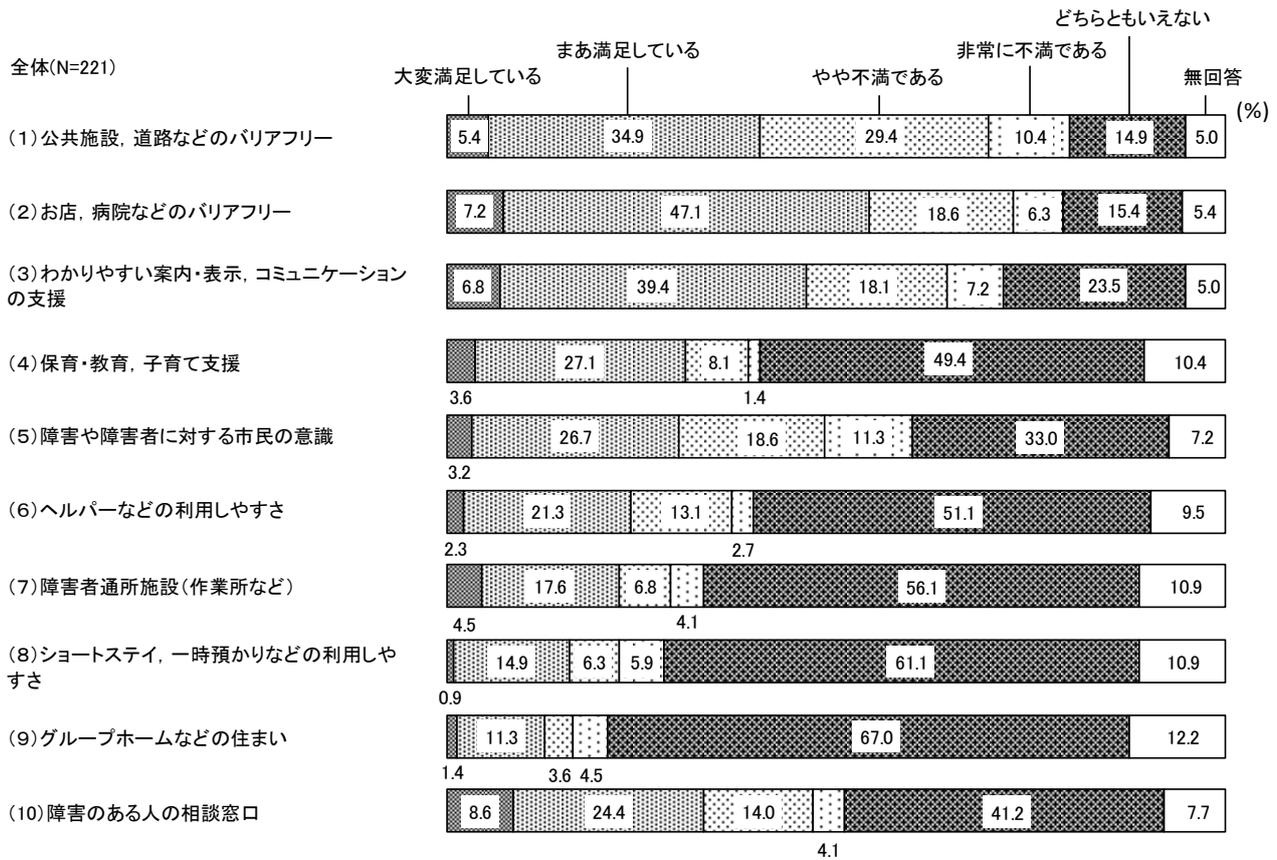
図表 4-76 調布のまちは、障害のある人にとって住みやすいまちと感じるか（全体）



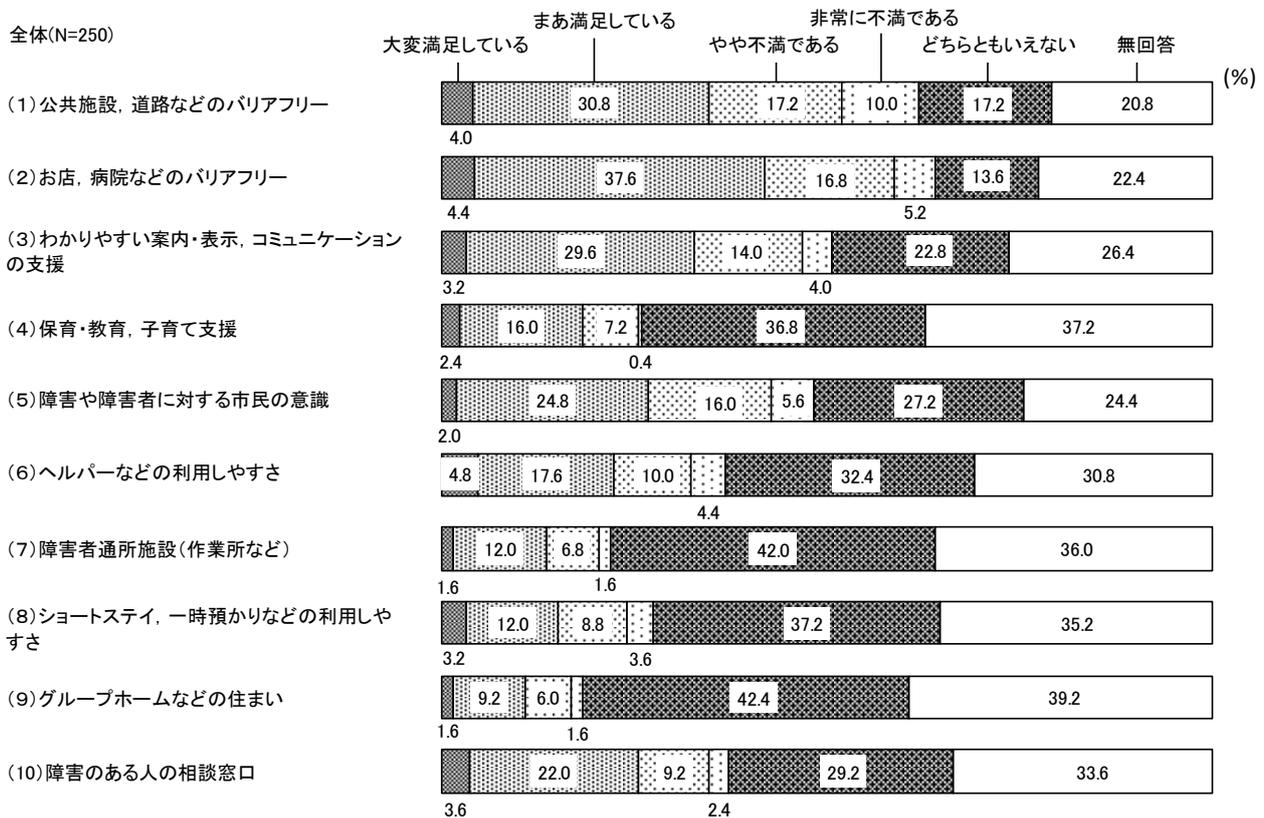
- 分野別の満足度ついてたずねた。
- **身体障害（64歳以下）**は「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた《満足している》の割合は『お店、病院などのバリアフリー（54.3%）』が5割台と高くなっている。
- **身体障害（65歳以上）**は《満足している》の割合は『お店、病院などのバリアフリー（42.0%）』が4割台と高くなっている。
- **知的障害**は《満足している》の割合は『障害者通所施設（作業所など）（51.8%）』が5割台と高くなっている。
- **精神障害**は《満足している》の割合は『お店、病院などのバリアフリー（52.2%）』が5割台と高くなっている。
- **難病**は《満足している》の割合は『お店、病院などのバリアフリー（43.3%）』が4割台と高くなっている。

II アンケート調査の結果

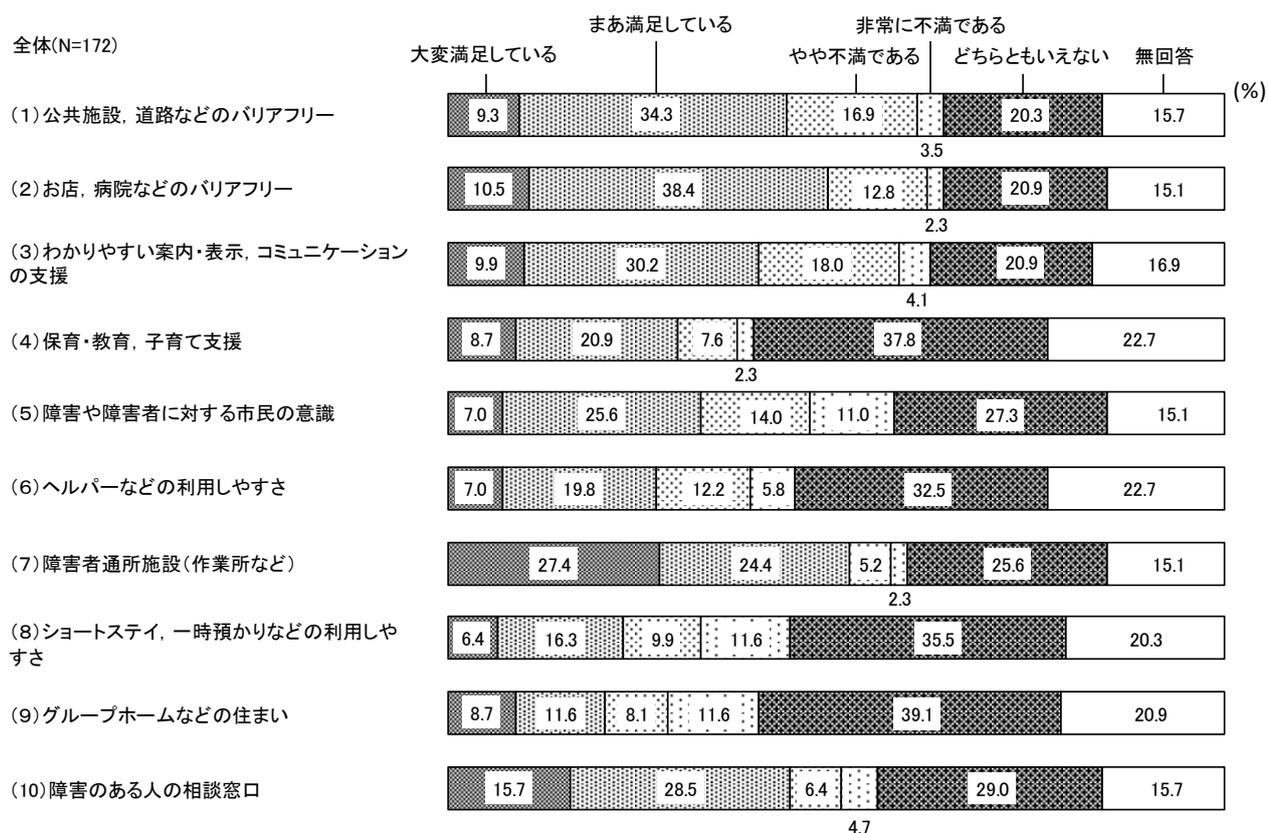
図表 4-77 分野別の満足度【身体障害（64歳以下）】（全体）



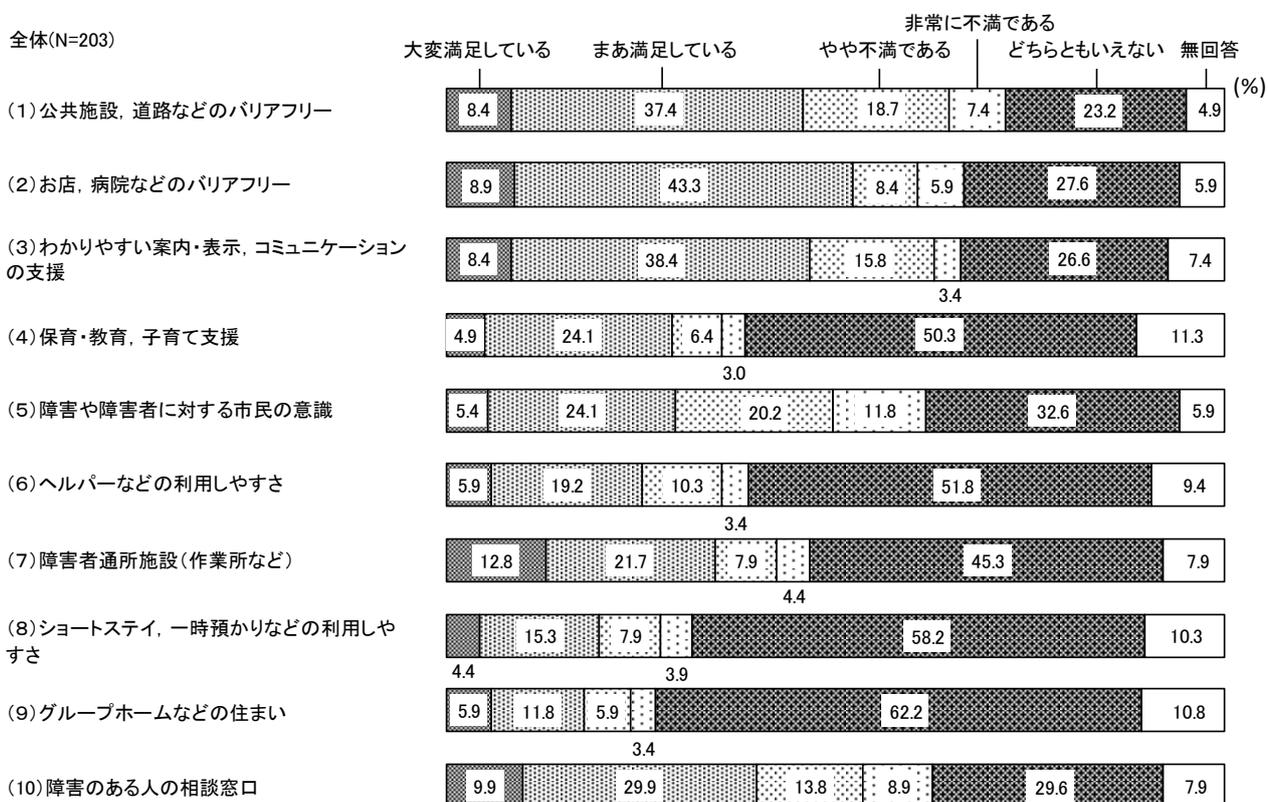
図表 4-78 分野別の満足度【身体障害（65歳以上）】（全体）



図表 4-79 分野別の満足度【知的障害】（全体）

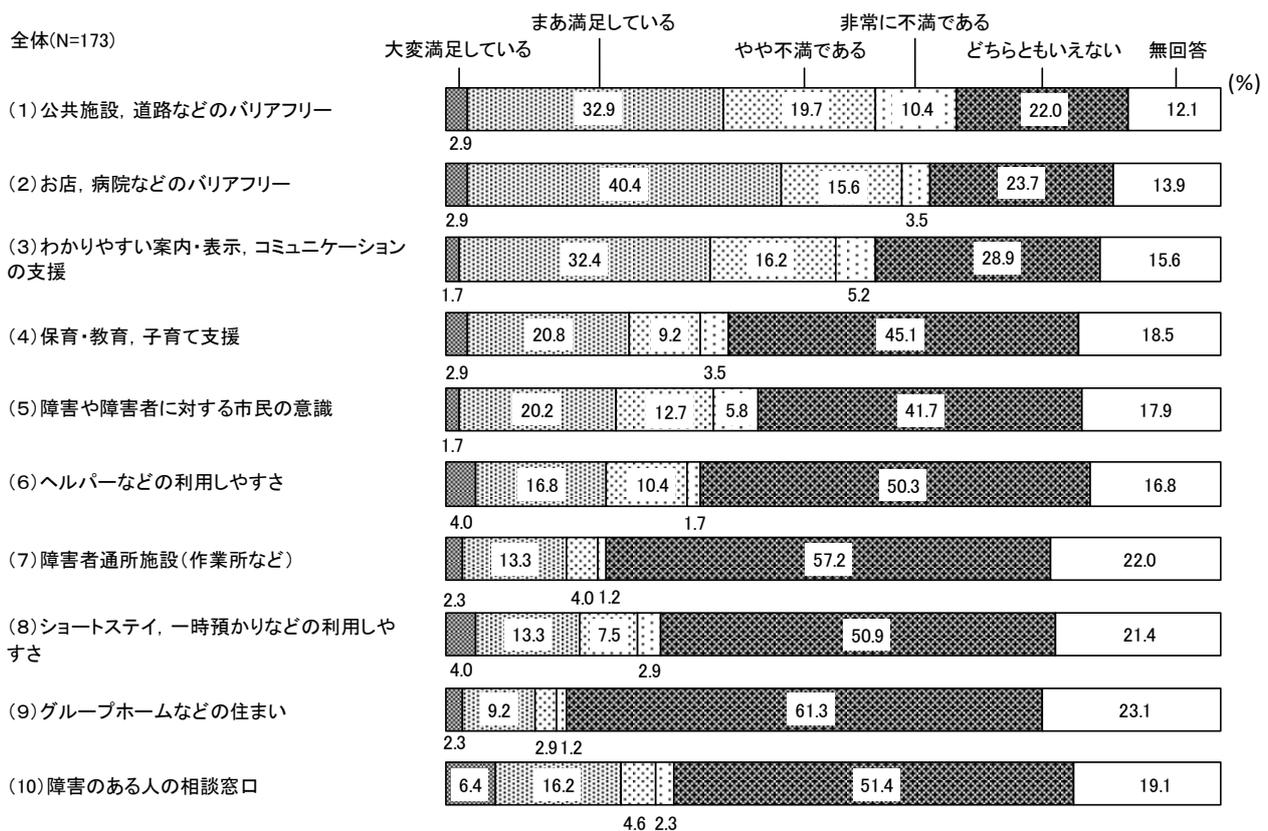


図表 4-80 分野別の満足度【精神障害】（全体）



II アンケート調査の結果

図表 4-81 分野別の満足度【難病】（全体）

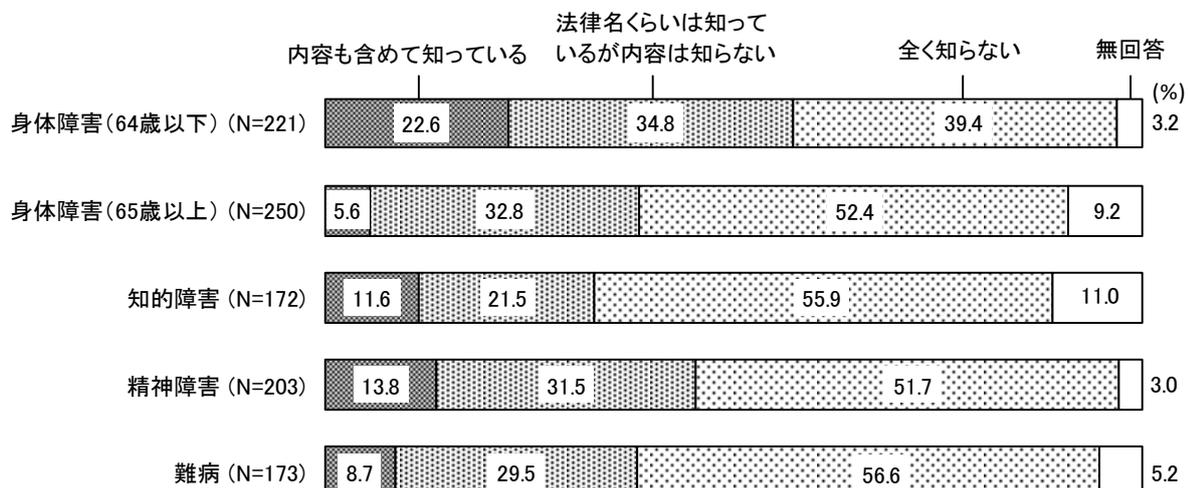


(2) 障害者差別解消法の認知度 (問 25)

問 25 平成 28 年 4 月から、「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が施行されました。あなたは、「障害者差別解消法」について、どのくらい知っていましたか。（1つに○）

- 障害者差別解消法の認知度は、**全体**は身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「全く知らない」が最も多く、割合はそれぞれ 39.4%、52.4%、55.9%、51.7%、56.6%となっている。

図表 4-82 障害者差別解消法の認知度（全体）



身体障害 (64歳以下)

- **年代別**にみると、18歳～39歳は「内容も含めて知っている (34.2%)」が全体よりも11.6ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域では「内容も含めて知っている (42.8%)」が全体よりも20.0%高くなっている。
- **障害程度別**にみると、2級、4級では「内容も含めて知っている (それぞれ29.5%, 23.3%, 25.0%)」が全体を上回っている。

図表 4-83 障害者差別解消法の認知度【身体障害 (64歳以下)】

(全体, 年代別, 福祉圏域別, 障害程度別)

		(%)				
		内 容 も 含 め て	内 容 は 知 ら な い	法 律 名 義 上 の 差 別 を 正 し て い く ら い は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体 (N=221)		22.6	34.8	39.4	3.2	
年 代 別	18歳～39歳 (n= 38)	34.2	23.7	39.5	2.6	
	40歳～64歳 (n=163)	22.1	38.6	36.8	2.5	
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 14)	42.8	14.3	42.9	0.0	
	若葉・調和 (n= 22)	9.1	45.5	40.9	4.5	
	上ノ原・柏野 (n= 22)	18.2	45.4	27.3	9.1	
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	5.6	66.6	22.2	5.6	
	第二・八雲台・国領 (n= 41)	26.8	31.7	39.1	2.4	
	染地・杉森・布田 (n= 20)	25.0	40.0	35.0	0.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 37)	27.0	18.9	51.4	2.7	
第三・石原・飛田給 (n= 43)	20.9	32.6	44.2	2.3		
障 害 程 度 別	1級 (n= 82)	20.7	32.9	44.0	2.4	
	2級 (n= 44)	29.5	34.1	34.1	2.3	
	3級 (n= 32)	18.8	40.5	34.4	6.3	
	4級 (n= 30)	23.3	40.0	36.7	0.0	
	5級 (n= 16)	12.5	37.5	50.0	0.0	
	6級 (n= 8)	25.0	25.0	37.5	12.5	

II アンケート調査の結果

身体障害（65歳以上）

- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域、第二・八雲台・国領小学校地域、第一・富士見台・多摩川小学校地域、第三・石原・飛田給小学校地域では、「内容も含めて知っている（それぞれ8.7%、7.4%、7.0%、9.1%）」が全体を上回っている。

図表 4-84 障害者差別解消法の認知度【身体障害（65歳以上）】
（全体、年代別、福祉圏域別、障害程度別）

		(%)			
		知内 つ容 ても い含 るめ て	内知法 容つ律 はて名 知いく らるら ないが い、は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体 (N=250)		5.6	32.8	52.4	9.2
年 代 別	65歳～74歳 (n= 64)	4.7	29.7	59.3	6.3
	75歳～84歳 (n=105)	6.7	34.3	48.5	10.5
	85歳以上 (n= 66)	6.1	30.3	51.5	12.1
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 23)	8.7	21.7	60.9	8.7
	若葉・調和 (n= 26)	3.8	23.1	57.7	15.4
	上ノ原・柏野 (n= 21)	0.0	28.6	61.9	9.5
	北ノ台・深大寺 (n= 25)	4.0	32.0	64.0	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 54)	7.4	38.9	38.9	14.8
	染地・杉森・布田 (n= 23)	0.0	17.4	65.2	17.4
	第一・富士見台・多摩川 (n= 43)	7.0	37.2	53.5	2.3
	第三・石原・飛田給 (n= 33)	9.1	42.4	42.4	6.1
障 害 程 度 別	1級 (n= 71)	7.0	29.6	52.1	11.3
	2級 (n= 31)	3.2	41.9	51.7	3.2
	3級 (n= 33)	6.1	33.3	48.5	12.1
	4級 (n= 74)	5.4	27.0	59.5	8.1
	5級 (n= 7)	14.3	14.3	57.1	14.3
	6級 (n= 10)	0.0	70.0	20.0	10.0

知的障害

- **年代別**にみると、18～39歳では「内容も含めて知っている(15.2)」が全体を上回っている。
- **福祉圏域別**にみると、「内容も含めて知っている」の割合は、緑ヶ丘・滝坂小学校地域で30.7%と最も高く、第一・富士見台・多摩川小学校地域で0.0%と最も低くなっている。

図表 4-85 障害者差別解消法の認知度【知的障害】
(全体, 年代別, 福祉圏域別, 障害程度別)

(%)

		知内 つ容 ても い含 るめ て	内知法 容つ律 はて名 知いく らるら ながい い、は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体 (N=172)		11.6	21.5	55.9	11.0
年 代 別	18歳～39歳 (n= 92)	15.2	18.5	59.8	6.5
	40歳～64歳 (n= 57)	10.5	26.3	52.7	10.5
	65歳以上 (n= 8)	0.0	12.5	75.0	12.5
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 13)	30.7	30.8	30.8	7.7
	若葉・調和 (n= 13)	7.7	23.1	46.1	23.1
	上ノ原・柏野 (n= 23)	8.7	13.0	74.0	4.3
	北ノ台・深大寺 (n= 14)	21.4	7.1	64.4	7.1
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	7.4	25.9	59.3	7.4
	染地・杉森・布田 (n= 24)	16.7	12.5	66.6	4.2
	第一・富士見台・多摩川 (n= 27)	0.0	25.9	51.9	22.2
	第三・石原・飛田給 (n= 28)	14.3	25.0	50.0	10.7
障 害 程 度 別	1度 (n= 6)	16.7	16.7	66.6	0.0
	2度 (n= 41)	17.1	12.2	53.6	17.1
	3度 (n= 32)	12.5	34.4	46.8	6.3
	4度 (n= 74)	8.1	25.7	60.8	5.4

II アンケート調査の結果

精神障害

- **年代別**にみると、40歳～64歳では「内容も含めて知っている（16.1%）」が全体を上回っている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域、若葉・調和小学校地域、北ノ台・深大寺小学校地域、染地・杉森・布田小学校地域では「内容も含めて知っている（それぞれ15.0%、18.4%、20.0%、25.0%）」が全体を上回っている。

図表 4-86 障害者差別解消法の認知度【精神障害】

（全体、年代別、福祉圏域別、障害程度別）

		(%)				
		内 容 も 含 め て	内 容 は 知 ら な い	法 律 名 義 は 知 ら な い	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体 (N=203)		13.8	31.5	51.7	3.0	
年 代 別	18歳～39歳 (n= 46)	10.9	47.8	41.3	0.0	
	40歳～64歳 (n=118)	16.1	24.6	57.6	1.7	
	65歳以上 (n= 28)	10.7	35.7	39.3	14.3	
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 20)	15.0	35.0	45.0	5.0	
	若葉・調和 (n= 38)	18.4	26.3	50.0	5.3	
	上ノ原・柏野 (n= 19)	5.3	21.1	68.3	5.3	
	北ノ台・深大寺 (n= 15)	20.0	33.3	46.7	0.0	
	第二・八雲台・国領 (n= 37)	10.8	29.7	56.8	2.7	
	染地・杉森・布田 (n= 20)	25.0	20.0	55.0	0.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 30)	13.3	40.0	46.7	0.0	
	第三・石原・飛田給 (n= 20)	5.0	45.0	45.0	5.0	
障 害 程 度 別	1級 (n= 7)	0.0	42.8	42.9	14.3	
	2級 (n= 91)	14.3	31.9	52.7	1.1	
	3級 (n= 79)	15.2	38.0	46.8	0.0	

難病

- **年代別**にみると、18歳～39歳は「内容も含めて知っている(16.7%)」が全体よりも8.0ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、《内容は知らない》の割合は、染地・杉森・布田小学校地域では95.5%で最も高く、上ノ原・柏野小学校地域では63.6%で最も低くなっている。

図表 4-87 障害者差別解消法の認知度【難病】
(全体, 年代別, 福祉圏域別)

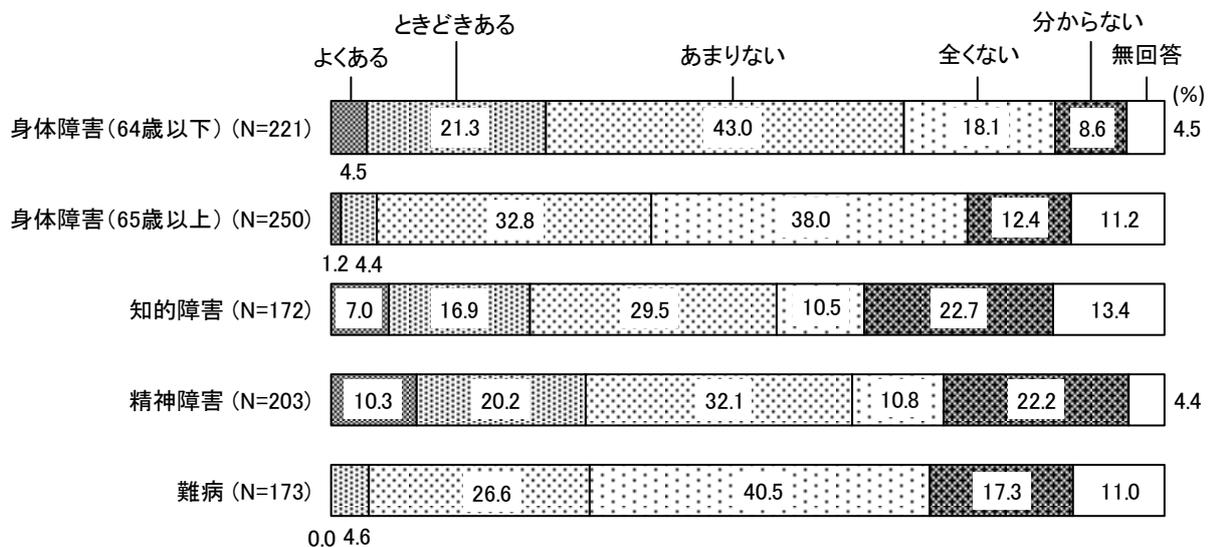
		(%)			
		知内 つ容 ても い含 るめ て	内知法 容つ律 はて名 知いく らるら ないが い、は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全	体 (N=173)	8.7	29.5	56.6	5.2
年 代 別	18歳～39歳 (n= 18)	16.7	33.3	50.0	0.0
	40歳～64歳 (n= 57)	10.5	24.6	63.1	1.8
	65歳以上 (n= 87)	6.9	33.3	50.6	9.2
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 18)	5.6	16.7	66.6	11.1
	若葉・調和 (n= 23)	8.7	21.7	65.3	4.3
	上ノ原・柏野 (n= 11)	18.2	45.4	18.2	18.2
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	5.6	22.2	72.2	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	11.1	25.9	59.3	3.7
	染地・杉森・布田 (n= 22)	4.5	36.4	59.1	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 16)	6.3	31.3	56.1	6.3
	第三・石原・飛田給 (n= 31)	12.9	38.7	41.9	6.5

(3) 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無 (問 26)

問 26 あなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。(1つに○)

- 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無は、「よくある」と「ときどきある」を合わせた《ある》の割合は、身体障害 (64 歳以下) は 25.8%、身体障害 (65 歳以上) は 5.6%、知的障害は 23.9%、精神障害は 30.5%、難病は 4.6% となっている。

図表 4-88 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無 (全体)



- 問 26 で障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じるということが、「よくある」、「ときどきある」と回答した人にその具体的な内容についてたずねた。以下、主な理由を掲載する。

身体障害 (64 歳以下)

- 「ジロジロ見られる」、「嫌な態度や顔をされる」、「暴言を言われる」、「からかわれる」などの意見があげられた。中には「車いすだからという理由で入店を断られた」、「以前、働いていた会社で障害者になったら正社員からアルバイトになった」など。

身体障害 (65 歳以上)

- 「ジロジロ見られる」、「エスカレーターに乗る時、右側に立つと怒鳴られたことがある」、「歩いていて邪魔にされる」など。

知的障害

- 「ジロジロ見られる」、「嫌な態度や顔をされる」、「避けられる」、「笑われる」、「ヒソヒソ話をされる」などの意見があげられた。また、「街ですれちがう時に舌打ちされたり、文句を言われたりする」、「足を踏まれたりならまれたりする」、「タクシーを利用する時に手帳を出すと嫌な顔をされる」など。

精神障害

- 「バス乗車時に手帳を提示したところ、運転手に面倒くさそうな対応をされた」、「障害理解が得られないので偏見の目で見られる」、「就職の面接などで、病気のことを話すと明らかに嫌がられる」、「職場の人から距離を置かれ、差別を受けることがあった」など。

難病

- 「大きな声で話され、周りの人の目が気になった」、「病気に対し、職場の上司から心ない発言をされた」、「モラハラがあった」など。

(4) してほしい支援や配慮(合理的配慮)・心に残っている支援や配慮(問27)

問27 あなたが、役所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や合理的配慮、またはこれまでに心に残っている支援や配慮があればお書きください。

- 役所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や配慮(合理的配慮)、また、これまでに心に残っている支援や配慮について自由記述形式でたずねた。以下に主なものを掲載する。

身体障害(64歳以下)

① してほしい支援や配慮(合理的配慮)

(声かけに関すること)

- ・災害時、避難メールだけではなく、実際の声掛けや避難所への誘導があると有難いです。(女性、50歳代、抜粋)

(役所やお店などでの待ち時間に関すること)

- ・駅の表示が大きいと助かります。高いところは大きくても見えないです。(女性、50歳代、抜粋)
- ・全部手話対応スタッフを置いてほしいです。(男性、50歳代)

(支援について)

- ・スーパーなどで買い物の時に家まで配達してほしい。(女性、50歳代)
- ・ヘルパー制度はあるといっても実際どういうヘルパーがあるのか、どういう支援、仕事をしてくれるのかまったく分からず大変不安。(男性、80歳代、抜粋)

(バリアフリーについて)

- ・車イス利用者が入れるようなトイレを提供しているお店、主に個人店が少ないと思います。(女性, 40 歳代)
- ・車いすでの走行のための道路の整備。(不明, 不明)

② 心に残っている支援や配慮

(声かけに関すること)

- ・視野の関係で物を落としてもさがせないことがあるが、気付いておしえてくれて助かることが多い。(男性, 50 歳代)

(役所やお店などでの待ち時間に関すること)

- ・調布市役所の方とのご対応、大変心がこもっておりアドバイスなどいただき有難く思いました。(男性, 60 歳代)
- ・麻痺があり手先が動かしづらい時、長い列で会計をするとモタモタ出来ないと思っているとお店の人が「ゆっくりでいいですよ」と一言。とても救われた。施設の整備は実際当事者には不便なこともあるが、人の言動次第で解消されることが大きい。(女性, 40 歳代)

(支援について)

- ・仕事に就くにあたりちょうふだぞうでパソコンの勉強が出来たこと、その際職員がとても親切で相談しやすかった。(女性, 60 歳代)
- ・2019 年に調布市に引越しをしてきて身体障害者手帳 2 級でもタクシー券を支給され、大変嬉しいです。リハビリをしているクリニックまで遠いため天気が悪い時などにタクシーが利用できるのもとても幸せです。(女性, 60 歳代)

(障害理解について)

- ・すぐに理解を示し、配慮してもらえる。特に障害だという特別視をせず、周囲の人に恵まれていると思う。(男性, 30 歳代)

身体障害 (65 歳以上)

① してほしい支援や配慮 (合理的配慮)

(声かけに関すること)

- ・名前を呼ばれてもはっきり聞こえない時があります。(女性, 80 歳代)

(役所やお店などでの待ち時間に関すること)

- ・役所などでの窓口対応について難聴で聞きづらいことがある。(男性, 80 歳代)

(支援について)

- ・乗合バスのシルバーシートのスペースを増やしてほしいです。(男性, 80歳代)
- ・だれもが気安く相談できる役所であってほしいです。(女性, 80歳代)

(理解の促進について)

- ・「障害者差別解消法」がほとんど浸透していないように思える。(男性, 60歳代)

② 心に残っている支援や配慮

(声かけに関すること)

- ・シルバーカートを押していると、見ず知らずの人が狭い道で半身になって優先させてくださったり、「お気をつけて」と声を掛けてくださったりします。(女性, 70歳代)

(役所やお店などでの待ち時間に関すること)

- ・福祉関係の窓口(市役所)の方が親切に対応してくださった(女性, 80歳代)。
- ・市役所の窓口で聞こえないと申し出た時に耳元で話さないでいただきたいと思います。即ペンを執っていただければ有難く感謝は致します。(女性, 70歳代, 抜粋)

(支援について)

- ・市役所からは常に案内や連絡(ハガキ等による)があり助かっています。(男性, 60歳代, 抜粋)
- ・地域包括支援センター員の暖い支援を受けリハビリも順調に進み、大変元気な身体になりました。ご支援をたくさんいただき心より感謝致します。(男性, 70歳代)
- ・雪の降った翌日、買い物のカートを引き急な坂道を半分ほど登ったところで、凍りついた雪の斜面がツルツルでどうしても登れず、動けなくなりました。そこに赤いランドセルのお嬢さん二人が通りがかり、カートを上げてくれたり雪面にランドセルを置いて滑り止めにしてくれたり、一生懸命助けてくれ、おかげで登り切ることができました。こんなよい子が育つ調布市は良いところだなと思いました。(女性, 90歳代)

知的障害

① してほしい支援や配慮(合理的配慮)

(声かけに関すること)

- ・困っている時、話しかけてほしい。(女性, 20歳代)

(支援について)

- ・役所は、成年後見制度についての詳しい説明会や相談窓口、わかりやすい説明をしていただける機会を作してほしい。(女性, 不明)
- ・車イスなので、商品が取れない時があるので、それを手伝ってほしい。(女性, 30 歳代)
- ・うまく話せない時に、ゆっくり質問して、自分の話を理解してほしい。(女性, 50 歳代)

(バリアフリーについて)

- ・トイレを使いやすくしてください。大人の障害者のオムツ交換ができる場所がほとんどのところで用意されていない。(男性, 50 歳代)

② 心に残っている支援や配慮

(声かけに関すること)

- ・顔なじみの人からはよく声を掛けていただく。(男性, 40 歳代)

(役所やお店などでの待ち時間に関すること)

- ・病院でじっと待ってられないので、優先してもらうことがあり、ありがたいです。(女性, 20 歳代)
- ・何をするのも時間がかかるので、待ってくれると助かることが多い。(女性, 20 歳代)

(支援について)

- ・ちょうふだぞうの料理講習会をよく利用している。自分で料理ができるようになりとても嬉しい。(女性, 20 歳代)
- ・就労支援「ちょうふだぞう」にて、以前勤務していた職場が閉鎖され再就職したく、紹介され、すみやかに再就職でき大変感謝しております。対応して下さった担当職員の方々に有難うございます。今でもフォローをしていただいております。(女性, 30 歳代)

精神障害

① してほしい支援や配慮 (合理的配慮)

(声かけに関すること)

- ・声を掛けて何に困っているか聞いてほしい。(男性, 20 歳代)
- ・自分が静かな時や固まってる時 (緊張) にそっと言葉を使って話してくれると有難い。(男性, 20 歳代)
- ・事務的ではなく親身になって、きさくに話し手になったり話し相手になってほしい。一人一人病気の状況は違うので、合わせてほしいし理解してほしい。(女性, 40 歳代)

(役所やお店などでの待ち時間に関すること)

- ・店でお金を払う時、せかさないでほしい (男性, 50歳代)。
- ・窓口で対応してもらっている最中、具合が悪くなったとき時に対応してもらえたら助かる。(女性, 50歳代)

(支援について)

- ・困っている時、丁寧、親切、優しく説明してほしい。(男性, 70歳代)
- ・タクシーしか理解できないので、行きたくても遠くへは行けないので、そういう点で支援してほしい。(女性, 50歳代, 抜粋)
- ・平日は仕事で市役所に行けないため、手帳、自立支援の申請・更新窓口も月1回程度でいいので、休日窓口をやってほしいです。(住民票窓口のように) 家族と一緒にいる方は委任等できるかもしれませんが、一人暮らし、かつ会社員で平日に窓口に行ける時間を工面しづらいです。(有給利用しないといけなくなります) (女性, 30歳代)
- ・経済的な支援が必要な時、(ヘルパーさんを頼むことをふくみ) 相談できる窓口があるとよい。(女性, 60歳代, 抜粋)

② 心に残っている支援や配慮

(支援について)

- ・働いた会社はどこも通院への配慮などしてくれたのでよかった。(男性, 40歳代)
- ・心と身体健康支援センターは皆様がさまざまな場面で助けてくれる。(男性, 50歳代)
- ・買い物に出かけたある時、歩車道に段差があり私の車イスが転倒してしまいました。その時、通勤途中で忙しい身の若い男性数名が直ちに駆けつけ私を救助してくれました。忙しい通勤途中でわざわざ足を止め助けてくれた今どきの若者に感謝し感動を覚えました。(女性, 70歳代)
- ・「こころの支援センター」にて、障害の事も話せるスタッフや仲間がいる事が大きな支えとなっており、私には一番有効的で、心に残り、今後も利用させていただきたい支援です。(女性, 40歳代)
- ・調布市役所、福祉課で家の中の片付けや整理について相談したところ、親身になっていろいろと解決策を考えてくれました。(女性, 50歳代)

難病

① してほしい支援や配慮 (合理的配慮)

(支援について)

- ・ショートステイの利用日数の上限をなしにするなどの配慮があるとよい。(女性, 30歳代, 抜粋)

Ⅱ アンケート調査の結果

- ・腎臓の病気なので体調が悪くなった時（だるくなった時）に少し横になって休めるスペースが職場にあるとありがたい。
- ・飲食店では、メニューに含まれているおおよその塩分量が表記されているとありがたい。（女性，30歳代，抜粋）

（バリアフリーについて）

- ・公共施設のトイレの数を増やしてほしい。（男性，60歳代）

② 心に残っている支援や配慮

（支援について）

- ・役所内での職員の方々の配慮が感じられ，心が暖まります。（女性，70歳代）
- ・「福祉手当」ととても助かっています。ありがとうございます。（女性，不明，抜粋）
- ・仕事復帰した時，以前結婚で辞めた人が会社の依頼で仕事を手伝ってくれたことと，時間の優遇など，助かりました。（女性，60歳代，抜粋）
- ・リハビリ用パンツの支給制度はありがたい。（女性，90歳代）

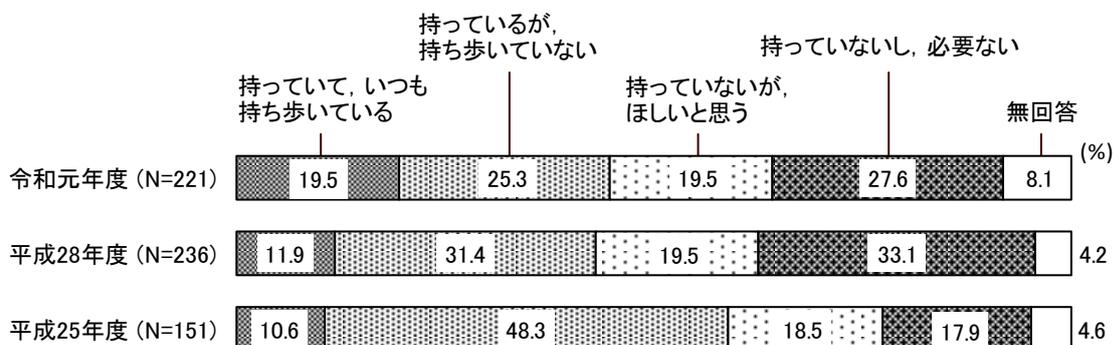
8 調布市の障害者福祉施策

（1）ヘルプカードの所持について（問28）

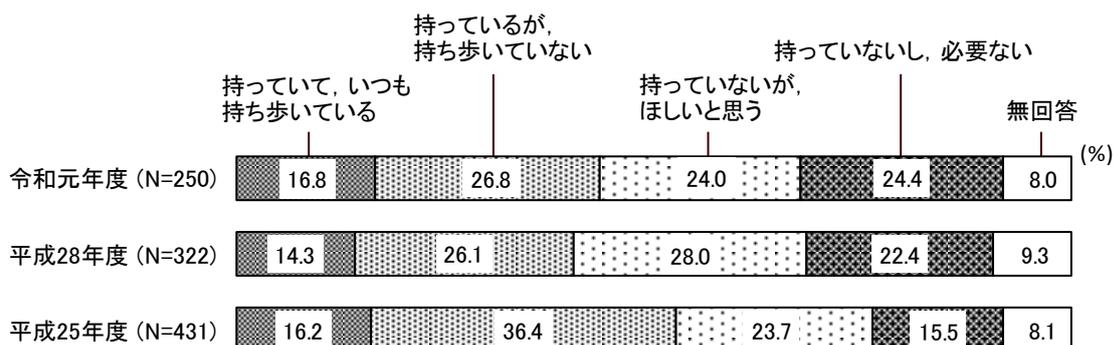
問28 あなたは、調布市が配布しているヘルプカードを持っていますか。（1つに○）

- ヘルプカードの所持について、**全体**は身体障害（64歳以下）、精神障害、難病は「持っていないし、必要ない」が最も多く、割合はそれぞれ27.6%、38.8%、50.3%となっている。身体障害（65歳以上）、知的障害では「持っているが、持ち歩いていない」が最も多く、割合はそれぞれ26.8%、33.7%となっている。
- **経年**で比較すると、令和元年度は平成28年度と比べると、身体障害（64歳以下）身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「持っている、いつも持ち歩いている」の割合が高くなっており、それぞれ7.6ポイント、2.5ポイント、1.3ポイント、8.6ポイント、1.4ポイント高くなっている。

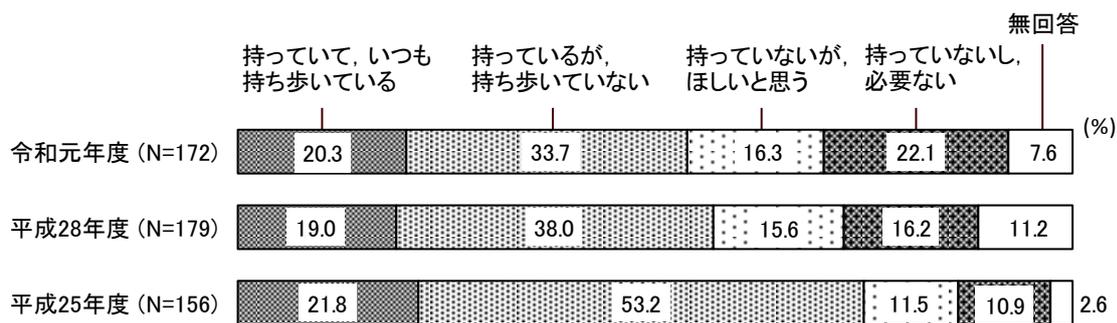
図表4-89 ヘルプカードの所持について【身体障害（64歳以下）】（全体）【経年比較】



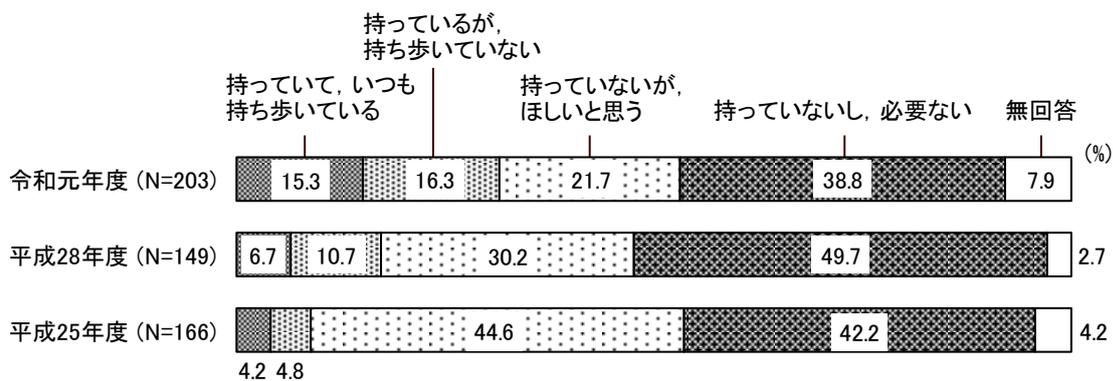
図表4-90 ヘルプカードの所持について【身体障害（65歳以上）】（全体）【経年比較】



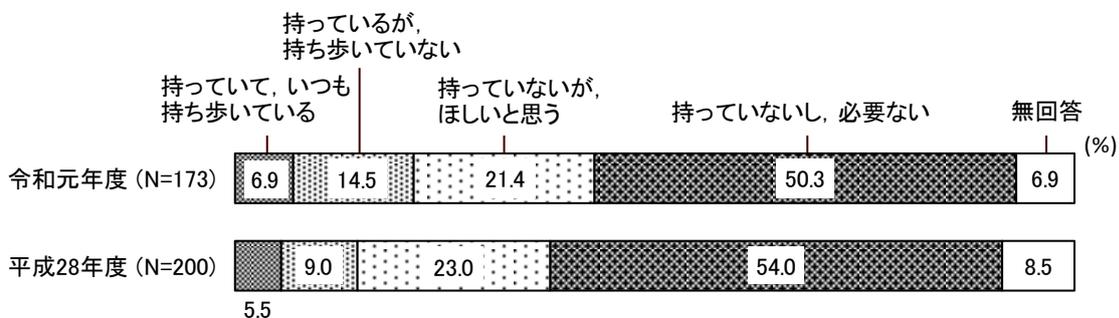
図表 4-91 ヘルプカードの所持について【知的障害】(全体)【経年比較】



図表 4-92 ヘルプカードの所持について【精神障害】(全体)【経年比較】



図表 4-93 ヘルプカードの所持について【難病】(全体)



身体障害 (64 歳以下)

- **年代別**にみると、18 歳～39 歳は「持っていて、いつも持ち歩いている (23.7%)」が全体より 4.2 ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、「持っていて、いつも持ち歩いている」の割合は、上ノ原・柏野小学校地域では 31.9% で最も高く、緑ヶ丘・滝坂小学校地域では 7.1% であり最も低くなっている。
- **障害程度別**にみると、2 級、3 級、5 級では「持っていて、いつも持ち歩いている (それぞれ 24.9%, 28.1%, 25.0%)」が全体を上回っている。

図表 4-94 ヘルプカードの所持について【身体障害(64歳以下)】

(全体, 年代別, 福祉圏域別, 障害程度別)

			いつ持つ も持ち 歩いて いてい	い持ち ちつ 歩いて いるが、 な	うが持 っ ほて しい いな と思	し、持 っ 必要 ない ない	無 回 答
全 体 (N=221)			19.5	25.3	19.5	27.6	8.1
年代別	18歳～39歳 (n= 38)		23.7	31.6	13.2	28.9	2.6
	40歳～64歳 (n=163)		17.2	25.8	20.9	27.5	8.6
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 14)		7.1	35.7	28.6	28.6	0.0
	若葉・調和 (n= 22)		18.2	18.2	18.2	36.3	9.1
	上ノ原・柏野 (n= 22)		31.9	18.2	22.7	13.6	13.6
	北ノ台・深大寺 (n= 18)		22.2	16.7	27.8	22.2	11.1
	第二・八雲台・国領 (n= 41)		24.4	29.2	17.1	24.4	4.9
	染地・杉森・布田 (n= 20)		15.0	30.0	20.0	30.0	5.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 37)		16.2	18.9	18.9	40.6	5.4
第三・石原・飛田給 (n= 43)		14.0	30.1	16.3	25.6	14.0	
障害程度別	1級 (n= 82)		18.3	31.7	14.6	29.3	6.1
	2級 (n= 44)		24.9	20.5	20.5	25.0	9.1
	3級 (n= 32)		28.1	12.5	18.8	31.2	9.4
	4級 (n= 30)		10.0	26.7	33.3	23.3	6.7
	5級 (n= 16)		25.0	31.1	6.3	31.3	6.3
	6級 (n= 8)		0.0	12.5	50.0	37.5	0.0

II アンケート調査の結果

身体障害（65歳以上）

- **年代別**にみると、85歳以上では「持っていないし、必要ない(24.4%)」が全体より8.9ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、「持っていないが、ほしいと思う」と「持っていないし、必要ない」を合わせた《持っていない》の割合は、緑ヶ丘・滝坂小学校地域では65.3%と最も多く、全体（48.4%）より高くなっている。

図表 4-95 ヘルプカードの所持について【身体障害（65歳以上）】
（全体，年代別，福祉圏域別，障害程度別）

		(%)				
		いつ持つ もつ 持て ちい 歩て いて	い持 ちつ 歩て いて いが な	うが持 、つ ほて しい いな とい 思	し持 、つ 必 て い な い	無 回 答
全	体 (N=250)	16.8	26.8	24.0	24.4	8.0
年 代 別	65歳～74歳 (n= 64)	18.8	31.2	23.4	26.6	0.0
	75歳～84歳 (n=105)	13.3	25.7	28.7	19.0	13.3
	85歳以上 (n= 66)	18.2	21.2	18.2	33.3	9.1
福 祉 圏 域 別 （ 小 学 校 区 ）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 23)	4.3	26.1	47.9	17.4	4.3
	若葉・調和 (n= 26)	7.7	23.1	15.4	46.1	7.7
	上ノ原・柏野 (n= 21)	19.0	28.7	23.8	19.0	9.5
	北ノ台・深大寺 (n= 25)	16.0	40.0	20.0	16.0	8.0
	第二・八雲台・国領 (n= 54)	13.0	33.3	18.5	24.1	11.1
	染地・杉森・布田 (n= 23)	26.1	8.7	21.7	39.2	4.3
	第一・富士見台・多摩川 (n= 43)	16.3	30.2	27.9	18.6	7.0
第三・石原・飛田給 (n= 33)	30.3	18.2	24.2	21.2	6.1	
障 害 程 度 別	1級 (n= 71)	22.5	36.6	16.9	14.1	9.9
	2級 (n= 31)	9.7	22.6	32.2	19.4	16.1
	3級 (n= 33)	15.2	30.3	27.3	24.2	3.0
	4級 (n= 74)	12.2	18.9	27.0	39.2	2.7
	5級 (n= 7)	42.8	28.6	14.3	14.3	0.0
	6級 (n= 10)	10.0	20.0	40.0	30.0	0.0

知的障害

- **年代別**にみると、年代があがるにつれ「持っている、いつも持ち歩いている」と「持っているが、持ち歩いていない」を合わせた《持っている》の割合が低くなっている。40～64歳では「持っている、いつも持ち歩いている」が全体より4.3ポイント高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、《持っている》の割合は、若葉・調和小学校地域では69.2%で最も高く、緑ヶ丘・滝坂小学校地域では46.2%で最も低くなっている。

図表 4-96 ヘルプカードの所持について【知的障害】
(全体, 年代別, 福祉圏域別, 障害程度別)

		(%)				
		いつ持 るもつ 持て ちい 歩て、 いてい	い持持 ちつ 歩て いい てる いが、 な	うが持 、つ ほて しい ない とい 思	し持、 つ 必て 要い ない いい	無 回 答
全	体 (N=172)	20.3	33.7	16.3	22.1	7.6
年 代 別	18歳～39歳 (n= 92)	18.5	40.2	15.2	20.7	5.4
	40歳～64歳 (n= 57)	24.6	24.6	19.3	26.2	5.3
	65歳以上 (n= 8)	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 13)	15.4	30.8	38.4	7.7	7.7
	若葉・調和 (n= 13)	30.8	38.4	7.7	7.7	15.4
	上ノ原・柏野 (n= 23)	21.7	30.5	17.4	30.4	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 14)	7.1	50.1	7.1	14.3	21.4
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	22.2	29.7	18.5	25.9	3.7
	染地・杉森・布田 (n= 24)	20.8	29.2	16.7	33.3	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 27)	22.2	33.4	18.5	14.8	11.1
第三・石原・飛田給 (n= 28)	21.4	39.4	7.1	25.0	7.1	
障 害 程 度 別	1度 (n= 6)	0.0	50.0	0.0	33.3	16.7
	2度 (n= 41)	29.3	46.3	12.2	7.3	4.9
	3度 (n= 32)	28.1	31.2	15.6	18.8	6.3
	4度 (n= 74)	14.9	31.1	18.9	32.4	2.7

精神障害

- **福祉圏域別**にみると、「持っている、いつも持ち歩いている」と「持っているが、持ち歩いていない」を合わせた《持っている》の割合は、北ノ台・深大寺小学校地域では 53.3%で最も高く、第三・石原・飛田給小学校地域では 20.0%で最も低くなっている。
- **障害程度別**にみると、障害の程度が重くなるにつれ、「持っている、いつも持ち歩いている」の割合が低くなっている。

図表 4-97 ヘルプカードの所持について【精神障害】

(全体、年代別、福祉圏域別、障害程度別)

		(%)				
		いつ持 るもつ 持て ちい 歩て い、 てい	い持持 ちつ 歩て い て る い が、 な	うが持 、つ ほて しい いな とい 思	し持 、つ 必て 要 いな いな	無 回 答
全	体 (N=203)	15.3	16.3	21.7	38.8	7.9
年 代 別	18歳～39歳 (n= 46)	13.0	17.4	21.7	37.0	10.9
	40歳～64歳 (n=118)	16.1	17.8	18.6	41.6	5.9
	65歳以上 (n= 28)	14.3	7.1	35.7	28.6	14.3
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 20)	15.0	20.0	10.0	40.0	15.0
	若葉・調和 (n= 38)	13.2	10.5	23.7	42.1	10.5
	上ノ原・柏野 (n= 19)	21.1	15.8	21.1	31.5	10.5
	北ノ台・深大寺 (n= 15)	26.6	26.7	20.0	20.0	6.7
	第二・八雲台・国領 (n= 37)	24.3	10.8	13.5	46.0	5.4
	染地・杉森・布田 (n= 20)	5.0	25.0	30.0	35.0	5.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 30)	10.0	23.3	26.7	36.7	3.3
第三・石原・飛田給 (n= 20)	10.0	10.0	20.0	50.0	10.0	
障 害 程 度 別	1級 (n= 7)	0.0	14.3	57.1	0.0	28.6
	2級 (n= 91)	15.4	17.6	17.6	45.0	4.4
	3級 (n= 79)	16.5	13.9	26.6	36.7	6.3

難病

- **年代別**にみると、18～39歳では「持っている、いつも持ち歩いている(11.1%)」が全体より4.2%高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、「持っていないし、必要ない」の割合が、北ノ台・深大寺小学校地域では61.1%で最も高く、第一・富士見台・多摩川小学校地域では43.7%で最も低くなっている。

図表 4-98 ヘルプカードの所持について【難病】
(全体, 年代別, 福祉圏域別)

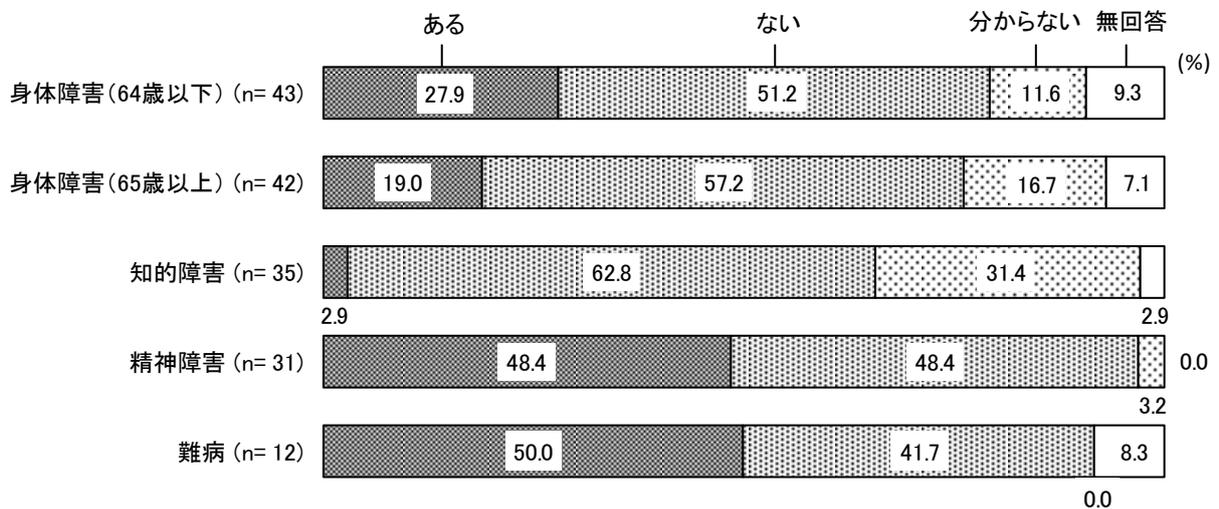
			いつ持 るもつ 持て ちい 歩いて いてい	い持持 ちつ 歩いて いる が、 な	うが持 、つ ほて しい いな とい 思	し持、 つ 必て いな いな い	(%) 無 回 答
全	体 (N=173)		6.9	14.5	21.4	50.3	6.9
年 代 別	18歳～39歳 (n= 18)		11.1	16.7	38.9	33.3	0.0
	40歳～64歳 (n= 57)		3.5	15.8	17.5	61.4	1.8
	65歳以上 (n= 87)		9.2	14.9	20.7	43.7	11.5
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 18)		5.6	5.6	27.8	44.3	16.7
	若葉・調和 (n= 23)		8.7	13.0	26.1	52.2	0.0
	上ノ原・柏野 (n= 11)		9.1	27.3	18.2	45.4	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 18)		11.1	11.1	11.1	61.1	5.6
	第二・八雲台・国領 (n= 27)		7.4	14.8	11.1	55.6	11.1
	染地・杉森・布田 (n= 22)		9.1	22.7	18.2	50.0	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 16)		0.0	18.8	25.0	43.7	12.5
第三・石原・飛田給 (n= 31)		6.5	9.7	25.8	48.3	9.7	

(2) ヘルプカードの効果 (問 28-1)

問 28-1 問 28 で「1. 持っていて、いつも持ち歩いている」と答えた方におたずねします。
 ヘルプカードを持っていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに〇)

- ヘルプカードを持っていて、いつも持ち歩かしていると答えた方に、その効果をたずねたところ、「ない」の割合が身体障害 (64 歳以下)、身体障害 (65 歳以上) では5割、知的障害では6割を超えている。一方、「ある」の割合は精神障害では4割を超え、難病では5割となっている。

図表 4-99 ヘルプカードの効果 (全体)
 <ヘルプカードを持っていて、いつも持ち歩いている人>



(3) 市の相談窓口の認知状況 (問 29)

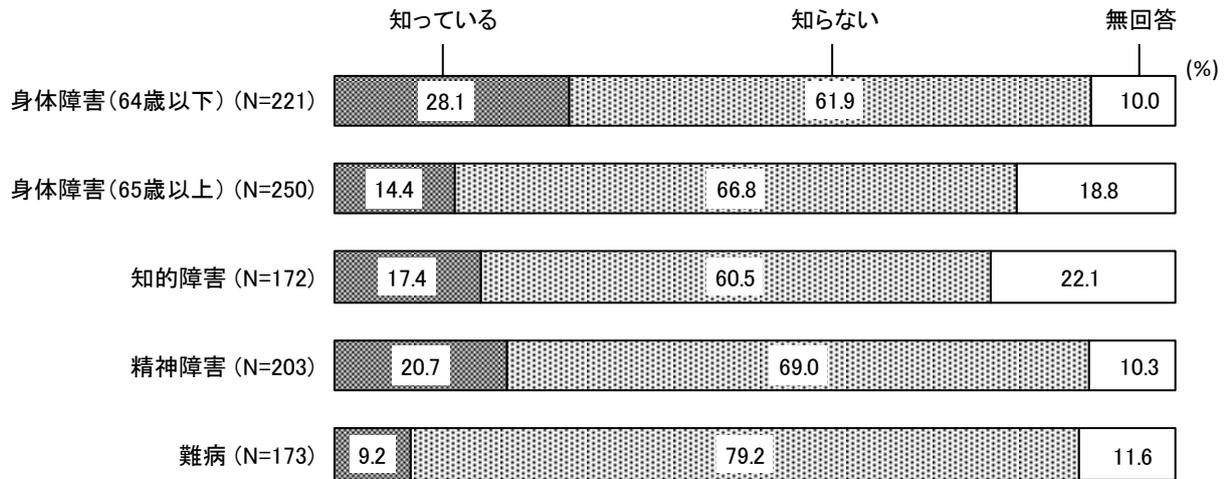
問 29 あなたは、次の調布市の相談窓口を知っていますか。

((1) ~ (10) それぞれ1つに○)

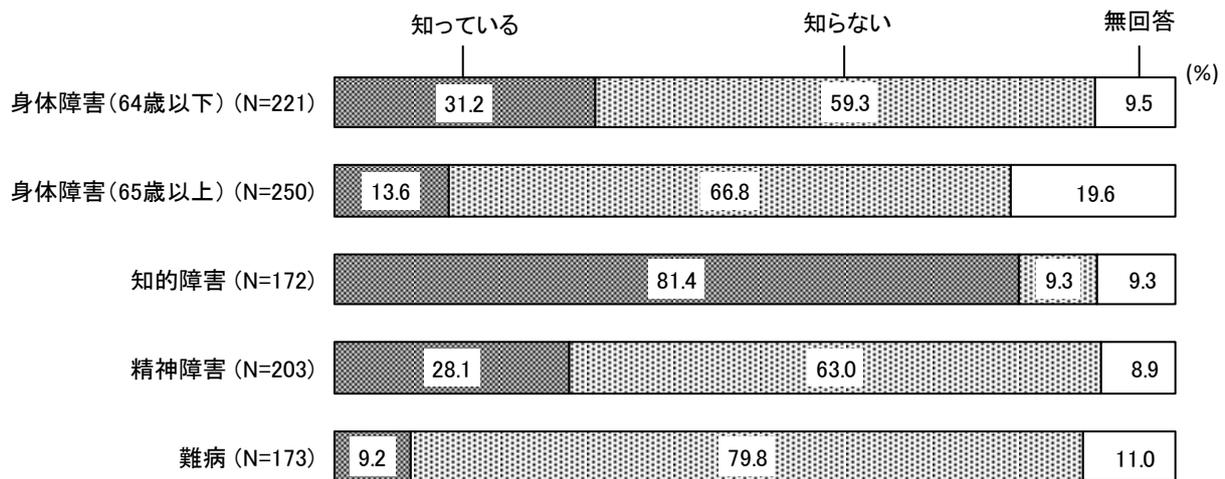
- 調布市の相談窓口の認知状況を10の窓口についてたずねた。
- 『ドルチェ』は身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害, 精神障害, 難病ともに, 「知らない」が6割を超えている。
- 『ちょうふだぞう』は身体障害 (65歳以上), 精神障害で「知らない」が6割を超え, 難病で「知らない」が7割を超えている。
- 『希望ヶ丘』は身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害で「知らない」が7割を超え, 難病で「知らない」が8割を超えている。
- 『こころの健康支援センター』は身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害で「知らない」が7割を超え, 難病で「知らない」が8割を超えている。
- 『難病相談窓口』は身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害で「知らない」が7割を超え, 精神障害で「知らない」が8割を超えている。
- 『障害者虐待防止センター』は身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上) で「知らない」が7割を超え, 精神障害, 難病で「知らない」が8割を超えている。
- 『調布ライフサポート (福祉総合センター内)』は身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害, 精神障害で「知らない」が7割を超え, 難病で「知らない」が8割を超えている。
- 『地域包括支援センター (市内10ヶ所)』は身体障害 (65歳以上) で「知っている」が半数を超え, 身体障害 (64歳以下), 知的障害, 精神障害で「知らない」が半数を超えている。
- 『成年後見制度』は身体障害 (64歳以下), 精神障害で「知らない」が半数を超えている。
- 『住まいぬくもり相談室』は身体障害 (65歳以上), 知的障害で「知らない」が7割を超え, 身体障害 (64歳以下), 精神障害, 難病で「知らない」が8割を超えている。

図表 4-100 市の相談窓口の認知状況（全体）

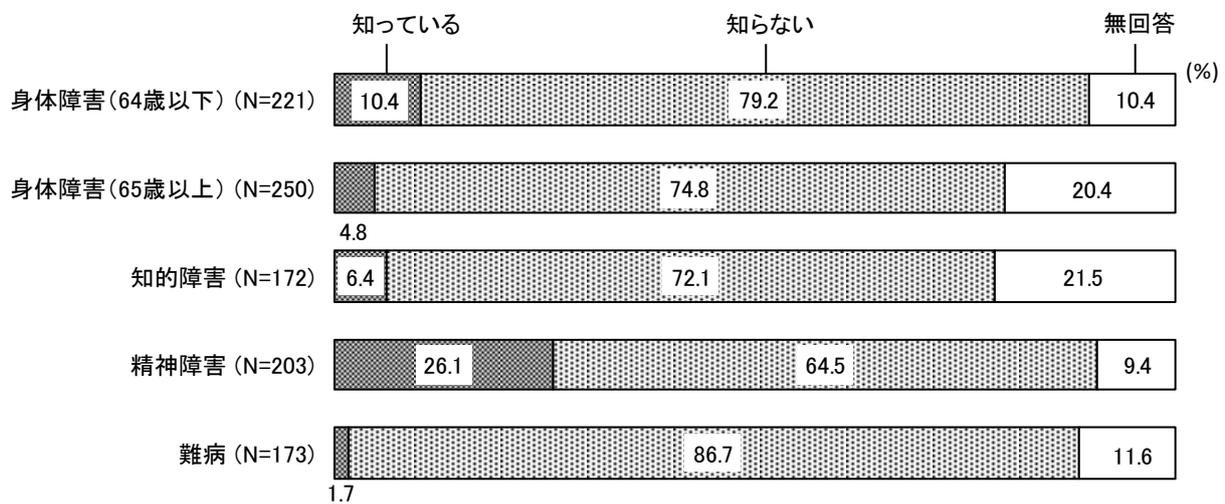
(1)ドルチェ



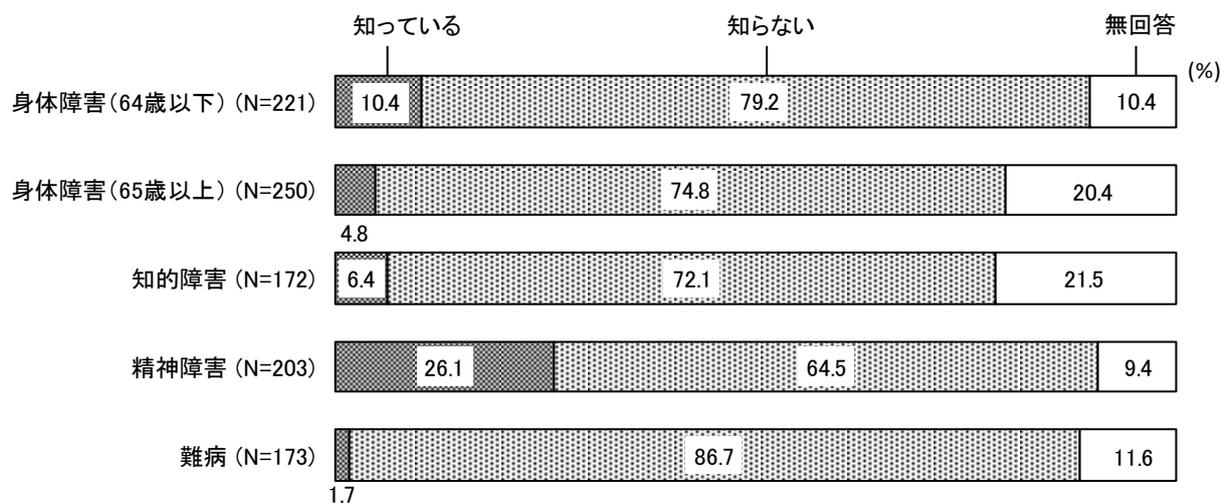
(2)ちょうふだぞう



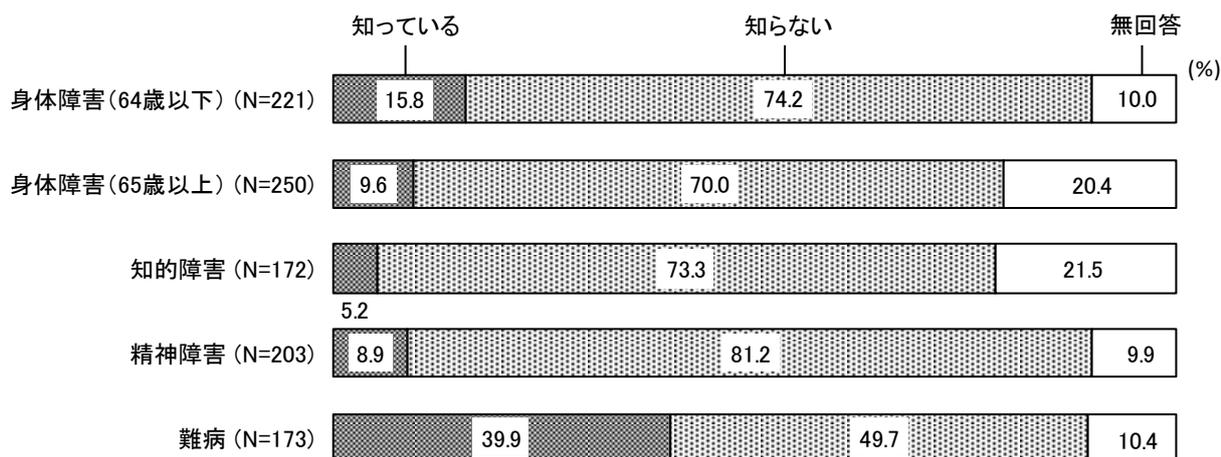
(3)希望ヶ丘



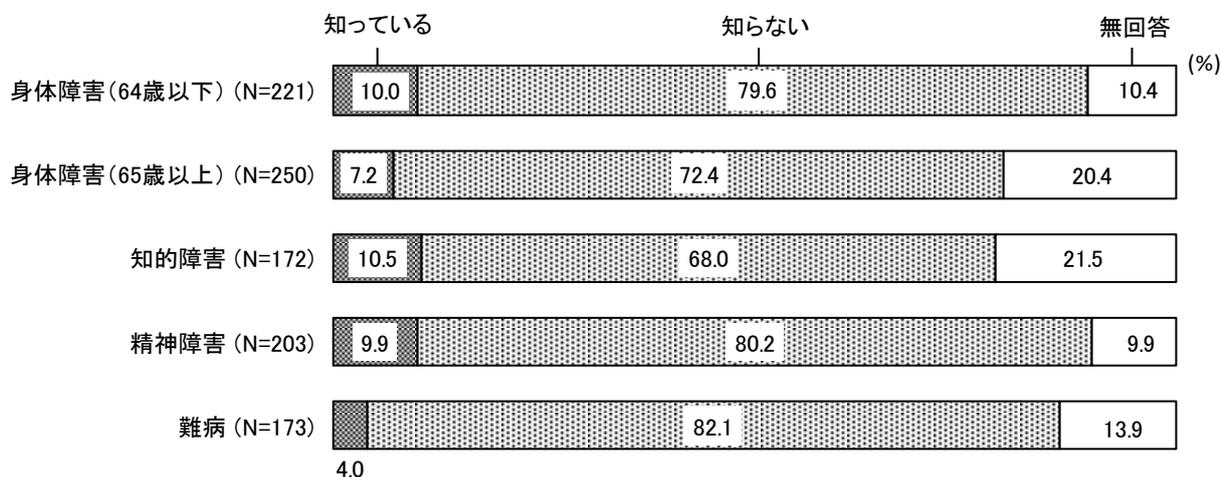
(4) こころの健康支援センター



(5) 難病相談窓口

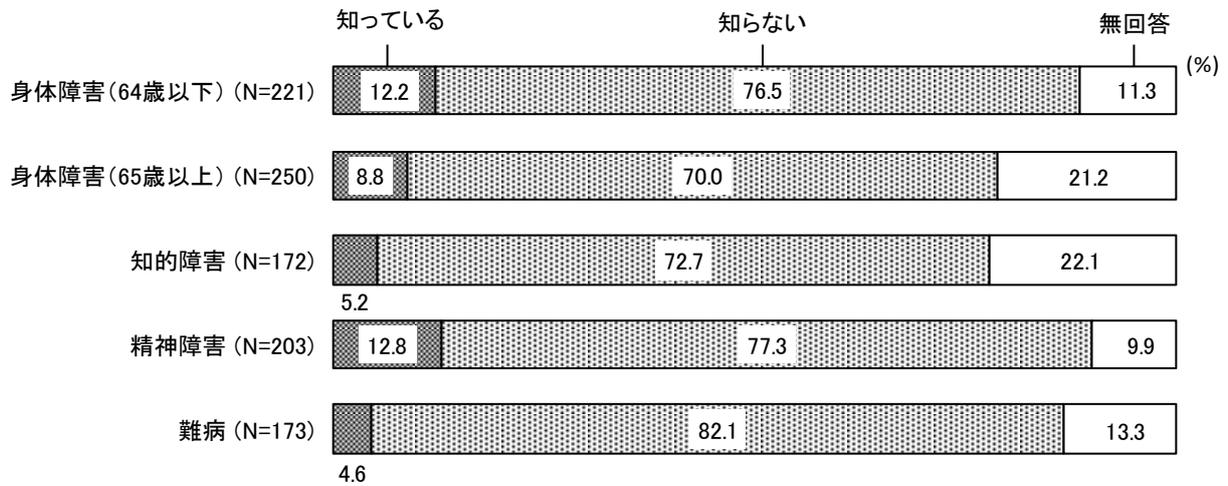


(6) 障害者虐待防止センター

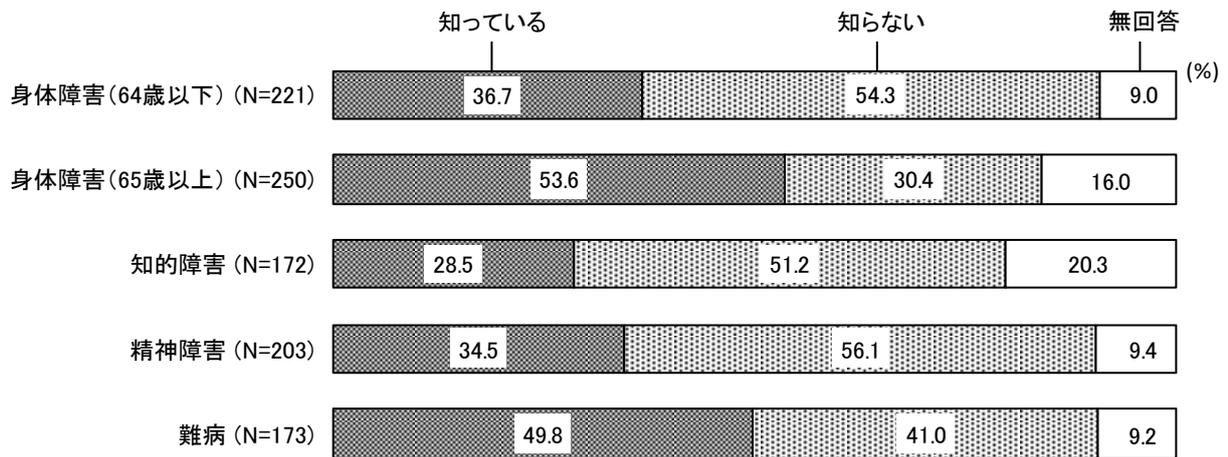


II アンケート調査の結果

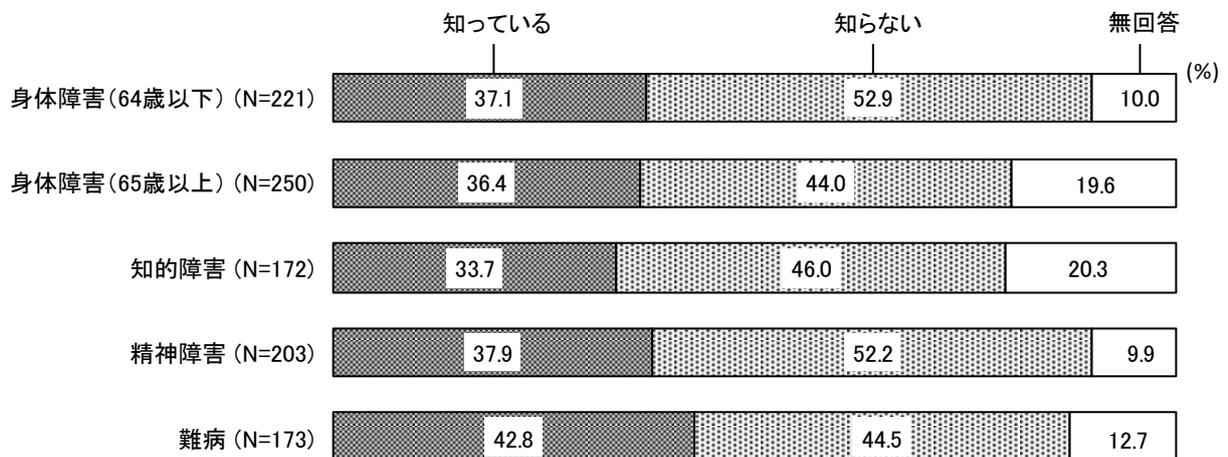
(7) 調布ライフサポート(総合福祉センター内)



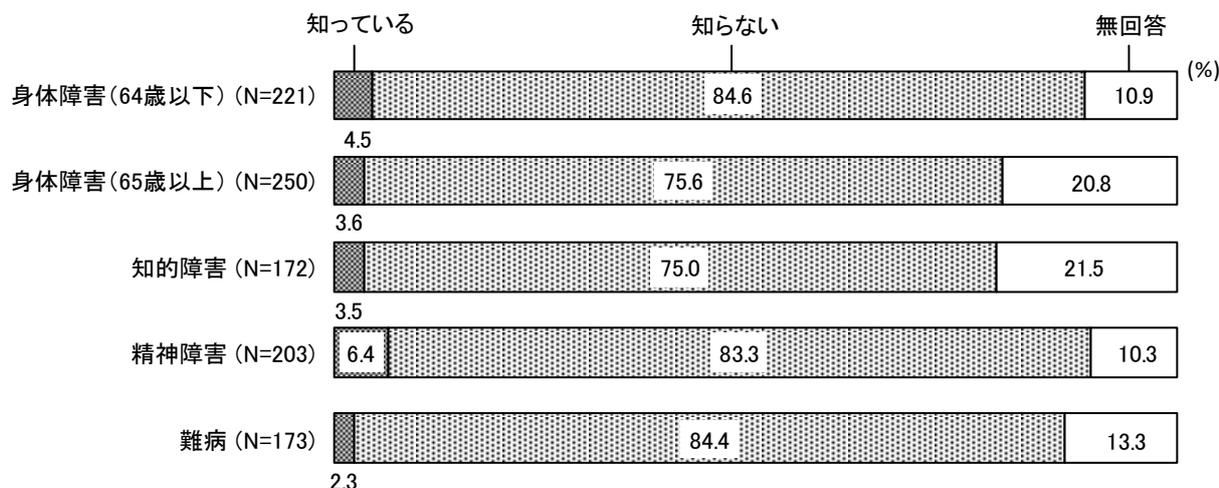
(8) 地域包括支援センター(市内10ヶ所)



(9) 成年後見制度



(10) 住まいぬくもり相談室



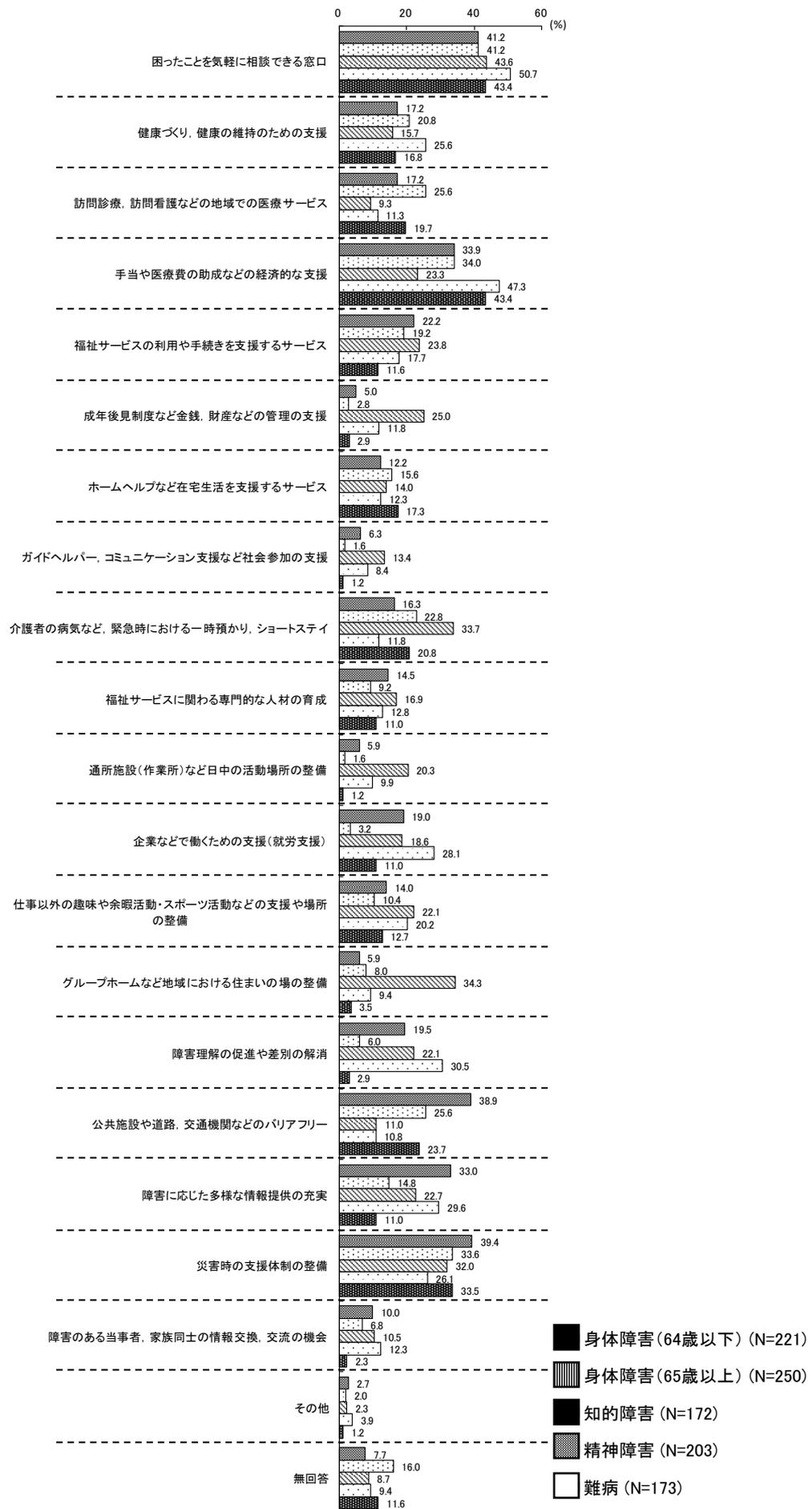
(4) 今後力を入れるべき障害者福祉施策（サービス）（問 30）

問 30 あなたが今後、調布市で特に充実させてほしいと思う取組はどれですか。（5つまで○）

- 身体障害（64歳以下）は、「困ったことを気軽に相談できる窓口（41.2%）」が最も多く、「災害時の支援体制の整備（39.4%）」、「公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー（38.9%）」が続いている。
- 身体障害（65歳以上）は、「困ったことを気軽に相談できる窓口（41.2%）」が最も多く、「手当や医療費の助成などの経済的な支援（34.0%）」、「災害時の支援体制の整備（33.6%）」が続いている。
- 知的障害は、「困ったことを気軽に相談できる窓口（43.6%）」が最も多く、「グループホームなど地域における住まいの場の整備（34.3%）」、「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ（33.7%）」が続いている。
- 精神障害は、「困ったことを気軽に相談できる窓口（50.7%）」が最も多く、「手当や医療費の助成などの経済的な支援（47.3%）」、「障害理解の促進や差別の解消（30.5%）」が続いている。
- 難病は、「困ったことを気軽に相談できる窓口（43.4%）」、「手当や医療費の助成などの経済的な支援（43.4%）」が最も多く、「災害時の支援体制の整備（33.5%）」が続いている。

II アンケート調査の結果

図表 4-101 今後力を入れるべき障害者福祉施策（サービス）（全体：複数回答（5つまで○））



身体障害（64歳以下）

- **年代別**にみると、18歳～39歳では「災害時の支援体制の整備（36.8%）」が最も多くなっている。また、「成年後見制度など金銭、財産などの管理の支援（10.5%）」、「グループホームなど地域における住まいの場の整備（10.5%）」が全体より5ポイント程度高くなっている。40～64歳では「困ったことを気軽に相談できる窓口（44.2%）」が最も多くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「困ったことを気軽に相談できる窓口（50.0%）」が最も多く、5割となっている。
- **福祉圏域別**にみると、染地・杉森・布田小学校地域では「手当や医療費の助成などの経済的な支援（60.0%）」が全体より26.1ポイント高くなっている。若葉・調和小学校地域では「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ（31.8%）」が全体より15.5ポイント高くなっている。上ノ原・柏野小学校地域では「障害理解の促進や差別の解消（36.4%）」が全体より16.9ポイント高くなっている。
- **障害程度別**にみると、1級では「困ったことを気軽に相談できる窓口（47.6%）」、2級では「困ったことを気軽に相談できる窓口（45.5%）」、「公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー（45.5%）」、「災害時の支援体制の整備（45.5%）」、3級では「手当や医療費の助成などの経済的な支援（53.1%）」、4級では「公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー（43.3%）」、5級では「災害時の支援体制の整備（43.8%）」、6級では「手当や医療費の助成などの経済的な支援（50.0%）」が最も多くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 4-102 今後力を入れるべき障害者福祉施策（サービス）【身体障害（64歳以下）】

（全体、年代別、家族構成別、福祉圏域別、障害程度別：複数回答）

		相談できる窓口	健康づくりのための支援	訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	手当や医療費の助成などの経済的な支援	福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	成年後見制度など金銭、財産などの管理の支援	ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス	援など社会参加の支援	ガイドヘルパー、コミュニケーション	緊急時における一時預かり、ショートステイ	介護者の病气など、緊急性時における一時預かり、ショートステイ	福祉サービスに関する専門的な人材の育成	通所施設（作業所）など日中の活動場所の整備
全体	(N=221)	41.2	17.2	17.2	33.9	22.2	5.0	12.2	6.3	16.3	14.5	5.9		
年代別	18歳～39歳 (n= 38)	26.3	13.2	15.8	26.3	21.1	10.5	15.8	2.6	15.8	7.9	7.9		
	40歳～64歳 (n=163)	44.2	18.4	17.8	36.2	23.3	3.1	11.7	7.4	16.6	16.6	6.1		
家族構成別	ひとり暮らし (n= 42)	50.0	23.8	16.7	26.2	23.8	2.4	11.9	9.5	2.4	14.3	7.1		
	その他 (n=176)	39.8	15.9	17.6	36.4	22.2	5.7	12.5	5.7	19.9	14.8	5.7		
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 14)	21.4	7.1	0.0	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	28.6	0.0		
	若葉・調和 (n= 22)	50.0	9.1	13.6	36.4	22.7	9.1	13.6	4.5	31.8	22.7	0.0		
	上ノ原・柏野 (n= 22)	40.9	31.8	13.6	18.2	22.7	9.1	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1		
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	44.4	16.7	27.8	38.9	27.8	0.0	22.2	0.0	22.2	5.6	0.0		
	第二・八雲台・国領 (n= 41)	26.8	19.5	22.0	36.6	9.8	4.9	12.2	4.9	24.4	7.3	4.9		
	染地・杉森・布田 (n= 20)	55.0	10.0	15.0	60.0	25.0	0.0	5.0	0.0	10.0	15.0	15.0		
	第一・富士見台・多摩川 (n= 37)	48.6	16.2	21.6	40.5	27.0	8.1	13.5	10.8	5.4	13.5	8.1		
	第三・石原・飛田給 (n= 43)	44.2	18.6	16.3	25.6	30.2	2.3	14.0	4.7	14.0	16.3	7.0		
	障害程度別	1級 (n= 82)	47.6	19.5	25.6	36.6	23.2	7.3	18.3	7.3	22.0	15.9	4.9	
2級 (n= 44)		45.5	13.6	18.2	18.2	25.0	6.8	11.4	9.1	18.2	20.5	11.4		
3級 (n= 32)		28.1	25.0	6.3	53.1	25.0	0.0	12.5	3.1	6.3	15.6	6.3		
4級 (n= 30)		40.0	10.0	16.7	33.3	13.3	0.0	3.3	6.7	10.0	10.0	3.3		
5級 (n= 16)		37.5	18.8	12.5	31.3	18.8	0.0	12.5	6.3	25.0	0.0	0.0		
6級 (n= 8)		37.5	12.5	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

		の企業などでの就業支援（就労支援）	の職活動の支援（就労支援）	の地域における住まいなどの整備	の別障害の解消の促進や差別の解消	の公共交通機関などの道路、バリアフリー	の情報提供の充実	の整備	の災害時の支援体制の整備	の家族、交流の機会	のその他	の無回答
全体	(N=221)	19.0	14.0	5.9	19.5	38.9	33.0	39.4	10.0	2.7	7.7	
年代別	18歳～39歳 (n= 38)	21.1	15.8	10.5	18.4	28.9	31.6	36.8	5.3	5.3	5.3	
	40歳～64歳 (n=163)	19.6	14.1	4.3	19.6	42.9	32.5	39.3	9.2	1.2	8.0	
家族構成別	ひとり暮らし (n= 42)	16.7	19.0	2.4	23.8	35.7	28.6	35.7	9.5	4.8	9.5	
	その他 (n=176)	19.9	13.1	6.8	18.2	39.2	34.1	40.9	9.7	2.3	6.8	
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 14)	21.4	21.4	7.1	14.3	50.0	35.7	50.0	7.1	0.0	7.1	
	若葉・調和 (n= 22)	13.6	0.0	4.5	9.1	31.8	40.9	36.4	9.1	0.0	0.0	
	上ノ原・柏野 (n= 22)	31.8	9.1	4.5	36.4	22.7	31.8	40.9	9.1	9.1	18.2	
	北ノ台・深大寺 (n= 18)	11.1	5.6	0.0	11.1	50.0	33.3	33.3	11.1	5.6	16.7	
	第二・八雲台・国領 (n= 41)	17.1	17.1	4.9	22.0	36.6	26.8	46.3	17.1	0.0	9.8	
	染地・杉森・布田 (n= 20)	30.0	10.0	5.0	30.0	45.0	35.0	35.0	0.0	0.0	0.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 37)	13.5	24.3	8.1	21.6	37.8	32.4	37.8	10.8	2.7	5.4	
	第三・石原・飛田給 (n= 43)	20.9	14.0	9.3	11.6	39.5	32.6	37.2	7.0	4.7	7.0	
	障害程度別	1級 (n= 82)	17.1	11.0	7.3	20.7	41.5	35.4	41.5	14.6	2.4	7.3
2級 (n= 44)		15.9	22.7	9.1	20.5	45.5	29.5	45.5	13.6	0.0	6.8	
3級 (n= 32)		18.8	3.1	0.0	18.8	34.4	37.5	37.5	3.1	3.1	6.3	
4級 (n= 30)		26.7	10.0	3.3	6.7	43.3	33.3	33.3	0.0	3.3	10.0	
5級 (n= 16)		25.0	25.0	6.3	25.0	37.5	25.0	43.8	6.3	6.3	6.3	
6級 (n= 8)		37.5	37.5	0.0	37.5	0.0	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	

身体障害（65歳以上）

- **年代別**にみると、65～74歳では「手当や医療費の助成などの経済的な支援（42.2%）」、75～84歳では「困ったことを気軽に相談できる窓口（41.0%）」、85歳以上では「困ったことを気軽に相談できる窓口（47.0%）」が最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域では「災害時の支援体制の整備（56.5%）」、第一・富士見台・多摩川小学校地域では「困ったことを気軽に相談できる窓口（55.8%）」、第三・石原・飛田給小学校地域では「手当や医療費の助成などの経済的な支援（51.5%）」が5割を超えている。
- **障害程度別**にみると、1級では「手当や医療費の助成などの経済的な支援（33.8%）」、「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ（33.8%）」、2級では「災害時の支援体制の整備（48.4%）」、3級では「困ったことを気軽に相談できる窓口（54.5%）」、4級では「困ったことを気軽に相談できる窓口（45.9%）」、5級では「手当や医療費の助成などの経済的な支援（71.4%）」、6級では「困ったことを気軽に相談できる窓口（60.0%）」が最も多くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 4-103 今後力を入れるべき障害者福祉施策（サービス）【身体障害（65歳以上）】

（全体，年代別，家族構成別，福祉圏域別，障害程度別：複数回答）

		相談できる窓口	健康づくり、健康の維持のための支援	訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	手当や医療費の助成などの経済的な支援	福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	成年後見制度など金銭、財産などの管理の支援	住宅生活をヘルプなどサービス	ボランティアなど社会参加の支援	緊急時における一時預かり、ショートステイ	介護者の病气など、介護時における一時預かり、ショートステイ	福祉サービスの関わる専門的な人材の育成	通所施設（作業所）など日中の活動場所の整備
全体	(N=250)	41.2	20.8	25.6	34.0	19.2	2.8	15.6	1.6	22.8	9.2	1.6		
年代別	65歳～74歳 (n=64)	34.4	23.4	23.4	42.2	21.9	3.1	14.1	1.6	20.3	6.3	3.1		
	75歳～84歳 (n=105)	41.0	19.0	21.9	33.3	19.0	3.8	17.1	1.9	24.8	10.5	1.0		
	85歳以上 (n=66)	47.0	19.7	33.3	25.8	19.7	0.0	16.7	1.5	22.7	12.1	0.0		
家族構成別	ひとり暮らし (n=59)	35.6	13.6	25.4	22.0	13.6	5.1	20.3	0.0	8.5	15.3	1.7		
	その他 (n=192)	42.7	22.9	26.0	37.5	20.3	1.6	14.1	2.1	27.1	7.8	1.6		
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n=23)	39.1	21.7	47.8	21.7	17.4	0.0	17.4	4.3	13.0	4.3	0.0		
	若葉・調和 (n=26)	42.3	23.1	30.8	38.5	34.6	3.8	11.5	0.0	38.5	0.0	7.7		
	上ノ原・柏野 (n=21)	38.1	9.5	33.3	23.8	14.3	4.8	28.6	0.0	28.6	4.8	0.0		
	北ノ台・深大寺 (n=25)	36.0	20.0	40.0	32.0	12.0	0.0	20.0	0.0	16.0	8.0	0.0		
	第二・八雲台・国領 (n=54)	31.5	16.7	11.1	24.1	18.5	3.7	9.3	0.0	14.8	13.0	1.9		
	染地・杉森・布田 (n=23)	34.8	34.8	17.4	30.4	13.0	4.3	8.7	0.0	30.4	13.0	0.0		
	第一・富士見台・多摩川 (n=43)	55.8	18.6	23.3	44.2	14.0	0.0	18.6	2.3	23.3	9.3	0.0		
	第三・石原・飛田給 (n=33)	45.5	24.2	21.2	51.5	27.3	6.1	15.2	0.0	24.2	15.2	0.0		
障害程度別	1級 (n=71)	31.0	18.3	21.1	33.8	15.5	2.8	11.3	1.4	33.8	9.9	1.4		
	2級 (n=31)	29.0	12.9	32.3	25.8	12.9	0.0	12.9	0.0	19.4	6.5	0.0		
	3級 (n=33)	54.5	27.3	30.3	36.4	18.2	0.0	6.1	0.0	18.2	15.2	0.0		
	4級 (n=74)	45.9	24.3	24.3	40.5	21.6	4.1	20.3	0.0	14.9	6.8	2.7		
	5級 (n=7)	57.1	14.3	14.3	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0		
	6級 (n=10)	60.0	10.0	10.0	20.0	50.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0		

		の企業などで働くため	の職外活動の支援	の地域における生活	の障害者解消の促進	の公共交通機関などのバリアフリー	の情報提供の充実	の整備	の家族交流の機会	その他	無回答
全体	(N=250)	3.2	10.4	8.0	6.0	25.6	14.8	33.6	6.8	2.0	16.0
年代別	65歳～74歳 (n=64)	7.8	18.8	6.3	9.4	26.6	14.1	37.5	10.9	0.0	9.4
	75歳～84歳 (n=105)	1.9	7.6	7.6	6.7	24.8	17.1	29.5	4.8	2.9	18.1
	85歳以上 (n=66)	1.5	4.5	9.1	1.5	27.3	12.1	34.8	6.1	3.0	19.7
家族構成別	ひとり暮らし (n=59)	3.4	10.2	16.9	1.7	30.5	13.6	28.8	1.7	3.4	16.9
	その他 (n=192)	3.1	10.4	5.2	7.3	23.4	15.1	34.9	7.8	1.6	16.1
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n=23)	0.0	8.7	8.7	8.7	30.4	4.3	56.5	4.3	0.0	21.7
	若葉・調和 (n=26)	0.0	11.5	19.2	0.0	23.1	11.5	30.8	7.7	3.8	11.5
	上ノ原・柏野 (n=21)	4.8	4.8	9.5	4.8	14.3	4.8	9.5	14.3	0.0	28.6
	北ノ台・深大寺 (n=25)	8.0	12.0	4.0	8.0	24.0	20.0	44.0	4.0	4.0	20.0
	第二・八雲台・国領 (n=54)	1.9	9.3	3.7	9.3	27.8	14.8	27.8	9.3	1.9	22.2
	染地・杉森・布田 (n=23)	0.0	13.0	13.0	4.3	21.7	17.4	43.5	8.7	0.0	13.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=43)	2.3	7.0	11.6	7.0	30.2	20.9	32.6	4.7	2.3	9.3
	第三・石原・飛田給 (n=33)	6.1	15.2	0.0	0.0	24.2	15.2	30.3	3.0	3.0	6.1
障害程度別	1級 (n=71)	2.8	8.5	7.0	5.6	21.1	14.1	23.9	4.2	5.6	18.3
	2級 (n=31)	0.0	6.5	9.7	6.5	41.9	29.0	48.4	9.7	3.2	16.1
	3級 (n=33)	0.0	9.1	6.1	3.0	18.2	24.2	36.4	12.1	0.0	21.2
	4級 (n=74)	4.1	14.9	8.1	6.8	25.7	5.4	28.4	5.4	0.0	13.5
	5級 (n=7)	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0
	6級 (n=10)	10.0	10.0	10.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0

知的障害

- **年代別**にみると、18～39歳では「災害時の支援体制の整備(37.0%)」、40歳～64歳では「困ったことを気軽に相談できる窓口(54.4%)」が最も多くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「困ったことを気軽に相談できる窓口(40.9%)」、「災害時の支援体制の整備(40.9%)」が最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、第一・富士見台・多摩川小学校地域では「困ったことを気軽に相談できる窓口(51.9%)」、第三・石原・飛田給小学校地域では「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ(53.6%)」が最も多くなっている。
- **障害程度別**にみると、2度では「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ(70.7%)」、3度では「グループホームなど地域における住まいの場の整備(40.6%)」、「災害時の支援体制の整備(40.6%)」、4度では「困ったことを気軽に相談できる窓口(60.8%)」が最も多くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 4-104 今後力を入れるべき障害者福祉施策（サービス）【知的障害】

（全体、年代別、家族構成別、障害の程度別：複数回答）

		相 困 つ た こ と を 気 軽 に 相 談 で き る 窓 口	維 持 の た め の 支 援 の 健 康 づ く り	訪 問 診 療 、 サ ー ビ ス の 地 域 で の 医 療 支 援	手 当 り の 経 済 的 な 支 援 成 績	サ ー ビ ス の 利 用 を 支 援 す る	福 祉 サ ー ビ ス の 支 援 の 支 援 の 支 援 の 支 援	成 年 後 見 制 度 な ど の 支 援 の 支 援	金 銭 支 援 の 支 援	家 庭 内 の 支 援 の 支 援	サ ー ビ ス の 支 援 の 支 援	ホ ム ヘル プ な ど の 支 援 の 支 援	支 援 の 支 援 の 支 援	ガイ ド ヘル プ な ど の 支 援 の 支 援	テ レ ホ ン 支 援 の 支 援	介 護 者 の 病 気 な ど の 支 援 の 支 援	成 育 に 関 わ る サ ー ビ ス の 支 援	福 祉 サ ー ビ ス の 支 援	な ど の 日 中 の 活 動 場 所 の 支 援	
全	体 (N=172)	43.6	15.7	9.3	23.3	23.8	25.0	14.0	13.4	33.7	16.9	20.3								
年 代 別	18歳～39歳 (n= 92)	32.6	14.1	10.9	25.0	22.8	26.1	14.1	17.4	34.8	17.4	15.2								
	40歳～64歳 (n= 57)	54.4	19.3	8.8	19.3	28.1	31.6	14.0	8.8	29.8	14.0	24.6								
	65歳以上 (n= 8)	62.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	37.5	37.5	37.5								
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 22)	40.9	31.8	9.1	18.2	27.3	31.8	9.1	9.1	18.2	22.7	27.3								
	その他 (n=150)	43.3	13.3	9.3	24.7	22.7	24.7	14.7	14.0	36.7	17.3	20.7								
福 祉 圏 域 別 （ 小 学 校 区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 13)	53.8	0.0	7.7	23.1	30.8	38.5	7.7	7.7	38.5	0.0	0.0								
	若葉・調和 (n= 13)	38.5	15.4	23.1	15.4	38.5	23.1	15.4	15.4	30.8	30.8	23.1								
	上ノ原・柏野 (n= 23)	43.5	17.4	4.3	21.7	43.5	26.1	8.7	17.4	17.4	8.7	4.3								
	北ノ台・深大寺 (n= 14)	50.0	0.0	0.0	42.9	21.4	35.7	7.1	7.1	21.4	14.3	35.7								
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	48.1	18.5	7.4	33.3	29.6	14.8	18.5	11.1	29.6	18.5	33.3								
	染地・杉森・布田 (n= 24)	20.8	16.7	8.3	25.0	8.3	20.8	8.3	12.5	29.2	16.7	20.8								
	第一・富士見台・多摩川 (n= 27)	51.9	22.2	14.8	22.2	14.8	22.2	18.5	14.8	44.4	18.5	29.6								
	第三・石原・飛田給 (n= 28)	42.9	21.4	10.7	10.7	14.3	32.1	21.4	17.9	53.6	25.0	14.3								
障 害 程 度 別	1度 (n= 6)	50.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	66.7	16.7	16.7								
	2度 (n= 41)	26.8	19.5	12.2	17.1	19.5	31.7	22.0	22.0	70.7	29.3	29.3								
	3度 (n= 32)	37.5	6.3	6.3	21.9	15.6	34.4	9.4	18.8	28.1	15.6	21.9								
	4度 (n= 74)	60.8	20.3	4.1	25.7	32.4	20.3	10.8	9.5	14.9	10.8	14.9								

		の 企 業 支 援 な ど で 働 く た め の 支 援	の 動 機 支 援 の 支 援 の 支 援	の 地 域 の 支 援 の 支 援	の グ ル ー プ の 支 援 の 支 援	障 害 の 支 援 の 支 援	フ 通 信 機 関 の 支 援 の 支 援	情 報 支 援 の 支 援	整 備 支 援 の 支 援	家 族 支 援 の 支 援	そ の 他	無 回 答
全	体 (N=172)	18.6	22.1	34.3	22.1	11.0	22.7	32.0	10.5	2.3	8.7	
年 代 別	18歳～39歳 (n= 92)	27.2	22.8	35.9	26.1	15.2	23.9	37.0	10.9	4.3	4.3	
	40歳～64歳 (n= 57)	8.8	17.5	33.3	10.5	7.0	22.8	26.3	8.8	0.0	14.0	
	65歳以上 (n= 8)	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 22)	4.5	27.3	18.2	13.6	9.1	13.6	40.9	9.1	0.0	18.2	
	その他 (n=150)	19.3	21.3	38.0	23.3	11.3	24.0	31.3	11.3	2.7	6.7	
福 祉 圏 域 別 （ 小 学 校 区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 13)	38.5	30.8	30.8	30.8	23.1	46.2	30.8	23.1	15.4	0.0	
	若葉・調和 (n= 13)	15.4	15.4	38.5	30.8	0.0	15.4	23.1	0.0	0.0	7.7	
	上ノ原・柏野 (n= 23)	21.7	17.4	34.8	17.4	8.7	26.1	26.1	0.0	4.3	13.0	
	北ノ台・深大寺 (n= 14)	14.3	7.1	21.4	28.6	14.3	28.6	35.7	0.0	0.0	0.0	
	第二・八雲台・国領 (n= 27)	11.1	33.3	22.2	22.2	14.8	14.8	18.5	14.8	3.7	7.4	
	染地・杉森・布田 (n= 24)	16.7	20.8	37.5	12.5	4.2	16.7	33.3	12.5	0.0	12.5	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 27)	14.8	29.6	37.0	29.6	14.8	29.6	40.7	14.8	0.0	14.8	
	第三・石原・飛田給 (n= 28)	17.9	14.3	50.0	17.9	10.7	14.3	46.4	14.3	0.0	3.6	
障 害 程 度 別	1度 (n= 6)	16.7	33.3	50.0	33.3	50.0	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	
	2度 (n= 41)	2.4	17.1	51.2	12.2	7.3	17.1	43.9	4.9	0.0	7.3	
	3度 (n= 32)	18.8	18.8	40.6	21.9	3.1	12.5	40.6	18.8	6.3	9.4	
	4度 (n= 74)	28.4	27.0	27.0	27.0	12.2	29.7	20.3	8.1	2.7	6.8	

精神障害

- **年代別**にみると、18～39歳では「困ったことを気軽に相談できる窓口(52.2%)」、「手当や医療費の助成などの経済的な支援(52.2%)」、40歳～64歳では「手当や医療費の助成などの経済的な支援(52.5%)」、65歳以上では「困ったことを気軽に相談できる窓口(46.4%)」が最も多くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしでは「困ったことを気軽に相談できる窓口(48.8%)」が最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、「困ったことを気軽に相談できる窓口」の割合が、緑ヶ丘・滝坂小学校地域と第三・石原・飛田給小学校地域で6割と高くなっている。
- **障害程度別**にみると、2級と3級では「手当や医療費の助成などの経済的な支援(それぞれ42.9%、59.5%)」が最も多くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 4-105 今後力を入れるべき障害者福祉施策（サービス）【精神障害】

（全体，年代別，家族構成別，福祉圏域別，障害程度別：複数回答）

		相談できる窓口	健康づくり、健康の維持のための支援	訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	手当や医療費の助成などの経済的な支援	福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	成年後見制度などの金銭、財産などの管理の支援	ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス	ガイドヘルパー、コミュニケーション、ソーシャルワークなど社会参加の支援	緊急時にシヨートス、予約、シヨートス	介護者の病气など、緊急性のある人材の育成	福祉サービスの関係する専門的な人材の育成	通所施設（作業所）など日中の活動場所の整備
全	体 (N=203)	50.7	25.6	11.3	47.3	17.7	11.8	12.3	8.4	11.8	12.8	12.8	9.9	
年代別	18歳～39歳 (n= 46)	52.2	26.1	8.7	52.2	17.4	10.9	8.7	4.3	8.7	15.2	8.7		
	40歳～64歳 (n=118)	51.7	25.4	11.0	52.5	19.5	11.9	13.6	9.3	11.9	12.7	9.3		
	65歳以上 (n= 28)	46.4	25.0	17.9	17.9	7.1	14.3	17.9	10.7	14.3	7.1	14.3		
家族構成別	ひとり暮らし (n= 82)	48.8	22.0	12.2	41.5	17.1	11.0	11.0	9.8	4.9	11.0	12.2		
	その他 (n=123)	52.0	28.5	10.6	52.8	18.7	13.8	13.8	7.3	16.3	13.8	8.1		
地域別	緑ヶ丘・滝坂小学校地域 (n= 20)	60.0	20.0	15.0	40.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0	5.0		
	若葉・調和小学校地域 (n= 38)	42.1	21.1	5.3	39.5	10.5	10.5	2.6	2.6	13.2	7.9	10.5		
	上ノ原・柏野小学校地域 (n= 19)	52.6	31.6	15.8	42.1	10.5	15.8	26.3	10.5	15.8	10.5	15.8		
	北ノ台・深大寺小学校地域 (n= 15)	46.7	20.0	6.7	53.3	13.3	13.3	13.3	6.7	13.3	20.0	6.7		
	第二・八雲台・国領小学校 (n= 37)	48.6	21.6	5.4	62.2	21.6	8.1	16.2	8.1	13.5	8.1	2.7		
	染地・杉森・布田小学校地 (n= 20)	45.0	30.0	20.0	45.0	25.0	0.0	5.0	15.0	10.0	15.0	10.0		
	第一・富士見台・多摩川小 (n= 30)	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	13.3	13.3	6.7	6.7	23.3		
第三・石原・飛田給小学校 (n= 20)	60.0	20.0	10.0	65.0	30.0	20.0	5.0	5.0	10.0	25.0	5.0			
障害程度別	1級 (n= 7)	71.4	42.9	28.6	42.9	0.0	42.9	28.6	14.3	42.9	28.6	0.0		
	2級 (n= 91)	41.8	25.3	14.3	42.9	13.2	8.8	11.0	5.5	13.2	11.0	11.0		
	3級 (n= 79)	57.0	26.6	7.6	59.5	24.1	12.7	12.7	11.4	8.9	12.7	7.6		

		の企業などへの就労支援	の活動・スポーツや場所	の仕事以外の趣味や余暇の場の整備	の地域における住まいなどの整備	の障害理解の促進や差別の解消	の公共交通機関などのバリアフリー	の公共施設や道路、交差点	の障害に合わせた多様な情報提供の充実	の災害時の支援体制の整備	の家族・同士の情報交換、交流の機会	のその他	の無回答
全	体 (N=203)	28.1	20.2	9.4	30.5	10.8	29.6	26.1	12.3	3.9	9.4		
年代別	18歳～39歳 (n= 46)	45.7	23.9	13.0	37.0	10.9	23.9	23.9	21.7	2.2	6.5		
	40歳～64歳 (n=118)	27.1	19.5	8.5	31.4	9.3	35.6	27.1	11.0	5.1	6.8		
	65歳以上 (n= 28)	0.0	25.0	7.1	14.3	14.3	14.3	21.4	3.6	3.6	25.0		
家族構成別	ひとり暮らし (n= 82)	23.2	22.0	11.0	26.8	12.2	29.3	22.0	11.0	3.7	14.6		
	その他 (n=123)	30.9	18.7	8.1	32.5	9.8	30.9	28.5	13.0	4.1	5.7		
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 20)	15.0	15.0	5.0	40.0	10.0	25.0	20.0	5.0	10.0	15.0		
	若葉・調和 (n= 38)	26.3	15.8	10.5	18.4	13.2	18.4	26.3	10.5	7.9	18.4		
	上ノ原・柏野 (n= 19)	42.1	26.3	15.8	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	0.0	5.3		
	北ノ台・深大寺 (n= 15)	20.0	13.3	26.7	46.7	6.7	13.3	40.0	13.3	0.0	6.7		
	第二・八雲台・国領 (n= 37)	35.1	16.2	8.1	32.4	10.8	48.6	32.4	16.2	2.7	0.0		
	染地・杉森・布田 (n= 20)	20.0	30.0	5.0	35.0	15.0	45.0	30.0	15.0	5.0	5.0		
	第一・富士見台・多摩川 (n= 30)	30.0	23.3	6.7	30.0	3.3	23.3	16.7	16.7	3.3	10.0		
第三・石原・飛田給 (n= 20)	35.0	25.0	5.0	30.0	10.0	30.0	25.0	5.0	0.0	15.0			
障害程度別	1級 (n= 7)	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0		
	2級 (n= 91)	27.5	17.6	9.9	27.5	6.6	27.5	26.4	11.0	4.4	9.9		
	3級 (n= 79)	36.7	20.3	8.9	34.2	17.7	35.4	26.6	10.1	3.8	6.3		

(5) 市への希望 (問 31)

問 31 ご意見・ご要望がありましたら、何でもご自由にご記入ください。

○ 障害者福祉を進める上での意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、身体障害 (64 歳以下) では 43 件、身体障害 (65 歳以上) では 55 件、知的障害では 44 件、精神障害では 62 件、難病では 36 件の回答があった。以下に主なものを掲載する。

① 身体障害 (64 歳以下) (43 件)

ア 環境・まちづくりについて (11 件)

- ・道路に自転車専用レーンが設けられているのにも関わらず、歩道をスピード出して走る自転車が多い。車イス利用のため歩道走行中もかなり注意をして走行する必要があります。(不明, 不明)
- ・電車のハートマーク席に障害者の方がいつでも座れるように出来ないのでしょうか。(男性, 50 歳代)
- ・違法駐車や自宅の駐車スペースから歩道にかかっている駐車が歩く妨げになっています。弱者に優しい配慮がいただけたらと思います。(女性, 60 歳代)
- ・自宅付近 (つつじヶ丘駅) の甲州街道の歩道について、道路の幅の割に太い街路樹が生えているのもあり、自転車が後ろから来る音が聞こえない私にとって、狭くて歩きづらいです。(女性, 20 歳代)

イ 障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望 (8 件)

- ・電球の取り換えとか天袋の中の物を降ろすなど、そんな時にご用ききのようなちょっとしたことを有料でやって貰えると本当に生活しやすくなると思います。ご検討ください。(女性, 60 歳代)
- ・介護保険サービスのリハビリの他に障害の機能リハビリもお願いします。自費でリハビリを受けていますが足りません。(女性, 50 歳代)
- ・タクシー券をもう少し増やしてほしいです。(女性, 50 歳代)
- ・都営電車の駅で配られているヘルプマークをリュックにつけている。ヘルプマークの方が認知度が高いようで、電車で席を譲ってもらったり気づいてもらえることがよくある。市から配布されているヘルプカードの認知度はどのくらいあるのだろうか。(女性, 20 歳代)

ウ 情報提供 (4 件)

- ・アンケートのデジタル化・調布市 HP のスマートフォン対応。(男性, 30 歳代)
- ・広報をしっかりとするとともに、各種手続きの簡略化を望む。(男性, 30 歳代)

エ 医療体制の整備 (2 件)

- ・健全な人は小児と高齢期が手厚く診て貰える場合もありますが、障害はむしろ成人期の方が体調の変化に対応して診てくれる医者が必要な気がしています。障害専門クリニックが無理だとしても市内で総合医療専門分野のネットワークを築いていただきたいです。(男性, 20 歳代)

- ・医療的ケアの必要な者の緊急時における一時預かりの場がほとんどありません。とても困っています。(女性, 20歳代)

オ 施設について(2件)

- ・調布市にストマのケアをおこなってくださる肢体不自由児の入所施設を作ってほしい。(女性, 50歳代)
- ・子育てや介護について, 身近に気軽に相談できる場所が多様にあると良いと思います。(女性, 50歳代)

カ 周囲の理解・相互理解(1件)

- ・小中学校の授業に障害を理解し差別を無くすための時間を入れてほしい。情報は発信者がどれだけ提供しても受信者が受け取らなければそれまでなので, 子供のうちから社会にはそういう人がいて同じ世界でともに生きていることを解ってくれると生きやすい調布になります。(男性, 40歳代)

キ 経済的支援(1件)

- ・自宅に手すりを設置する際の助成金の規定が, まったく現実的でない。壁に固定させてこその手すりなのに, 簡易的なものしか補助されない。(男性, 40歳代)

ク 災害時の支援(1件)

- ・自分で車を運転できるので通院, 買い物には困っていません。大きなものはネットスーパーや通販を利用しています。ただ, 災害の時どう避難すればよいのか。(女性, 40歳代)

ケ 市の職員・相談窓口への要望(4件)

- ・土・日曜日でも区役所を開いてほしい。(手続き等)(男性, 40歳代)
- ・調布市の障害に対する制度はありますが, 具体的に市役所までいかなくはわかりません。具体的に何もわからない。どのように支援を行っているか。その支援によって生活は出来るのかをわかるようにしないと利用も出来ません。(男性, 50歳代)

コ 市への期待, 感謝(1件)

- ・いつもお世話になりありがとうございます。(女性, 40歳代)

サ アンケートについて(5件)

- ・障害の程度は広く, この調査としてすべての障害者のニーズを理解するのは不可能。障害の内容と分けて調査しないとニーズは拾えない。(男性, 50歳代)
- ・「記入についてのお願い」を読むと, 本人が重度知的障害の場合, 記入してよいのか悩みます。(女性, 20歳代)
- ・今回の内容には本人が答えられることはありませんでした。親の考えで答えることがほとんどです。(男性, 20歳代)

シ その他(3件)

② 身体障害（65歳以上）（55件）

ア 環境・まちづくりについて（15件）

- ・調布駅を中心に銀行、郵便局、病院、役所、ショッピングセンターと集まっているので手続きなどがやりやすく、その点は助かっています。（女性、80歳代）
- ・歩道が狭く平らじゃないため、歩きにくい。敷地から車道までを斜めに削っているため、右と左で高さが違って歩きにくい。車イスの人は大変だと思う。（男性、60歳代）
- ・バスを利用しているが、バスのルートを増やして貰えると嬉しい。（女性、70歳代）
- ・市役所へ行くバスの便がない。市内循環バスを充実させてください。（女性、60歳代）
- ・狭い道での車の通行を規制してほしい。（男性、80歳代）
- ・買い物の帰りなど、ちょっと休める椅子などがあると助かります。（女性、90歳代）

イ 施設について（6件）

- ・私は「特別養護老人ホーム」に入居出来てますが、特養に入れなくて困っている人が多いと聞いています。これから益々高齢者が増えてきますから特養をもっと増やしてください。（男性、80歳代）
- ・高齢者、障害者の入れる施設が少ない。（男性、80歳代）
- ・言語障害のため、そういうところがあればいいと思います（言語障害の勉強ができる場所をお願いします）（男性、80歳代）

ウ 障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望（5件）

- ・若くて家から出られない方々への支援充実を切に願っています。（女性、70歳代）
- ・調布市から福祉タクシー券を頂戴しており誠に有難く病院通院などに使用させていただいております。（女性、不明）
- ・障害者手帳をカードにできますか。（男性、70歳代）

エ 現在・将来の不安について（4件）

- ・今なんとか病気が安定しているので、家のことが出来ているが（最小限）病気が進行した場合、支援をお願いしたい。（女性、60歳代）

オ 医療体制の整備（2件）

- ・私は10年以上の長期入院患者です。病院のたらいまわす現在の状態はどうにかありませんでしょうか。（男性、70歳代）

カ 情報提供（2件）

- ・要介護の母と同居しているが、訪問診療医のリストが市報に出ると助かります。（男性、60歳代）

キ 住まいについて（1件）

- ・1人で生活したいのに入居できる住宅がどうしたら分かるのか教えてほしい。（女性、70歳代）

ク 市の職員・相談窓口への要望（4件）

- ・障害を持つ人で手話が出来ない人がいた場合の対応について、筆談を行うような方策を考えておりますか。（男性，70歳代）
- ・どんな事でも安心して相談できるようにお願いします。（女性，80歳代）

ケ 市への期待，感謝（3件）

- ・調布市の職員の人は親切で有難く思っています。（男性，90歳代）
- ・今後も着実な福祉活動をお願いします。これまで沢山いただきましたご支援に感謝申し上げます。（男性，70歳代）

コ アンケートについて（9件）

- ・調査票は初めてもらいましたが全体的によくわかりません。（女性，80歳代）
- ・本人が高齢のため回答に該当がない質問がありました。視覚障害なので，質問の数も多く一人では回答出来ずたいへんでした。（女性，80歳代）

サ その他（4件）

③ 知的障害（44件）

ア 障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望（7件）

- ・何をしてもまず，家から出なくなっている者の仮入所や仮グループホーム等のような対処がやってもらえたらありがたいです。（男性，20歳代）
- ・本人が日中作業所に通っている間，私（母）は仕事していますが，職場から時間延長できないかとか土曜日出られないかとか言われるとつらいです。本人はいろいろと難しいので一人にはできません。土曜日支援してくれる機関など，もっとたくさんあったらいいなと思います。（女性，10歳代）
- ・緊急一時あずかり先の内容の充実。ただ事故のない様，そこにおいておけばいいというようなことはたえがたい。難しい問題だと思うが，あずけるしかない家族は本当につらい思いをする。（男性，50歳代）

イ 施設について（7件）

- ・親（介護者）もどんどん高齢になります。障害者（本人）の将来の住む場所，グループホーム，施設を作ってください。ヘルパーがまったく足りません。日中一時支援を利用したいのに場所がなく利用できません。（男性，20歳代）
- ・調布市以外の友人と遊べる場所がほしい。ちょうふだぞうは，調布市以外の人はいれないため。（男性，20歳代）
- ・親亡き後も遠くの施設より，調布市でくらししていきたいので，グループホームなど充実してほしいです。障害の人が住みよい町は，年よりなども住みよい町になると思う。（男性，40歳代，抜粋）

ウ 現在・将来の不安について（5件）

- ・重い障害があるが，親なきあとも地域にて，本人らしく生き生きと暮らしてほしいと思っています。そのためにも，親が元気なうちにグループホームなどで生活の基盤がくれたらと思います。思い障害の人を入れるグループホームなどの整

備もよろしくお願ひします。(女性, 20 歳代)

- ・障害があっても、健康的で幸福な生活を送りたいと希望しています。(女性, 40 歳代)

エ 市の職員・相談窓口への要望 (3 件)

- ・日曜日にトラブル等が起きたときに気軽に相談できる窓口を設置してほしい。できれば、ちょうふだぞうも日曜開所してもらえるとありがたい。(男性, 20 歳代)

オ 就労について (3 件)

- ・よい会社で働けて感謝しています。(男性, 40 歳代)
- ・A型作業場の働く場所をもっと作ってほしい。(男性, 30 歳代)

カ 環境・まちづくりについて (1 件)

- ・調布市の「外れ」に住んでいるので市役所に行くのにはバスと電車で片道 1 時間往復で 2 時間以上を (自家用車なし) 要します。1 日 1 往復で良いから、入間町 3 丁目から市役所直通の (入間町 3 丁目住人) ミニバスがあったらいいなとため息をついてます。(男性, 不明)

キ 災害時の支援 (1 件)

- ・台風 19 号の時に避難所へ行きました。特に配慮はなかったです。避難時は大変不安定になるので顔見知りがあると安心します。地震はともかく台風など、ある程度予想できる避難はこちらも早目に行動するので避難所を案内していただくと助かります。(一般の方々とは困難であるため別に) (女性, 不明)

ク 市への期待, 感謝 (3 件)

- ・本当に調布市の方々のご支援により、生きていくことができます。心より感謝しています。ありがとうございます。(男性, 20 歳代, 抜粋)

ケ アンケートについて (11 件)

- ・アンケートが長すぎます。本人とやるのにかなり時間がかかります。もう少し質問を少なく答えの項目もはいかいいえだけでお願いします。(男性, 20 歳代)
- ・本人が答えるのに難しい内容が多かった。(男性, 50 歳代)

コ その他 (3 件)

④ 精神障害 (62 件)

ア 経済的支援 (7 件)

- ・働きたいけど週に 3 日アルバイト勤務のため、収入が少なく金銭面で困っています。精神的に辛いので何とか支援いただきたいです。(男性, 30 歳代)
- ・医療費は、精神科は自立支援がありますが、他の科は 3 割負担なので、たくさん他の科にかかると医療費が大変です。私は収入が障害年金だけで、他の科にもいくつつかかかっているため経済的にも大変です。他の科が 2 割または 1 割になったらとても嬉しいのですが。(女性, 40 歳代)
- ・自分の障害 (精神) に応じた働き方 (フルタイムでなくても) をしつつ、高齢の親と共に経済的自立できる体制の支援ができるとありがたいです。(男性, 50 歳代)

イ 障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望 (6件)

- ・具合が悪くなった後にデイケア, 就労支援などを利用させていただいております。職員の方々がとても気さくで優しく接してくださり就労に向けて準備しています。感謝しています。(女性, 40歳代)
- ・訪問看護サービスは医療のみのサービスなので, 訪問看護サービスとヘルパー支援の両方の権限を持つ人を育成と活動できるようにした方が, 利用者にとって効率的だと思います。(女性, 50歳代)
- ・マイナンバーカード等の障害者手帳以外での身分証を民間企業でも, より多くの所で使えるように有用性を高めてほしい。(男性, 20歳代)

ウ 環境・まちづくりについて (5件)

- ・南口に自転車置き場を設けていただきたい。(男性, 50歳代)
- ・自分の障害とは関係ありませんが, 歩行者・自転車・車に乗るすべての立場から見ても, 道が狭く, 通行していて危ないと感じることが多いです。車イスの方なども, 道がせまいと通る際に自転車などに当たったり危険だと思うので, 歩道が歩きやすく広くなるといいと思います。(女性, 30歳代)
- ・道路の安全を確保してください。(女性, 50歳代, 抜粋)

エ 施設について (5件)

- ・財政上の問題もあろうかと思いますが, 精神障害者向けのグループホームを是非市内に作っていただきたいと切に願っております。何卒御検討いただきたくお願いいたします。(女性, 50歳代)
- ・障害者専用のウェイトトレーニング施設がほしい。(男性, 40歳代)

オ 就労について (5件)

- ・精神障害は将来的に「治った」と診断された時の就労などに不安を抱えている。年齢的な事もあり, 健常者と同じように働ける自信がない。(男性, 50歳代)
- ・特に障害者向けの高度技能職へのチャレンジを支援する取り組みを充実していただきたいです。障害者向け就労の多くが低賃金で, 結婚等, 将来が見通しにくいです。(男性, 30歳代)

カ 医療体制の整備 (3件)

- ・家族の目の届くかつ住み慣れた自宅での生活は生涯大切なことであります。訪問診療, 看護, 介護の充実を特に期待しています。(女性, 70歳代)

キ 情報提供 (3件)

- ・相談窓口が沢山あることがわかったが, 今まで知らなかった。市報などに, こういう窓口があるから気楽に相談に来てくださいというようにして, 窓口の内容をくわしく知ってもらい, 相談に行けるようにしてほしいと思った。(男性, 40歳代)

ク 周囲の理解・相互理解 (2件)

- ・見た目ではわからない障害の知識などを解ってほしい。(女性, 30歳代)

ケ 災害時の支援 (2件)

- ・先日の台風の時, 避難地区ではありませんでしたが, 色々考えさせられました。(不安もありますがしっかり備えようと思います)(男性, 50歳代)

コ 現在・将来の不安について（1件）

- ・一人っ子なので、両親がいなくなった時どう生きていけば良いのかずっと不安です。働いてますが、フルタイムはキツイので貯金もあまりありません。市内で家賃が安いアパートなどたくさんあると助かります。（女性、30歳代）

サ 住まいについて（1件）

- ・今は民間のアパートに住んでますが、ある程度の年になったら都営に移りたいと思っています。抽選ということなので確率は低いと思いますが、障害者の家族を優先してもらえたら助かるのですが。（女性、60歳代）

シ 市の職員・相談窓口への要望（4件）

- ・福祉課の窓口の夜間受付。（女性、40歳代）
- ・病気のため、健常者と同じ行動がとれない人への配慮をもっとしてくれるように、生活保護の担当者へ働きかけてほしい。（男性、40歳代）

ス 市への期待、感謝（7件）

- ・調布市は図書館職員の方の優秀さが際立っていると思っています。（男性、60歳代）
- ・お役にたてていただければ幸いです。（男性、50歳代）

セ アンケートについて（7件）

- ・このアンケートの設問にケースバイケースなのにどこかに丸を記入させられるタイプの問いがいくつもあり、答えられないものがあったので、次にアンケートをする場合は改善してほしいです。（男性、20歳代）
- ・親の介護をする障害者もいる。一方で介護者ではない障害のある人たちは沢山いる。答えに困った問が多かった。重度の人と軽度の人でかなり実情は違うから。（女性、50歳代）
- ・このような調査をしてくださり興味を持ってくださりありがとうございます。精神障害は目に見えない障害で普通の人に見られることもありますが、毎日苦しんでいる方もいらっしゃると思います。こういった調査で調布がより住みやすい場所になってくれることを期待します。（女性、30歳代）

ソ その他（4件）

⑤ 難病（36件）

ア 障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望（6件）

- ・制度ができてその運用の仕方などが問題。（女性、70歳代）
- ・介護制度がわかりにくい。説明もわかりにくい。（女性、80歳代）

イ 環境・まちづくりについて（5件）

- ・歩道が狭い。自転車の右側走行が多い。（女性、70歳代）
- ・酸素をもちあるく者としてはタバコがこわいので、歩きタバコを禁止にしてもらえるとうれしいです。（女性、40歳代）

ウ 経済的支援 (4件)

- ・この先病状が進行した場合、助成していただければと考えています。まだほとんど利用していません。(男性, 70歳代)

エ 現在・将来の不安について (3件)

- ・難病を持つ私が介護(父親)をするということ。私が倒れたら優先的に父親をみてるのか、いつも不安に思います。

オ 災害時の支援 (3件)

- ・災害時の情報をいち早く発信していただきたい。(女性, 60歳代)

カ 市の職員・相談窓口への要望 (3件)

- ・総合相談窓口を作り、そこから、何が必要かを判断して適確な支援が必要かと思っています。(女性, 60歳代)

キ 就労について (1件)

- ・企業の人事サイドへのアピールとコミットメントがもっともっと必要だと思う。(男性, 40歳代)

ク 周囲の理解・相互理解 (1件)

- ・高次脳機能障害の大変さが認知されていない。四肢に障害があれば見てわかるので障害の大変さ、障害手帳の等級も1~3級となるが、高次脳機能障害の場合はどんなに大変でも手帳では3級までしかなく、子どもの支援も高次脳機能障害では「ムリ」と市役所に言われたことがある。(女性, 40歳代)

ケ 市への期待, 感謝 (3件)

- ・まだ調布市民になって1年ですのであまりありませんが、他の市から見ても住みやすいと思います。市の出張所のようなものがもう少し増えると役所の混雑が少なくなるかと考えます。(男性, 50歳代)

コ アンケートについて (4件)

- ・寝たきりに近い本人に対する質問なのか。疑問のあるアンケートでした。(女性, 80歳代)

サ その他 (3件)